

年 報  
第31号  
令和6年度

ISSN1344-249X

ANNUAL REPORT  
OF  
IBARAKI NATURE MUSEUM

---

No.31  
2024-2025

ミュージアムパーク茨城県自然博物館  
IBARAKI NATURE MUSEUM  
Bando, Ibaraki, Japan

## 館長報告

### Director Report

令和6年度、当館は30周年を迎えました。年間の入館者数は開館2年目の平成7年度に68万人を記録して以降も、コンスタントに年間40万人を超えるお客様にお越しいただける施設になりました。この30年間を振り返ると、自然災害などにより長期休館せざるを得ない時期もあり、特に、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度および3年度は、2～3か月間といった長期休館をすることにより、開館後初めて年間入館者数が30万人を割り込むなど、苦しい運営となりました。新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に収まってきた令和4年度は、土日祝日に事前予約制を行っているにもかかわらず入館者数は44万人を超えるなど、多くのお客様に戻ってきていただきました。現在は、新型コロナウイルス感染症への対応も限定的になってきたことから、事前予約を5月の連休と夏のお盆前後のみとしました。また、当館の特徴であるイベントの開催、触れる展示、野外にある「水の広場」や「トランポリン（動物の巣）」の再開など、来館者に楽しんでいただける環境を徐々に整え、令和6年度には48万人のお客様を迎えることができました。なお、令和6年10月には、入館料が約10%上がりましたが、引き続き多くのお客様にお越しいただき、大変嬉しく思っています。



令和6年度は、企画展「恐竜 vs 哺乳類」、「羊歯」、「ミュージアムパーク30年のありったけ」を開催しました。多くのお客様に楽しんでいただけるような内容となるように努め、結果として、どの企画展も、10万人を超える多くの方にご覧いただくことができました。

年3回の独自のテーマで行う企画展が当館の特色ですが、ほかにもいろいろなイベントを行っています。おもに子ども向けに学芸系職員が行うサンデーサイエンス、展示解説員が行うわくわくディスカバリー、当館ボランティアが行う子ども自然教室などに加え、大人も参加できる自然観察会、スポットガイドも実施しています。また、自然講座、自然ラボ、サイエンストークなどに加え、ボランティアによる「ふれあい野外ガイド」もわかりやすい説明を意識し、多くの子ども達が楽しんで参加しているようすでした。イベントを充実させていることも当館のリピーターが増えていることの要因の一つと考えています。

30年が経過した当館では、開館当初からの施設や設備などが多いため、修繕や更新が必要な設備が増えてきています。野外に目を向けると、樹木の高木化・老木化が進んでおり、計画的に伐採を本格的に進める必要が出てきています。令和6年度には、多くの樹木の伐採を行いました。今後も安全面を最優先にして老化した樹木の伐採を進めていかなければなりません。また、野外の池に架かっている橋は、老朽化により使用できない状況が続いておりましたが、令和6年度に撤去することができたので、今後は新設に向けて検討を進めてまいります。

このように施設や設備の維持管理に経費がかかっている状況もあり、令和6年度から賛助会員（団体・個人）を募り、当館の趣旨に賛同いただきました28の団体・個人の皆様から

ご寄付をいただきました。お預かりした貴重な資金は、おもに子ども向けイベントで必要となる材料の購入、遠方の学校などに対して実施している「移動博物館」で展示する資料の更新・修繕および常設展の資料の修繕に充てさせていただきました。今後も多くの方々にご賛同いただき、子ども達へ還元できればと考えています。

常設展では、各箇所が老朽化したため、多くの箇所を更新しました。第1展示室の映像展示、第2展示室の化石の骨格標本の追加、第5展示室の外来種・固有種の展示更新に加え、来館者が自由に操作できる新しい走査電子顕微鏡も導入しました。また、茨城県教職員互助会の寄贈でデジタルマイクロスコープを設置し、チョウの鱗粉を常時拡大観察ができるようになりました。

調査研究は、総合調査、重点研究、創造的調査研究に分けられています。重点研究と創造的調査研究は、当館職員が中心となって進めていますが、総合調査は14分科会に分けられ、大学や研究機関などの外部機関の研究員や地域の自然に精通する在野の研究家などと連携した調査研究を行っています。総合調査は、第Ⅲ期第2次総合調査の4年目にあたり、いろいろな成果が出され、茨城県内の動物では4冊の本を出版することができました。

教育普及事業では、館内および野外のガイドツアーや観察会などを、コロナ禍以前の状況まで回復できたことは嬉しい限りです。そのほか、県内の社会教育施設や学校での移動博物館の実施、教育用資料の学校や施設への貸出、オンライン型も含めた講師派遣など、教育普及のための事業を数多く実施しました。

博物館の活動には、当館職員だけでなくボランティアの方の協力が大きな役割を担っています。毎年、野外の調査・維持や資料整理など多くの活動に協力していただいております。また、前年度からグループ活動を復活することができ、博物館には大きな力となりました。ジュニア学芸員の育成事業もほぼ例年通り行うことができ、養成講座には20人の受講があり、また、認定済みのジュニア学芸員にも24人が継続して活動してもらいました。そのほか、博物館にとって、近隣の方々との協力はかせないものとなっています。博物館に隣接する菅生沼の清掃活動を当館と隣接する「あすなろの里」の職員を中心に行いました。今後も、地域住民と一緒に博物館活動を行っていく所存です。

結びに、開館以来長年にわたり茨城県民だけでなく、近隣の埼玉県、千葉県、東京都などの皆様からの御支援に感謝申し上げ、今後一層の御利用、御活用をお願いし館長報告といたします。

令和7年7月

ミュージアムパーク茨城県自然博物館  
館長 横 山 一 己

## 目次

## TABLE OF CONTENTS

### 館長報告

### Director's Report

|     |                                                              |    |
|-----|--------------------------------------------------------------|----|
| I   | 事業の概要                                                        | 5  |
|     | Outline of Activities                                        |    |
| 1   | 展示事業                                                         | 5  |
|     | Exhibition Activities                                        |    |
| 2   | 教育普及事業                                                       | 13 |
|     | Education Service                                            |    |
| 3   | 資料の収集・保管・利用                                                  | 29 |
|     | Collection, Conservation and Utilization of Materials        |    |
| 4   | 学術調査研究                                                       | 39 |
|     | Scientific Research                                          |    |
| 5   | 広報広聴活動および出版事業                                                | 50 |
|     | Public Relations and Publications                            |    |
| 6   | 博物館関係行事                                                      | 53 |
|     | Museum Events                                                |    |
| 7   | 他の機関・団体との連携                                                  | 56 |
|     | Cooperation with Other Institutions and Organizations        |    |
| 8   | ボランティアの養成と活動の支援                                              | 59 |
|     | Training and Support for Volunteers                          |    |
| 9   | 友の会活動の支援                                                     | 61 |
|     | Support to Events by Museum Friends of Ibaraki Nature Museum |    |
| 10  | 賛助会員制度                                                       | 64 |
|     | Supporting Members                                           |    |
| II  | 利用状況                                                         | 65 |
|     | Visitor's Statistics                                         |    |
| 1   | 令和6年度入館者数                                                    | 65 |
|     | Number of Visitors, 2024-2025                                |    |
| 2   | アンケート調査による入館者の状況                                             | 67 |
|     | Summary Analysis of Questionnaires on Visitor's Background   |    |
| 3   | 博物館日誌（令和6年度）                                                 | 70 |
|     | Museum Calendar 2024-2025                                    |    |
| III | 管理運営                                                         | 72 |
|     | Organization and Management                                  |    |
| 1   | 組織                                                           | 72 |
|     | Staff and Structure                                          |    |
| 2   | 予算・決算                                                        | 73 |
|     | Financial Summary                                            |    |
| 3   | 施設整備など                                                       | 74 |
|     | Facility Maintenance                                         |    |
| 4   | 博物館協議会                                                       | 75 |
|     | Trust Committee                                              |    |
| 5   | 資料評価委員会                                                      | 76 |
|     | Material Appraisal Committee                                 |    |
| 6   | 助言者会議                                                        | 77 |
|     | Advisory Committee                                           |    |
|     | 付録                                                           | 79 |
|     | Appendix                                                     |    |

## 1 展示事業

Exhibition Activities

### (1) 常設展示の更新

令和6年度は、以下のとおり展示更新や展示資料製作、展示装置類の交換を実施した。

#### ○ 展示更新

##### ① 第89回企画展「恐竜 vs 哺乳類」終了に伴う第2展示室への展示資料の追加

第89回企画展「恐竜 vs 哺乳類」の開催のために新規購入した以下の2点の古生物標本について、企画展終了後に第2展示室へ追加した。

- ・ガストルニス 全身骨格レプリカ (*Gastornis gigantea* 新生代古第三紀／アメリカ)
- ・イクチオルニス 全身骨格レプリカ (*Ichthyornis dispar* 中生代白亜紀／アメリカ)

##### ② 第5展示室外来種・固有種コーナー展示更新

令和5年度末に実施した第5展示室のガラスケース化に伴い、「外来種とその現状」コーナーを新設して以下の動植物5種8点の資料を新たに展示した。

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| ・アライグマ剥製            | メス成獣個体1点、幼獣個体2点 |
| ・クリハラリス剥製           | 1点              |
| ・オオバナミズキンバイアクリル封入標本 | 花1点、沈水葉1点       |
| ・オオフサモアクリル封入標本      | 1点              |
| ・ナガエツルノゲイトウアクリル封入標本 | 1点              |

また、同展示室内の別コーナーに展示してあったアライグマ標本を撤去し、ワニガメ標本1点を展示した。第5展示室の「環境にやさしい科学技術、身近な生活の見なおし」コーナーを撤去して、ガラスケース化に伴い、「固有種」コーナーを新設し、以下の動植物の資料を新たに展示した。

- |                         |                            |
|-------------------------|----------------------------|
| ・アズマモグラ剥製               | 1点                         |
| ・アカネズミ剥製                | 1点                         |
| ・ニホンリス（ホンドリ）剥製          | 2点                         |
| ・アオゲラ剥製                 | 1点                         |
| ・オキナワヤマタカマイマイ類（殻標本など）   | 1式                         |
| ・イチリンソウレプリカ             | 1点                         |
| ・アズマイバラレプリカ             | 1点                         |
| ・リュウキュウオオハイホラゴケアクリル封入標本 | 1点（第90回企画展「羊歯」、企画展終了に伴い追加） |
| ・オキナワウラボシレプリカ           | 1点                         |
| ・サザンカレプリカ               | 1点                         |

##### ③ 第1展示室「太陽の一生」解体撤去および展示グラフィック製作

第1展示室「太陽の一生」の映像展示においては、再生機器やプロジェクターの老朽化により映像が映らないなどの不調が頻発していたため、映像再生機器やプロジェクター、造作物の撤去を行った。撤去後は、「恒星の一生」と「スペクトルで恒星を調べる」の展示を、LED 内照パネルでの展示への更新を行った。展示グラフィックについては、データの再構成およびフィルム製作を行った。

##### ④ ディスカバリープレイス「走査電子顕微鏡コーナー」展示更新

ディスカバリープレイス「走査電子顕微鏡コーナー」には据え置き型の走査電子顕微鏡が設置され、来館者が自ら操作し、微小な生物などの観察ができる展示となっていた。しかし、走査電子顕微鏡の故障が目立ち、メーカーによる本機種に対するメンテナンス対応が終了し、既存品の修理対応や部分更新は難しい状況にあった。

そこで、卓上型走査電子顕微鏡へと更新し、メーカーとアプリケーションを共同で開発して来館者がタッチディスプレイで倍率やピントを操作して観察ができるよう展示更新を行った。今後、教育普及および研究において活用していく予定である。

⑤ ディスカバリープレイス観察コーナーへのデジタルマイクロスコープカメラの設置

ディスカバリープレイス観察コーナーに、一般財団法人茨城県教職員互助会から寄贈されたデジタルマイクロスコープを設置した。デジタルマイクロスコープは、800万画素カメラを内蔵し、4Kの静止画と動画が撮影できる。デジタルマイクロスコープを用いて、チョウの鱗粉を拡大して大型モニターに映し出し、観察できるようにした。

○ 定期的な小規模更新

① 「トピックスコーナー」

採集、寄贈、購入などで新たに博物館の資料となった標本、話題性のある標本の紹介を行った。

- ・昆虫ボランティアの活躍～活動紹介～（令和5年11月～令和6年6月）
- ・博物館ボランティアの紹介～植物チームの活動～（令和6年7月～11月）
- ・地学ボランティアについて（令和6年12月～）

② 「博物館のコレみて！」コーナー

これまで学芸系職員の博物館活動について紹介してきた「学芸員からこんにちは」のコーナーを、令和6年3月から当館の収蔵資料（コレクション）について広く紹介する「博物館のコレみて！」コーナーに変更した。第1回は当館植物研究室の学芸系職員が研究協力員である栗原 孝氏らとともに収集した「茨城県那珂川およびその周辺の維管束植物標本」（令和6年3月～7月）、第2回はひたちなか市的那珂湊層群から発見され当館に収蔵された「ヒタチナカオオスッポン」（令和6年7月～10月）、第3回は川名美佐男氏による寄贈コレクションから「日本の陸産貝類および日本の淡水産貝類」（令和6年11月～令和7年2月）を紹介した。

③ 「茨城の自然インフォメーション」

- ・総合調査（地学）（令和5年12月～令和6年5月）

「第Ⅲ期総合調査2018～2023」の茨城地学調査会大型化石分科会の調査活動や調査結果を紹介した。那珂湊層群（中生代白亜紀の海の地層）での異常巻きアンモナイトに関する調査結果および久慈川層群（新第三紀の地層）でのステゴロフォドンの化石が見つかった玉川層などの調査結果を紹介した。

- ・総合調査（動物）（令和6年5月～9月）

「第Ⅲ期総合調査2018～2023」の茨城動物調査会淡水魚類分科会、昆虫分科会、陸・淡水産無脊椎動物分科会の調査活動や調査結果を紹介した。淡水魚類分科会については、那珂川河口域で採取された魚類などを紹介した。昆虫分科会については、令和6年度に発刊された「茨城昆虫目録」や「茨城の昆虫たち」について紹介した。陸・淡水産無脊椎動物分科会については、確認された貝類のレッドリスト種や外来種を紹介した。

- ・総合調査（地学）（令和6年10月～）

「第Ⅲ期総合調査2018～2023」の茨城地学調査会テフラ分科会および微化石分科会、「第Ⅳ期総合調査2024～2026」微化石分野の調査活動や調査結果を紹介した。微化石分科会については、八溝山地の調査で見つかったコノドントを紹介した。テフラ分科会については、銚田市青山の鹿島層とローム層、つくば市の上大島層と下大島層に含まれるテフラを紹介した。

④ 「天文インフォメーション」

今月の星空や月の満ち欠けカレンダー、惑星の観察情報、国際宇宙ステーションの観察情報、星空TOPICSなどの天文に関する情報をまとめたパネルを毎月更新し、第1展示室入口に設置して来館者に最新の天文情報を提供した。

○ 展示修繕など

① 第1展示室コルトンフィルム交換および隕石架台上面の修繕

「火星と金星の素顔」のモニター上部のコルトンフィルムの表示が古くなったため、交換を行った。「隕石をさわってみよう」の架台上面が破損していたため、修繕を行った。

② 第2展示室「鉱物ができるところ」ケース上部の壁面修繕

令和4年度に展示更新を行って以来、ケース内の背景と上部の壁面が同様のデザインとなっていた。そのため、ケース上部の壁面については、単色の壁面となるよう修繕し、合わせて展示物と関連する写真パネルを設置した。

③ 第2展示室サーベルタイガー展示ケース設備改善

サーベルタイガーの実物全身骨格を展示するための専用ケースを令和5年度に改修して空調機を付属させたが、冬季の夜間における温度差により蒸留水の消費が激しくなることが予想されたため、格納可能な断熱幕を新たにケースに取り付けた。また、ケースの固定や空調機の外装についても改善を行った。

④ 第2展示室化石コーナーの修繕

第2展示室の化石コーナーにおいて、適切な観覧環境を維持するために以下の修繕を行った。

- ・ジオラマ解説パネル 「恐竜たちの生活」のジオラマ解説パネルの印刷面の修繕
- ・ケース内照明の修繕 「恐竜たちの生活」のケース内部のLED照明1基の修繕
- ・プロジェクターなど撤去 「恐竜たちの生活」の頭上プロジェクターなどを撤去
- ・仮設屋根設置 「アンモナイトの進化」の頭上に仮設屋根を設置

⑤ 第3展示室コマッコウ吊り物骨格標本の撤去

コマッコウ吊り物骨格標本において、一部に破損が生じたため安全管理のために撤去作業を行った。

⑥ 第3展示室「海底探検シミュレーション」プロジェクター交換

プロジェクター本体が故障したため、機器交換することで展示の修繕を行った。

⑦ 第3展示室「海流と潮目（潮目に集まる魚）」イワシレプリカ修繕

「海流と潮目」の中心部に設置されているイワシレプリカが落下および破損していたため、交換修繕を行った。

⑧ 第3展示室アクリル水槽シール剥離部補修

第3展示室アクリル水槽の接着部分が一部劣化し、穴が開いている状態であったため、穴を塞ぐ修繕を行った。

⑨ 第3展示室「山地林の生態」金物製作

山地林の生態ジオラマ前に以前設置されていたフィールドスコープ設置個所（3か所）へ、同じくジオラマ前に設置している照準器と同様のものを製作・設置した。

⑩ 第4展示室「いろいろな消化器官」映像装置修繕

「いろいろな消化器官」の映像再生機3台のうち1台に不具合が発生していたことから、交換修繕を行った。

⑪ 第4展示室 ZooMuSee の復旧修繕

ZooMuSee がプログラムの不具合により、起動しない状態となったため、初期化処理を行うとともに、プログラムの一部修正を行った。

⑫ 蒸留水生成装置修繕

蒸留水生成装置の内部部品の劣化により水漏れが発生していたため、修繕を行った。

⑬ 扉の隙間封鎖

第5展示室裏非常口、岩石研磨室の扉（外側と中側の2か所）、職員通用口、企画展示室前非常口の5か所はモヘアテープやパッキンなどが劣化し、上下部の隙間より虫が侵入していると考えられたため、劣化した部材を除去し、防虫効果の高いブラシテープを用いて修繕を行った。

⑭ 展示室吊り物模型、標本の撤去

落下危険性のあるアンハンゲラ、惑星探査機、タンポポの種1体、マガン1体（以上、恐竜ホール）を撤去した。ほかのタンポポ（5体）の種およびマガン（13体）については安全性を確認・補強した。

⑮ 展示室映像展示機器修繕

第1展示室「宇宙の広がり」および第5展示室「美しく多様な地球の自然」において、映像再生機の老朽化により不具合が発生したため、映像再生機およびモニターの更新を行った。

⑯ 松花江マンモスおよび第2展示室照明設備交換

松花江マンモスおよび第2展示室「鉱物のできるところ」における照明をLED照明に交換した。

⑰ 「博物館のコレみて！」コーナー製作

「博物館のコレみて！」コーナーの新設に伴い、展示ケースおよび背面パネルを新規作成した。

⑱ 燻蒸釜吸気フィルター修繕

年間通じて運用している燻蒸釜は年間2回の保守点検を実施している。その際、吸気フィルターが経年劣化により破れ、目詰まりなどが発生していたため修繕を実施した。

⑲ 第1展示室天窓修繕

第1展示室の天窓の遮光フィルムの経年劣化により、剥離および小さな穴が開き、光が漏れていた。そこで、天窓外側にアルミ複合板を設置し、天窓からの光漏れを改善した。

⑳ 第3展示室シーラカンスケース内照明LED化

第3展示室「シーラカンスの謎」における「ホワイティア」および「マクロポモイデス」のケース内照明（蛍光灯）をLED照明に交換するための工事を行った。

## (2) 常設展示の保守

各々の展示資料や装置類について、定期点検および部品交換などを実施した。

① 動刻設備メンテナンス保守点検

地球のプレート運動装置および付属設備、恐竜動刻模型、動刻模型付属設備の保守点検および部品交換（年間3回）

② 展示室および展示ケース内照明点検交換

蛍光灯・ハロゲンランプ・LEDランプなど、照明管球類の定期巡回点検交換（年間8回）

③ 展示安全点検（映像音響機器類保守点検を含む）

1日常駐点検（年間12回）、定期保守点検（年間2回）

④ ジオラマ展示清掃保守点検定期点検

定期点検（年間1回：10月実施）

⑤ 情報管理システム保守点検（月1回 / 年間12回）

OSのアップデートおよび不正アクセスログ確認など保守管理（年間12回）、職員が利用するPCなど情報機器の軽微な不具合の解消補助

⑥ 収蔵庫・展示室の環境調査

館内の生息昆虫調査および文化財害虫防除施工（6月から11月まで、計5回）

## (3) 企画展示

令和6年度は「恐竜 vs 哺乳類」、「羊歯（シダ）」、「ミュージアムパーク30年のありったけ」の3つの企画展を開催した。

### 第89回企画展「恐竜 vs 哺乳類－化石から読み解く進化の物語－」

#### Dinosaurs vs Mammals - their evolutions revealed by fossils -

1 会期 令和6年3月2日（土）～令和6年6月9日（日）

2 内容 地球では、繁栄と絶滅の繰り返しの中で、これまで多くの生物が生活してきた。本企画展では、恐竜と哺乳類にスポットライトを当て、化石から解き明かされる進化の歴史をたどった。また、両者について紹介するとともに、日本の古生物に関する研究についても取り上げた。

3 会場 企画展示室（500㎡）

#### 4 展示資料

・資料数：351点

・主な展示資料：資料：デイノニクス（肉食恐竜）とスミロドン（肉食哺乳類）をはじめとした、肉食の恐竜と哺乳類、植物食の恐竜と哺乳類の全身骨格、さまざまな鳥類・哺乳類の剥製、植物化石 など

映像：宮古層群での発掘調査映像、化石の発掘から展示するまでの映像

体験コーナー：恐竜や哺乳類の骨格を3D でみよう、

魚竜類やクジラ類の実物化石タッチングコーナー など

5 後援 NHK 水戸放送局、茨城新聞社、ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会

6 総入館者数 146,738人（※うち令和6年4月1日～：103,959人）

#### 7 関連イベント

・自然ラボ（観察会）「アンモナイト発掘体験」

日時：4月14日（日）

場所：いわき市アンモナイトセンター

参加者：17人

・自然ラボ（講座）「ふたりのプロが教える！恐竜の骨格図と生態復元イラストの描き方」

日時：5月26日（日）

講師：ツク之助氏（サイエンスイラストレーター）、Genya Masukawa 氏（GET AWAY TRIKE!）

場所：セミナーハウス

参加者：46人

8 担当 吉川広輔（主任）、加藤太一（副主任）、佐野拓哉、石塚勇太、滝本秀夫、高橋 淳、根本璃久、田宮奈津美



展示室風景

Special exhibition room



展示室風景

Special exhibition room

### 第90回企画展「羊歯（シダ）－花はないけど、華はある－」

#### Fern! Fun! Fan!

1 会期 令和6年7月6日（土）～令和6年10月6日（日）

2 内容 花をもたないものの、葉の涼しげな印象と整然とした美しさで、昔から日本人の生活になじみ、親しまれてきたシダ植物。展示では、シダ植物の化石でその生い立ちを辿り、葉の大きさや形の多様性を豊富な標本とともに紹介した。工芸品や、食文化としてのシダについても取り上げた。

3 会場 企画展示室（550㎡）

#### 4 展示資料

・資料数：344点

・主な展示資料：資料：奥入瀬溪流（青森県）とやんばるの森（沖縄県）で採集した大型シダのさく葉標

本、つりしのぶやシダの鉢植えなど多様な生体展示、シダ植物の化石、シダをモチーフとした様々な工芸品や歯染具足、食用として親しまれているシダ（調理済み）の凍結乾燥標本 など

映像：中生代のシダが産出する地層、ミュージアムでシダ探し など

体験コーナー：胞子のう群・前葉体の観察コーナー、シダの葉に触れるコーナー

- 5 後援 NHK 水戸放送局、茨城新聞社、アクアワールド茨城県大洗水族館、  
ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会

- 6 総入館者数 155,860人

- 7 関連イベント

- ・自然ラボ（講座）「シダトーク!! ～シダの魅力を語るん会～」

日時：8月9日（金）

講師：木下実美氏（しだのすみか園長）、稲富唯希氏（手ぬぐい INAHO 代表）

場所：映像ホール+オンライン

参加者：30人+オンライン10回線

- ・自然ラボ（講座）「ゲッチョ先生の「シダの扉」をあけてみよう！」

日時：8月21日（水）

講師：盛口 満氏（沖縄大学教授）

場所：映像ホール

参加者：82人

- 8 担当 鈴木亮輔（主任）、伊藤彩乃（副主任）、豊崎賢二、北澤佑子、寺田和央、服部仁一、篠崎 樹、井土ひろみ



展示室風景

Special exhibition room



展示室風景

Special exhibition room

## 第91回企画展「ミュージアムパーク30年のありったけーいつも茨城県自然博物館は面白い！ー」

### 30th Anniversary, Special Exhibition-Amazing world of Ibaraki Nature Museum-

- 1 会期 令和6年11月2日（土）～令和7年6月1日（日）
- 2 内容 当館は今年で、開館から30周年を迎えた。そこで本企画展では「ミュージアムパーク茨城県自然博物館」をテーマとして、博物館の「おもしろさ」を改めて感じていただけるように、30年間の歩みと現在、そして未来の博物館にもスポットを当てて紹介した。令和7年2月に資料を入れ替え、リニューアルを行った。
- 3 会場 企画展示室（700㎡）
- 4 展示資料
  - ・資料数：2,759点
  - ・主な展示資料：資料：カルノタウルスの全身骨格標本、紫水晶（アメシストドーム）、大型のサメ類コレクション、ダイオウイカの含浸標本、カタツムリのリアルフィギュア、アキタブキのさく葉標本、キノコの大型クッション模型 など

映像：菅生沼の変遷30年、ブナ調査、カルノタウルス全体骨格標本の組み立て など  
体験コーナー：にょいの体験ボックス、音の見える化装置 など

5 後援 NHK 水戸放送局、茨城新聞社、ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会

6 総入館者数 166,006人（～令和7年3月31日）

7 関連イベント

- ・自然ラボ（観察会）「キノコを観察しよう」

日時：10月19日（土）

講師：糟谷大河氏（慶応義塾大学准教授）

場所：水郷県民の森

参加者：13人

- ・自然ラボ（講座）「恐竜時代の幕開け、その時存在した森とは？」

日時：11月3日（日）

講師：湯川弘一氏（福井県立恐竜博物館研究員）

場所：映像ホール

参加者：64人

- ・自然ラボ（講座）「クマ、シカ、カモシカは茨城県にいるの？ー変わりゆく野生動物の分布ー」

日時：11月16日（土）

講師：三浦慎悟氏（自然環境研究センター理事長・早稲田大学名誉教授）ほか

場所：映像ホール

参加者：75人

- ・自然ラボ（講座）「博物館から始める最新恐竜学」

日時：11月23日（土・祝）

講師：真鍋 真氏（国立科学博物館副館長）

場所：映像ホール

参加者：135人

- ・自然ラボ（講座）「みてみよう！いきものミクロ☆たんけん隊」※ 日本微生物生態学会・日本菌学会共催

日時：11月30日（土）

講師：滝本祐也氏（長岡技術科学大学機械系助教）ほか

場所：セミナーハウス

参加者：34人

- ・自然ラボ（観察会）「野焼きがタチスミレを救う」

日時：1月26日（日）

講師：小幡和男氏（当館名誉学芸員）

場所：菅生沼

参加者：21人

- ・自然ラボ（観察会）「昆虫の森を再生しよう」

日時：3月1日（土）

講師：田中信行氏（元東京農業大学教授）

場所：講座室

参加者：19人

8 担当 佐藤一康（主任）、石塚勇太（副主任）、後藤優介（副主任）、池澤広美、小池 渉、国府田誠一、  
櫛引豪人、土田十司作、栗栖宣博、村田一弘、久松正樹、高橋 淳、平川正樹、田宮奈津美、  
川村詩音



展示室風景  
Special exhibition room



展示室風景  
Special exhibition room

#### (4) 特別展示

##### ○新年特別展示

- 1 会期 令和6年12月20日（金）～令和7年1月19日（日）
- 2 会場 2階エントランス
- 3 内容 令和7年の干支である巳（へび）に関連する動植物や地学資料を展示した。へびの標本としてアオダイショウやジムグリ、ニホンマムシ、ヤマカガシのほか、へびにちなんだ名前をもつ動物（へびトンボ、ジャノメチョウ）、植物（マムシグサ、オオジャゴケ）、岩石（蛇紋岩）など9点を展示し正月の雰囲気盛り上げた。



新年特別展示  
Special exhibition for the New Year

#### (5) ポケット学芸員の利用について

「ポケット学芸員」は、スマートフォンやタブレットなどの端末に、アプリケーションをダウンロードすることで使用できる展示ガイダンスシステムである。展示についての基礎知識や専門情報、補足情報などを知ることができる。当館のポケット学芸員では、日本語版・英語版・中国語（繁体字・簡体字）版コンテンツを公開している。現在のコンテンツ数は73個である。なお、「ポケット学芸員」対応タブレット型端末の令和6年度4月～9月の貸し出し数は延べ36台であるが、現在は機器劣化に伴い貸し出しを中止している。現在、新しいシステムについて検討中である。

## 2 教育普及事業

Education Service

### 1 教育活動支援事業

#### (1) 移動博物館

茨城県内の学校および社会教育施設に当館の資料を展示し、遠方など通常当館を利用する機会が少ない方々が博物館の展示を見学できるような取り組みを実施した。それに伴い、移動博物館用既存資料を整理して、資料データベースを HP で公開することにより、実施団体のニーズに合った資料を選択できるようにした。

令和6年度は、学校9校、社会教育施設3施設で実施した。また、学芸系職員による展示解説を希望する学校、社会教育施設に対して実施した。さらに、資料の解説動画の二次元バーコードを設置し、タブレットやスマートフォンで再生視聴できるようにした。

<学校>

| No. | 会 場            | 期 間                 | 入場者数 | テーマ   |
|-----|----------------|---------------------|------|-------|
| 1   | 日立市立油縄子小学校     | R6. 6.27 ~ R6. 7. 3 | 528  | 身近な自然 |
| 2   | 茨城県立美浦特別支援学校   | R6. 9. 6 ~ R6. 9.12 | 468  | 身近な自然 |
| 3   | 常陸太田市立峰山中学校    | R6. 9.19 ~ R6. 9.26 | 239  | 身近な自然 |
| 4   | つくば市立竹園西小学校    | R6. 9.27 ~ R6.10. 3 | 813  | 身近な自然 |
| 5   | 桜川市立大和中学校      | R6.10.10 ~ R6.10.18 | 247  | 身近な自然 |
| 6   | 茨城県立常陸太田特別支援学校 | R6.11. 1 ~ R6.11. 7 | 354  | 身近な自然 |
| 7   | 鹿嶋市立高松小学校      | R6.12. 4 ~ R6.12.10 | 352  | 身近な自然 |
| 8   | 大子町立さばら小学校     | R6.12.11 ~ R6.12.17 | 135  | 身近な自然 |
| 9   | 阿見町立舟島小学校      | R7. 1.23 ~ R7. 1.29 | 285  | 身近な自然 |

<社会教育施設>

| No. | 会 場       | 期 間                 | 入場者数  | テーマ   |
|-----|-----------|---------------------|-------|-------|
| 1   | 茨城県立図書館   | R6. 4.24 ~ R6. 5. 8 | 5,458 | 身近な自然 |
| 2   | 八千代町立図書館  | R6. 8.21 ~ R6. 8.27 | 1,193 | 身近な自然 |
| 3   | 取手市立山王公民館 | R7. 1.16 ~ R7. 1.22 | 313   | 身近な自然 |



移動博物館（つくば市立竹園西小学校）

Mobile Museum (Tsukuba Municipal Takezononishi Elementary School)



移動博物館（茨城県立図書館）

Mobile Museum (Ibaraki Prefectural Library)

#### (2) 教育用資料貸出

学校や社会教育施設における理科教育や環境教育などに利用できるよう、博物館の標本・資料を教育用貸出資料として整備している。昨年度末に、WEB ページの更新、宅配便の利用、利用者の多い化石レプリカの型の製作を行うなど、教育用貸出資料を借りやすくするための環境整備を行った。その結果、昨年度と比較して、貸出利用数が約4割増加した。本年度は、利用頻度の多い頭骨標本や昆虫標本を新たに加え、来年度始めから利用できるように整備した。

| No. | 貸 出 先                            | 使用目的      | 期 間                    | 教 材 名                                                                          |
|-----|----------------------------------|-----------|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 東京農業大学森林総合科学科                    | 授業        | R6. 4.17 ~<br>R6. 5.17 | 頭骨セット1                                                                         |
| 2   | 東京都市大学                           | 授業        | R6. 4.17 ~<br>R6. 4.19 | 昆虫のスケッチ用標本セット2                                                                 |
| 3   | 茨城県立緑岡高等学校                       | イベント      | R6. 5. 1 ~<br>R6. 5.10 | アンモナイト型、サメの歯型、三葉虫型、お椀、ヘラ<br>(各8)                                               |
| 4   | つくば市立荃崎中学校                       | 授業        | R6. 5.12 ~<br>R6. 5.17 | シダ・コケ学習キット                                                                     |
| 5   | 龍ヶ崎市立城ノ内中学校                      | 授業        | R6. 5.12 ~<br>R6. 5.25 | 植物の体のつくりとはたらき、花拡大模型（アブラナ、ツツジ、マツ）                                               |
| 6   | 利根町立利根中学校                        | 授業        | R6. 5.12 ~<br>R6. 5.25 | 頭骨セット 2、骨格標本（タイ、カエル、ミズオオトカゲ、ニワトリ）                                              |
| 7   | 龍ヶ崎市立城ノ内中学校                      | 授業        | R6. 5.18 ~<br>R6. 5.25 | シダ・コケ学習キット                                                                     |
| 8   | 龍ヶ崎市立城ノ内中学校                      | 授業        | R6. 5.28 ~<br>R6. 6. 9 | 骨格標本（タイ、カエル、ミズオオトカゲ、ニワトリ、イヌ）                                                   |
| 9   | つくば市立吾妻中学校                       | 授業        | R6. 5.29 ~<br>R6. 6.12 | 頭骨セット 2、骨格標本（サル）                                                               |
| 10  | 筑西市立中小学校                         | 授業        | R6. 6. 9 ~<br>R6. 6.23 | 昆虫のスケッチ用標本セット1                                                                 |
| 11  | 坂東市立飯島小学校                        | 授業        | R6. 6.12 ~<br>R6. 6.26 | 昆虫拡大模型（セイヨウミツバチ、アブラゼミ）                                                         |
| 12  | 常総市立水海道小学校                       | 授業        | R6. 6.12 ~<br>R6. 6.26 | 植物の体のつくりとはたらき、昆虫拡大模型（カブトムシ、アゲハチョウ、カマキリ）、昆虫のスケッチ用標本セット1                         |
| 13  | つくば市立研究学園中学校                     | 授業        | R6. 6.13 ~<br>R6. 6.25 | 頭骨セット 1、骨格標本（カエル、ミズオオトカゲ）                                                      |
| 14  | 茨城県立緑岡高等学校                       | イベント      | R6. 6.17 ~<br>R6. 6.27 | アンモナイト型、サメの歯型、三葉虫型、お椀、ヘラ<br>(各8)                                               |
| 15  | つくば市立竹園西小学校                      | 授業        | R6. 6.26 ~<br>R6. 7.10 | タネのトランクキット、果実拡大模型（イロハモミジ、タンポポ）                                                 |
| 16  | 取手市立藤代南中学校                       | 授業        | R6. 6.27 ~<br>R6. 7.10 | 頭骨セット 1                                                                        |
| 17  | つくば市立秀峰筑波義務教育学校                  | 授業        | R6. 6.27 ~<br>R6. 7.11 | 骨格標本（タイ、カエル、ミズオオトカゲ、ニワトリ、イヌ、サル）                                                |
| 18  | つくば市立荃崎中学校                       | 授業        | R6. 7.11 ~<br>R6. 7.24 | 頭骨セット 2                                                                        |
| 19  | 茨城県県民生活環境部<br>環境政策課<br>生物多様性センター | イベント      | R6. 8. 1 ~<br>R6. 8. 6 | 解説パネル9、動物剥製（キツツキ、カラ、カワセミ、イタチ、テン、アナグマ）、キノコのレプリカ（ウラボシホテイ、クサウラボシタケ、アミガサタケ、アカモミタケ） |
| 20  | つくば市立みどりの南小学校                    | 授業        | R6. 9. 7 ~<br>R6. 9.21 | 昆虫のスケッチ用標本セット1                                                                 |
| 21  | つくばみらい市立福岡小学校                    | 授業        | R6. 9.20 ~<br>R6.10. 4 | 秋の昆虫観察セット1                                                                     |
| 22  | つくば市立学園の森義務教育学校                  | クラブ<br>活動 | R6. 9.21 ~<br>R6.10. 5 | アンモナイト型34、三葉虫型34                                                               |
| 23  | 茨城県立美浦特別支援学校                     | 授業        | R6. 9.29 ~<br>R6.10.14 | 堆積岩セット1、地層はぎとり標本1                                                              |
| 24  | 小田協議会                            | イベント      | R6.10. 9 ~<br>R6.10.14 | 化石セット1、アンモナイトキット1、アンモナイト型、サメの歯型、三葉虫型、お椀、ヘラ（各12）                                |
| 25  | 八千代町立川西小学校 PTA                   | イベント      | R6.10.14 ~<br>R6.10.29 | アンモナイト型20、三葉虫型10、アンモナイト型（小型）34                                                 |
| 26  | 取手市立久賀小学校                        | 授業        | R6.10.13 ~<br>R6.10.27 | 地層はぎとり標本3                                                                      |
| 27  | 坂東市立岩井第一小学校                      | 授業        | R6.10.18 ~<br>R6.10.31 | 化石セット1、アンモナイト型20、サメの歯型20、三葉虫型20、地層はぎとり標本4、骨格標本（イヌ、サル）                          |
| 28  | 常総市立水海道小学校                       | 授業        | R6.11. 1 ~<br>R6.11.15 | 化石セット1、アンモナイト型20、ビカリア20、三葉虫型20、地層はぎとり標本8                                       |

| No. | 貸 出 先       | 使用目的 | 期 間                   | 教 材 名                                        |
|-----|-------------|------|-----------------------|----------------------------------------------|
| 29  | 古河市立中央小学校   | 授業   | R6.11.12～<br>R6.11.26 | アンモナイト型20、ピカリア10、三葉虫型10                      |
| 30  | 取手市立宮和田小学校  | 授業   | R6.11.13～<br>R6.11.23 | アンモナイト型12、サメの歯型6、三葉虫型12                      |
| 31  | 牛久市立牛久第二小学校 | 授業   | R6.11.16～<br>R6.11.30 | 地層はぎとり標本3                                    |
| 32  | 八千代町立下結城小学校 | 授業   | R6.11.17～<br>R6.11.30 | 化石セット1                                       |
| 33  | 龍ヶ崎市立馴染小学校  | 授業   | R6.11.19～<br>R6.11.29 | 地層はぎとり標本5                                    |
| 34  | 坂東市立中川小学校   | 授業   | R6.12. 3～<br>R6.12. 6 | 化石セット1                                       |
| 35  | 坂東市立中川小学校   | 授業   | R6.12. 3～<br>R6.12.17 | 地層はぎとり標本1、アンモナイト型10<br>ピカリア10、サメの歯型10、三葉虫型10 |
| 36  | 土浦市立乙戸小学校   | 授業   | R6.12. 6～<br>R6.12.13 | 地層はぎとり標本3、堆積岩セット1<br>火山噴出物セット1               |
| 37  | 常総市立飯沼小学校   | 授業   | R6.12. 7～<br>R6.12.21 | 化石セット1、アンモナイト型（小型）8<br>三葉虫型（小型）8、始祖鳥ベルリン標本1  |
| 38  | つくば市立荃崎中学校  | 授業   | R7. 2.26～<br>R7. 3. 5 | 化石セット1、タガネ・作業マット14                           |
| 39  | 坂東市立神大実小学校  | 授業   | R7. 3. 9～<br>R7. 3.23 | 化石セット1、アンモナイト型45                             |
| 40  | 筑西市立下館中学校   | 授業   | R7. 3.12～<br>R7. 3.26 | アンモナイト学習セット2、アンモナイト型25、三葉虫型25                |
| 41  | 開智望小学校      | 授業   | R7. 3.13～<br>R7. 3.27 | 頭骨セット 2、骨格標本（タイ、カエル、ミズオオトカゲ、<br>ニワトリ、イヌ、サル）  |

### (3) 講師派遣

学校、社会教育施設などからの授業支援や講演などの要請に対し、博物館職員を派遣し、自然科学やキャリア形成についての普及啓発を図った。講師の派遣の形態により、団体来館時に博物館内で実践する「館内派遣」と、希望する団体などへ出向く「館外派遣」を実施した。また、令和5年度まで行っていた博学連携事業は令和6年度より講師派遣事業で対応することとなった。

#### ① 学校・幼稚園など

<館内>

| No. | 派 遣 先                    | 期 日      | 内 容                 | 派遣職員         | 参加人数 |
|-----|--------------------------|----------|---------------------|--------------|------|
| 1   | 茨城県立水海道第一高等学校<br>附属中学校   | R6. 4.26 | 博物館の役割など            | 吉川広輔         | 46   |
| 2   | 坂東市立七郷小学校                | R6. 6. 4 | 昆虫観察会               | 久松正樹<br>石塚武彦 | 31   |
| 3   | 常総市立水海道小学校               | R6. 6. 6 | 春の植物と昆虫             | 豊崎賢二         | 72   |
| 4   | 常総市教育研究会（生活・総合夏<br>季研修会） | R6. 8. 7 | 先生のための野菜とタネに詳しくなる講座 | 国府田誠一        | 25   |
| 5   | 坂東市立七郷小学校                | R6. 9.10 | 昆虫観察会               | 久松正樹         | 30   |
| 6   | 坂東市立七郷小学校                | R6.11.19 | 野鳥観察会               | 佐野拓哉         | 22   |
| 7   | 坂東市立七郷小学校                | R6.11.20 | 木の葉石を活用した地学学習       | 佐藤一康         | 32   |
| 8   | 茨城県立水戸南高等学校              | R6.12. 6 | 木の葉化石               | 村田一弘         | 36   |
| 9   | 坂東市立神大実小学校               | R7. 1.23 | 野鳥観察会               | 佐野拓哉         | 38   |
| 10  | 坂東市立七郷小学校                | R7. 2. 4 | 野鳥観察会               | 佐野拓哉         | 22   |
| 11  | 茨城県立土浦第一高等学校<br>附属中学校    | R7. 3. 7 | 木の葉石を活用した地学学習       | 佐藤一康         | 78   |

派遣延べ12人 参加延べ432人

<館外>

| No. | 派遣先                      | 期 日      | 内 容                            | 派遣職員          | 参加人数 |
|-----|--------------------------|----------|--------------------------------|---------------|------|
| 1   | つくば市立柳橋小学校               | R6. 5.24 | ヤゴとトンボについて                     | 石塚武彦          | 10   |
| 2   | つくば市立竹園東小学校              | R6. 5.28 | トンボについて                        | 久松正樹          | 120  |
| 3   | 守谷市教育研究会理科教育研究部会         | R6. 7.30 | 木の葉化石を活用した授業づくり、他              | 佐藤一康          | 40   |
| 4   | 牛久市立中根小学校（リフレプラザひたち野うしく） | R6. 8. 3 | 南極の自然                          | 北澤佑子          | 40   |
| 5   | つくば市教育研究会理科部             | R6. 8.20 | 理科指導に生かす昆虫講座                   | 久松正樹          | 10   |
| 6   | つくば市立竹園東中学校              | R6. 9.10 | 筑波山の動植物                        | 国府田誠一         | 35   |
| 7   | つくば市立春日学園義務教育学校          | R6. 9.20 | 茨城・つくばの生態系、絶滅危惧種、外来種           | 国府田誠一<br>後藤優介 | 114  |
| 8   | 茨城県立古河中等教育学校             | R6. 9.24 | シダ植物について                       | 鈴木亮輔          | 239  |
| 9   | 土浦日本大学高等学校父母と教師の会つくば支部   | R6.10.13 | 南極での体験、夢の実現のために                | 北澤佑子          | 35   |
| 10  | 茨城県立坂東清風高等学校             | R6.10.24 | 南極観測隊での経験                      | 北澤佑子          | 460  |
| 11  | 八千代町立川西小学校               | R6.10.26 | 南極先生のメッセージ                     | 北澤佑子          | 210  |
| 12  | 下妻市立豊加美小学校               | R6.11. 8 | 化石と古生物のお話し                     | 滝本秀夫          | 91   |
| 13  | 八千代町立中結城小学校              | R6.11.12 | 南極の自然、南極までの移動、南極での暮らし          | 北澤佑子          | 214  |
| 14  | 筑西市立関城東小学校               | R6.11.19 | 郷土の先人に学ぶ                       | 北澤佑子          | 140  |
| 15  | つくば市立九重小学校               | R6.11.19 | 博物館の仕事、やりがい、苦労                 | 国府田誠一         | 46   |
| 16  | つくば市立葛城小学校               | R6.11.21 | ようこそ！南極先生－南極のふしぎ！と夢や目標の実現に向けて－ | 北澤佑子          | 270  |
| 17  | 結城市立結城南中学校               | R6.12. 6 | 南極での経験、南極を志した動機                | 北澤佑子          | 150  |
| 18  | つくば市立吾妻小学校               | R6.12.11 | 木の葉化石を活用した発展的な理科学習             | 佐藤一康          | 135  |
| 19  | つくば市立みどりの南小学校            | R6.12.13 | 木の葉化石を活用した発展的な理科学習             | 佐藤一康          | 65   |
| 20  | 八千代町立八千代東中学校             | R6.12.16 | 南極派遣までのプロセスと南極の自然              | 北澤佑子          | 180  |
| 21  | 取手市立山王小学校                | R7. 1.17 | 移動博物館の解説                       | 久松正樹          | 72   |
| 22  | 坂東市立神大実小学校               | R7. 1.23 | 菅生沼での白鳥観察                      | 佐野拓哉          | 42   |
| 23  | つくばみらい市立伊奈小学校            | R7. 1.29 | 木の葉化石を活用した発展的な理科学習             | 佐藤一康          | 54   |
| 24  | つくば市立栄小学校                | R7. 2. 6 | 金田台の生態系と直面する課題                 | 久松正樹          | 57   |
| 25  | 坂東市立中川小学校                | R7. 2. 7 | 月の観察、この時期に見られる星の観察             | 吉川広輔<br>高橋 淳  | 46   |
| 26  | 結城市立江川南小学校               | R7. 2.12 | 木の葉化石を活用した発展的な理科学習             | 佐藤一康          | 14   |
| 27  | 那珂市立第一中学校                | R7. 2.14 | 博物館の仕事と役割について                  | 鶴沢美穂子         | 122  |
| 28  | 坂東市立七郷小学校                | R7. 2.19 | 宇宙を旅しながらわたしたちのルーツを探そう          | 高橋 淳          | 32   |
| 29  | 結城市立江川南小学校               | R7. 2.21 | 親子星空観察会                        | 吉川広輔<br>高橋 淳  | 140  |
| 30  | 結城市立江川北小学校               | R7. 2.21 | 南極のこと、夢をもつこと                   | 北澤佑子          | 200  |

派遣延べ33人 参加延べ3,383人

② 大学および研究機関など

<館内>

| No. | 派遣先                 | 期 日      | 内 容                     | 派遣職員         | 参加人数 |
|-----|---------------------|----------|-------------------------|--------------|------|
| 1   | 東京都市大学<br>理工学部自然科学科 | R6. 4. 9 | 博物館概要、自然史博物館のミッション      | 滝本秀夫         | 87   |
| 2   | 秀明大学学校教師学部          | R6. 5.17 | 博物館の活用法                 | 佐藤一康<br>加藤太一 | 10   |
| 3   | 茨城大学（オンライン）         | R6. 5.24 | 初等理科教育法（理科の授業での ICT 活用） | 佐藤一康         | 248  |
| 4   | 森林野生動物研究会           | R6.11.17 | 博物館の概要、収蔵庫紹介            | 後藤優介         | 10   |

| No. | 派遣先        | 期 日      | 内 容      | 派遣職員         | 参加人数 |
|-----|------------|----------|----------|--------------|------|
| 5   | 秀明大学学校教師学部 | R6.12. 6 | 博物館の活用法  | 佐藤一康<br>加藤太一 | 7    |
| 6   | 東京農工大学農学部  | R6.12.13 | 森林環境保全学Ⅲ | 後藤優介         | 10   |

派遣延べ8人 参加延べ372人

#### <館外>

| No. | 派遣先                        | 期 日      | 内 容                    | 派遣職員         | 参加人数 |
|-----|----------------------------|----------|------------------------|--------------|------|
| 1   | アクアワールド茨城県大洗水族館<br>マンボラクラブ | R6. 6.23 | 南極地域観測隊として活動したこと、学んだこと | 北澤佑子         | 21   |
| 2   | 国立科学博物館附属筑波実験植物園           | R6. 7. 7 | 昆虫と植物のかかわりに関する観察会      | 石塚武彦         | 30   |
| 3   | 茨城県霞ヶ浦環境科学センター             | R6. 8.24 | 昆虫観察                   | 久松正樹         | 43   |
| 4   | 日本植物分類学会                   | R6. 9.30 | 宝篋山での自然観察会             | 鈴木亮輔<br>伊藤彩乃 | 10   |
| 5   | 千葉大学                       | R6.11.20 | 緑の環境を育む                | 伊藤彩乃         | 70   |
| 6   | 筑波大学                       | R6.12.12 | 理科教育概論Ⅰ B・Ⅱ B          | 北澤佑子         | 60   |
| 7   | 農事気象学会                     | R7. 2.12 | 地球環境ならびに気象関連知識の習得      | 北澤佑子         | 70   |

派遣延べ8人 参加延べ304人

### ③ 社会教育施設など

#### <館内>

| No. | 派遣先          | 期 日      | 内 容                | 派遣職員         | 参加人数 |
|-----|--------------|----------|--------------------|--------------|------|
| 1   | 守谷市民大学       | R6.11.16 | 守谷における動物と植物について    | 石塚武彦<br>飯田勝明 | 30   |
| 2   | 東京動物園協会友の会   | R6.11.24 | 当館の概要や最近のトピックスについて | 後藤優介         | 35   |
| 3   | KagaQ（オンライン） | R7. 1.19 | コケの多様性と生命のドラマ      | 鶴沢美穂子        | 140  |

派遣延べ4人 参加延べ205人

#### <館外>

| No. | 派遣先                 | 期 日      | 内 容                                   | 派遣職員 | 参加人数 |
|-----|---------------------|----------|---------------------------------------|------|------|
| 1   | 守谷市教育委員会生涯学習課       | R6. 4.27 | 守谷野鳥のみちの草花や昆虫の観察                      | 石塚武彦 | 15   |
| 2   | 茨城県立図書館             | R6. 4.27 | 第89回企画展「恐竜 vs 哺乳類」の見どころ紹介             | 吉川広輔 | 45   |
| 3   | 茨城県県民生活環境部<br>環境政策課 | R6. 7.28 | 茨城県に生息する鳥獣について                        | 後藤優介 | 70   |
| 4   | 茨城新聞社               | R6. 7.28 | 南極の自然                                 | 北澤佑子 | 50   |
| 5   | 守谷中央公民館             | R6. 8. 6 | 化石のレプリカづくりと木の葉の化石について                 | 佐藤一康 | 15   |
| 6   | 水海道児童センター           | R6. 8. 8 | 化石のレプリカづくりと生命の歴史                      | 滝本秀夫 | 12   |
| 7   | 茨城県県民生活環境部<br>環境政策課 | R6. 9.23 | 茨城県に生息する鳥獣について                        | 後藤優介 | 50   |
| 8   | みらい倶楽部              | R6. 9.29 | 水海道あすなろの里周辺の植物や昆虫の観察                  | 石塚武彦 | 15   |
| 9   | 茨城県猟友会              | R6.10.12 | 県内へのキョンの侵入状況について                      | 後藤優介 | 30   |
| 10  | 東海村教育委員会生涯学習課       | R7. 2.22 | 昆虫の生態、昆虫採集のコツ、研究の仕方、昆虫採集の道具や扱い方などについて | 石塚武彦 | 30   |

派遣延べ10人 参加延べ332人

#### (4) ジュニア学芸員育成事業

自然に関する研究や博物館の活動に関心をもつ中高生を対象として、調査研究活動の支援などを行った。

新規参加者には基本的な技能の習得に重点を置いた養成講座を実施した。新規参加者および継続参加者に自主研究活動への指導・助言を行った。

##### ① 新規受講生向けの養成講座

ジュニア学芸員として活動することに必要な技能を涵養するために、自然調査活動（地層の剥ぎ取り標本などを用いた地質調査法、野外観察による鳥類調査法、キク科を用いた植物分類法など）について基礎的な研修を行った。その後、受講生は各自研究テーマを設定して自由研究を進めてその成果を発表した。

令和6年度は15人が養成講座を受講し、研究報告会を経て、新たにジュニア学芸員として認定された。認定後は引き続き調査研究活動や当館イベント補助活動を行った。

##### ② 認定済みジュニア学芸員活動継続参加者

継続参加者は、自身の研究テーマについての調査研究や新規ジュニア学芸員養成講座や当館イベントの補助活動を行った。令和6年度は34人が継続して活動した。

##### <養成講座>

| 期 日      | 内 容                                                                               |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| R6. 4.21 | ジュニア学芸員養成講座開講式<br>養成講座「地学調査法」（候補生15人、認定済み13人）                                     |
| R6. 5.12 | 養成講座「動物調査法」（候補生15人、認定済み9人）<br>養成講座「植物調査法」（候補生15人、認定済み9人）                          |
| R6. 6. 9 | 養成講座「研究報告法」（候補生12人、認定済み5人）                                                        |
| R6. 7.13 | 養成講座「自由研究相談会」（候補生12人、認定済み4人）                                                      |
| R6. 8. 4 | 養成講座「中間報告会」（候補生15人）※オンラインで実施                                                      |
| R6. 8.25 | 養成講座「報告会資料作成」（候補生12人、認定済み3人）                                                      |
| R6. 9.29 | 令和6年度ジュニア学芸員候補生研究報告会並びにジュニア学芸員認証式<br>（候補生14人、認定済み4人）※欠席した候補生1人は後日（10月14日）オンラインで対応 |

##### <イベント補助活動>

| 期 日      | 参加人数 |
|----------|------|
| R6. 8. 9 | 3人   |
| R6. 8.21 | 1人   |
| R6.11.10 | 4人   |
| R6.11.17 | 4人   |
| R6.11.23 | 2人   |

| 期 日      | 参加人数 |
|----------|------|
| R6.12.14 | 6人   |
| R7. 1. 5 | 4人   |
| R7. 1.11 | 3人   |
| R7. 1.19 | 3人   |
| R7. 2. 2 | 4人   |

| 期 日      | 参加人数 |
|----------|------|
| R7. 2.15 | 1人   |
| R7. 2.23 | 5人   |
| R7. 3.22 | 3人   |

全13回実施 延べ43人参加

#### (5) キャリア形成

大学生、中学生などのキャリア形成のために博物館実習と職場体験学習の受け入れを行った。

##### ① 博物館実習

実施日：令和6年11月22日（金）～12月5日（木）のうち10日間

実習生数：13人（筑波大学、帝京科学大学、東京都市大学、東京農業大学、日本大学、宮崎大学  
※五十音順）

内 容：講義「博物館の概要」、収蔵庫見学、標本製作・整理実習、展示製作実習、展示教育普及活動補助、野外整備



博物館実習（標本製作実習）  
Museum Practice  
(Practice of Specimen Preparation)



博物館実習（標本製作実習）  
Museum Practice  
(Practice of Specimen Preparation)

## ② 中学生職場体験学習

実施日：令和6年8月6日（火）～ 8月8日（木）

生徒数：14人（坂東市立猿島中学校、坂東市立岩井中学校、境町立境第二中学校）

内 容：オリエンテーション「博物館の仕事」、「学芸員の仕事」、「収蔵庫について」  
体験「水槽生態展示」、「展示解説員業務補助」、「化石割り」、「貸出標本整理」  
見学「ガイドツアー」、「研究室」など

## (6) 教育機関、教育施設などへの協力

### ① 茨城県教育委員会

茨城県児童生徒科学研究作品展の実施に伴い、県展および地区展（県南・県西）に審査員として職員を派遣した。

### ② 茨城県教育研修センター

令和6年度 夏季自然体験活動研修講座【A 班】

博物館を活用した理科教育 実習・講義

会 場：ミュージアムパーク茨城県自然博物館

担 当：茨城県教育研修センター主査 陶 慶一、松島正人

実 施 日：令和6年8月1日（木）

受講者数：30人

|                             |            |
|-----------------------------|------------|
| 内 容：博物館野外における動物観察・博物館の活用例紹介 | 北澤佑子       |
| 博物館野外における植物観察・博物館の活用例紹介     | 国府田誠一、豊崎賢二 |
| 地学分野における体験・博物館活用例紹介         | 佐藤一康       |
| 博物館における教育普及・授業における博物館の利用    | 国府田誠一      |

### ③ 国立科学博物館

国立科学博物館、日本博物館協会との共催で、「教員のための博物館の日」を実施した。教員が博物館を自発的に楽しみ、博物館を活用した体験的な活動について理解を深める機会を設けることで、学校に対する教育普及活動を充実させるとともに、教員の博物館利用促進を図ることを目的として実施した。

実施日：令和6年8月2日（金）

参加者：45人（県内34人、県外11人）

内 容：博物館の団体利用について 国府田誠一

授業で使える生物多様性体感講座  
先生のための野菜とタネに詳しくなる講座  
木の葉化石の授業活用例  
教育用貸出資料紹介  
博物館利用に関する相談受付  
館内見学

北澤佑子  
国府田誠一、豊崎賢二  
佐藤一康

## 2 解説・案内事業

### (1) インストラクターズルームの運営

#### ① インストラクターズルームでのガイダンス

団体利用に伴う情報提供や助言を行うとともに、情報交換、交流の場を提供した。

令和6年度の利用件数は6,335件。

博物館利用の案内動画をインストラクターズルーム横のモニターや当館ホームページで公開し、利用者の利便性の向上を図った。

#### ② 団体の利用

昼食場所としてのセミナーハウス利用について事前予約制を導入した。昼食に伴うセミナーハウスの団体利用時間帯を10時から14時までとし、40分ごとに分けた。1卓6人の使用目安で希望時間帯と使用する卓数の予約を事前に行うことで、雨天や猛暑など野外で食事がとれない場合でも、円滑に昼食がとれるようになった。団体での昼食利用時の混雑緩和や昼食場所を確保できていることで団体来館者の不安軽減につなげることができた。

### (2) 学習プログラムの開発・提供

#### ① 自然発見ノート、たんけん・調査カードの提供

小・中学生を対象に以下のプログラムの案内および提供を行った。

館内学習プログラム集：自然発見ノート（6テーマ）第5展示室の展示物の更新に伴い、問題を改訂した。

館内学習プログラム集：たんけんカード（3テーマ）

野外学習プログラム集：野外自然探検隊（3テーマ）、ファミリープログラム（1テーマ）

教育普及プログラム集（60テーマ）

#### ② 幼小ジュニアプログラムの提供

幼稚園、保育所などの未就学児および小学校低学年向けに以下のプログラムを提供した。

館内「はくぶつかんをたんけんしよう」

野外「森であそぼう」、「たねであそぼう」、「落ち葉のお面でへんしんしよう」

「ダンゴムシふしぎはっけん」

#### ③ セルフガイド（館内・野外）の提供

館内や野外施設の見どころをクイズ形式で紹介するセルフガイドを Web ページなどで公開した。

展示セルフガイド

野外セルフガイド（野外セルフガイド一年間編一、野外クイズに挑戦 Q & A）

### (3) 観察支援

#### ① 観察用具の貸し出し

令和6年度の貸出数は、双眼鏡77台、フィールドスコープ4台、ルーペ2個、虫眼鏡2個、ファミリープログラム2件であった。

## ② ディスカバリープレイスの運営

ア ディスカバリープレイスにおいて生体展示を行った。

ホトケドジョウ、ヨダレカケ、アカハライモリ、ニホンアマガエル黒色個体、水生昆虫12種（クロゲンゴロウ、シマゲンゴロウ、ハイイロゲンゴロウ、マルガタゲンゴロウ、ヒメゲンゴロウ、クロズマメゲンゴロウ、コシマゲンゴロウ、マメゲンゴロウ、セスジゲンゴロウ、ケシゲンゴロウ、コガムシ、ヒメガムシ）、ダイオウグソクムシ

イ デジタルマイクロスコープ

4K 対応のデジタルマイクロスコープを使用し、拡大したチョウ（アカボシゴマダラ）の鱗粉を大型モニターで見られるようにした。（令和6年11月に新設）

ウ 走査電子顕微鏡・3D プリンタ

走査電子顕微鏡で有孔虫やアミメアリのほか、スギとウメの花粉、珪藻、放散虫、ヒトの髪の毛などを展示し、来館者が自由に拡大などの操作ができるようにした。3D プリンターの機器を展示し、3D プリンターによって製作した昆虫や恐竜頭骨などの立体模型をあわせて展示した。

## ③ 自然発見工房の運営

ア 野外および自然発見工房内での情報提供

自然発見工房において野外施設や季節の自然についての情報の提供を適宜行った。

イ 「ミュージアムパークの自然」の公開

- ・動物（鳥類・哺乳類の剥製、昆虫の標本、ハチの巣の標本など）
- ・植物（水草類、身近な野草、樹木、ドングリ、材木、キノコ、タケの地下茎など）
- ・地学（木下層貝化石、塩原産植物化石、博物館地下のボーリングコアなど）

※今年度は展示物について内容の更新や揭示物の更新を行った。

ウ 野外クイズのスタンプ押印枚数

野外クイズに挑戦 Q & A…599枚 野外自然探検隊…258枚

## (4) 野外施設の教育的管理

### ① 自然観察のためのフィールドの整備

ばったの原の下草刈りや岩石磨きなどを行った。

つたの森の林床整理を行った。

昆虫の森の樹木更新に向けて毎木調査をし、5分の1の面積を伐採した。

### ② 解説を伴う野外看板の整備

解説看板などの設置、修繕および清掃を行った。

## (5) その他 展示解説員研修の実施

展示解説員としての知識や解説技法などの向上のため、研修を実施した。

| 期 日               | テーマなど                                     |
|-------------------|-------------------------------------------|
| R6. 6.18          | 燻蒸期外部研修：外部講師による展示解説員研修                    |
| R6. 6.19          | 燻蒸期内部研修：野外施設を活用したフィールドビンゴ、スポットガイドに関する研修など |
| R7. 1. 7～R7. 1.21 | 下半期研修：タブレット端末の効果的な活用を取り入れたイベント計画の作成       |

### 3 イベント・体験事業

#### (1) 研究室所属職員によるイベント

##### ① サイエンストーク（※事前予約制で実施）

調査研究の成果を一般来館者向けにわかりやすく紹介するイベントを実施した。

| テーマ                      | 実施日      | 参加人数              | 講師 および 担当職員    |
|--------------------------|----------|-------------------|----------------|
| タネと野菜のおはなし               | R6. 4.27 | 17                | 国府田誠一、櫛引豪人     |
| 海生哺乳類の化石発見！              | R6. 7.25 | 18                | 吉川広輔、滝本秀夫      |
| 茨城の外来鳥類                  | R6. 9.21 | 18                | 佐野拓哉、後藤優介      |
| 冬の田んぼで会えるコケ              | R7. 1.11 | 28                | 鶴沢美穂子、鈴木亮輔     |
| フタバズキリュウを食べたサメ「クレタラムナ」の謎 | R7. 2. 8 | オンライン17回線         | 加藤太一、佐藤一康、村田一弘 |
| 茨城県南西部のチョウとクマゼミについて      | R7. 2.15 | 講座12人<br>オンライン4回線 | 石塚武彦、吉田 佑      |

##### ② 自然ラボ（観察会）（※事前予約制で実施）

おもに博物館野外および茨城県内の豊かな自然を観察することで、参加者の郷土の自然への理解や自然に親しむ心を養うようなイベントを実施した。※【企】は企画展記念イベント

| テーマ             | 実施日      | 参加人数 | 講師 および 担当職員                                 |
|-----------------|----------|------|---------------------------------------------|
| 石切山脈見学ツアー       | R6. 4.13 | 14   | 担当：佐藤一康、石塚勇太、土田十司作                          |
| 【企】アンモナイト発掘体験   | R6. 4.14 | 17   | 担当：吉川広輔、加藤太一、滝本秀夫                           |
| タチスミレを観察しよう     | R6. 5.19 | 21   | 講師：小幡和男氏（当館名誉学芸員）<br>担当：伊藤彩乃、服部仁一           |
| 磯の動物を観察しよう      | R6. 5.25 | 39   | 担当：池澤広美、北澤佑子、小林正雄                           |
| 博物館で昆虫を観察しよう    | R6. 7.31 | 31   | 担当：久松正樹、石塚武彦                                |
| 【企】キノコを観察しよう    | R6.10.19 | 13   | 講師：糟谷大河氏（慶應義塾大学）<br>担当：櫛引豪人、鈴木栄恵            |
| 菅生沼で野鳥を観察しよう    | R7. 1.18 | 18   | 担当：佐野拓哉、後藤優介                                |
| 【企】野焼きがタチスミレを救う | R7. 1.26 | 21   | 講師：小幡和男氏（当館名誉学芸員）<br>担当：鈴木亮輔、伊藤彩乃、豊崎賢二、服部仁一 |
| 【企】昆虫の森を再生しよう   | R7. 3. 1 | 19   | 講師：田中信行氏（元東京農業大学教授）<br>担当：豊崎賢二、伊藤彩乃、国府田誠一   |



アンモナイト発掘体験  
Ammonite excavation experience



タチスミレを観察しよう  
Observe the Tachisumire

### ③ 自然ラボ（講座）（※事前予約制で実施）

自然についての実験、実習および講義を行い、参加者が自然の不思議や楽しさを実感できるようなイベントを実施した。

| テーマ                                       | 実施日      | 参加人数                 | 講師 および 担当職員                                                                                           |
|-------------------------------------------|----------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【企】 ふたりのプロが教える！恐竜の骨格図と生態復元イラストの描き方        | R6. 5.26 | 46                   | 講師：ツク之助（サイエンスイラストレーター）<br>Genya Masukawa（GET AWAY TRIKE!）<br>担当：加藤太一、吉川広輔、石塚勇太                        |
| 【企】 シダトーク!! ～シダの魅力を語るん会～                  | R6. 8. 9 | 講座：30人<br>オンライン：10回線 | 講師：木下茉実氏（しだのすみか）<br>稲富唯希氏（手ぬぐい INAHO）<br>担当：豊崎賢二、鈴木亮輔、伊藤彩乃                                            |
| 【企】 ゲッチョ先生の「シダの扉」をあけてみよう！                 | R6. 8.21 | 82                   | 講師：盛口 満氏（沖縄大学）<br>担当：鈴木亮輔、豊崎賢二                                                                        |
| 宇宙大航海ー生命の故郷を訪ねてー                          | R6.10. 5 | 8                    | 担当：高橋 淳、石塚勇太、吉川広輔                                                                                     |
| 【企】 恐竜時代の幕開け、その時存在した森とは？                  | R6.11. 3 | 64                   | 講師：湯川弘一氏（福井県立恐竜博物館）<br>担当：加藤太一、佐藤一康、滝本秀夫                                                              |
| 【企】 クマ、シカ、カモシカは茨城県にいるの？<br>ー変わりゆく野生動物の分布ー | R6.11.16 | 75                   | 講師：三浦慎悟氏（自然環境研究センター・早稲田大学名誉教授）、後藤優介（当館）、<br>永田純子氏（森林総合研究所）<br>小坂井千夏氏（農業・食品産業技術総合研究機構）<br>担当：後藤優介、小林正雄 |
| 【企】 博物館から始める最新恐竜学                         | R6.11.23 | 135                  | 講師：真鍋 真氏（国立科学博物館）<br>担当：小池 渉、佐藤一康、石塚勇太、土田十司作、<br>村田一弘                                                 |
| 【企】 みてみよう！いきものミクロ☆たんけん隊                   | R6.11.30 | 34                   | 講師：滝本祐也氏（長岡技術科学大学）<br>大林由美子氏（愛媛大学）ほか<br>担当：木村 靖、池澤広美<br>共催：日本微生物生態学会・日本菌学会                            |
| 茨城県自然博物館でみられる土の中の虫たち                      | R7. 3.22 | 32                   | 担当：吉田 佑、北澤佑子                                                                                          |

### ④ サンデーサイエンス（※午前は事前予約制、午後は当日抽選制で実施）

毎週日曜日に来館者を対象として、月ごとのテーマで自然博物館ならではの観察や実験、ものづくりなど、自然に対する関心を高めることを目的とするイベントを実施した。

令和6年度は、天候不良時や猛暑時の来館者の安全を考慮して、スタディールーム、野外施設発見工房で実施した（中庭での植物採取や砂場での化石探しのときのみ野外で活動）。スタディールームでの上限人数を30人とし、午前と午後の2回実施することで、より多くの来館者が参加できるようにした。

| テーマ             | 実施月 | 回 数 | 参加人数 | 担当職員  |                                    |
|-----------------|-----|-----|------|-------|------------------------------------|
| お魚パーパークラフトをつくろう | 4   | 4   | 156  | 動物研究室 | 久松正樹、佐野拓哉、後藤優介、<br>北澤佑子、吉田 佑       |
| 木の葉の化石を見つけよう    | 5   | 4   | 219  | 地学研究室 | 土田十司作、高橋 淳、滝本秀夫、<br>村田一弘           |
| 葉脈標本をつくろう       | 6   | 5   | 243  | 植物研究室 | 国府田誠一、櫛引豪人、栗栖宣博、<br>服部仁一           |
| 動物のうんちをつくろう     | 7   | 4   | 257  | 動物研究室 | 木村 靖、後藤優介、佐野拓哉、<br>小林正雄            |
| シダをフロッタージュで描こう  | 8   | 4   | 147  | 植物研究室 | 鈴木亮輔、伊藤彩乃、豊崎賢二、<br>寺田和央            |
| 貝化石の観察をしよう      | 9   | 5   | 294  | 地学研究室 | 村田一弘、高橋 淳、土田十司作、<br>滝本秀夫、吉川広輔、加藤太一 |
| とぶタネで遊ぼう        | 10  | 4   | 121  | 植物研究室 | 栗栖宣博、鈴木亮輔、鈴木栄恵、<br>寺田和央            |

| テーマ              | 実施月 | 回 数 | 参加人数 | 担当職員  |                                          |
|------------------|-----|-----|------|-------|------------------------------------------|
| 水の生きものの樹脂標本をつくろう | 11  | 4   | 252  | 動物研究室 | 北澤佑子、池澤広美、吉田 佑、石塚武彦、木村 靖、久松正樹            |
| 木の葉化石を見つけよう      | 12  | 4   | 140  | 地学研究室 | 土田十司作、高橋 淳、滝本秀夫、村田一弘、吉川広輔、佐藤一康、加藤太一、石塚勇太 |
| バードコールをつくろう      | 1   | 4   | 259  | 動物研究室 | 佐野拓哉、石塚武彦、後藤優介、北澤佑子、小林正雄                 |
| 竹筆をつくろう          | 2   | 4   | 159  | 植物研究室 | 服部仁一、国府田誠一、櫛引豪人、鶴沢美穂子                    |
| 貝化石の観察をしよう       | 3   | 5   | 263  | 地学研究室 | 滝本秀夫、高橋 淳、石塚勇太、村田一弘、吉川広輔、加藤太一、小池 渉、土田十司作 |



竹筆をつくろう（2月）  
Make a bamboo brush (February)



貝化石の観察をしよう（3月）  
Observe shell fossils (March)

#### ⑤ 理科自由研究のヒントを見つけよう（映像ホール+オンライン）

小中学生とその家族を対象に、理科自由研究を行う際のヒントや留意点などをわかりやすく伝えることで、理科を身近なものとして認識させるとともに、児童生徒の探究する心を育てる場として実施した。学芸系職員による研究にまつわる体験談や研究の進め方などを紹介した。

期 日：令和6年7月13日（土）

内 容：「自由研究の進め方」

「植物を育ててみよう」

「身近な野鳥を観察しよう」

「地球を観察しよう ―野外調査のススメー」

教育課長 国府田誠一

植物研究室 櫛引豪人

動物研究室 後藤優介、佐野拓哉

地学研究室 石塚勇太

参加者：映像ホール151人+オンライン33回線

#### ⑥ ネイチャーガイド

毎月、土曜日（第3土曜日を除く）に、博物館で観察できる植物、動物、岩石、自然環境などについて、テーマを決めて学芸系職員による解説を行った。令和6年度は31回実施し、延べ311人が参加した。

### (2) 展示解説員によるイベント

#### ① わくわくディスカバリー

展示解説員による幼児および小学生向けのイベントを実施した。スタディールームで午前（事前予約制）・午後（当日抽選制）の2回に分けて実施した。

| テーマ                       | 実施日      | 参加人数 | 担当職員                        |
|---------------------------|----------|------|-----------------------------|
| ペットボトルでアクアリウムをつくろう        | R6. 5.25 | 81   | 龍田 愛、羽田茉莉乃、大和田瑞貴、佐野拓哉、土田十司作 |
| お部屋に飾ろう☆七夕ガーランド           | R6. 6.22 | 43   | 井口結賀、原田紗里、栗崎香菜、佐藤一康、滝本秀夫    |
| カメのサンキャッチャーをつくろう          | R6. 7.27 | 82   | 木村弥生、石川優里、木村花歩、北澤佑子、服部仁一    |
| アサガオのクリアしおりをつくろう          | R6. 8.24 | 49   | 渡辺優子、木下春菜、滝本麻衣子、豊崎賢二、寺田和央   |
| 月の満ち欠けくるくるスピナーをつくろう       | R6. 9.28 | 66   | 坂本由香理、昼間佳奈子、森田麻友、佐野拓哉、村田一弘  |
| トリックオアトリート！かぼちゃのオーナメントづくり | R6.10.26 | 64   | 岩本静夏、中村優太、宮澤美里、豊崎賢二、鈴木栄恵    |
| プラバンでつくろう！昆虫キーホルダー        | R6.11.23 | 62   | 小野田裕介、真柄紫保、飯倉美波、木村 靖、鶴沢美穂子  |



お部屋に飾ろう☆七夕ガーランド（6月）  
Decorate your room with Tanabata Garland (June)



プラバンでつくろう！昆虫キーホルダー（11月）  
Make it with plastic board! Insect keychain (November)

## ② ガイドツアー、スポットガイド

ガイドツアーの人数を拡大して実施した。スポットガイドは土曜日2回、日曜日1回に回数を増やし、大型モニターやタブレット端末を使用して解説ができるようにした。また、1月より常設展の展示室でのスポットガイドを開始した。

〈ガイドツアーの参加者数〉

| 月   | 参加者数 | 月 | 参加者数 | 月   | 参加者数 | 月  | 参加者数  |
|-----|------|---|------|-----|------|----|-------|
| 4   | 55   | 7 | 132  | 10  | 128  | 1  | 153   |
| 5   | 47   | 8 | 115  | 11  | 113  | 2  | 178   |
| 6   | 142  | 9 | 126  | 12  | 63   | 3  | 154   |
| 前期計 |      |   | 617  | 後期計 |      |    | 789   |
|     |      |   |      |     |      | 合計 | 1,406 |

〈スポットガイドのテーマと参加者数〉

| 実施日      | テーマ                       | 参加人数 | 実施日      | テーマ          | 参加人数 |
|----------|---------------------------|------|----------|--------------|------|
| R6. 4. 6 | アカゲラのおはなし                 | 12   | R6.10.19 | 海の星 ヒトデのおはなし | 5    |
| R6. 4. 6 | マネのおはなし                   | 10   | R6.10.20 | アカゲラのおはなし    | 8    |
| R6. 4. 7 | ダンゴムシのせかい                 | 35   | R6.10.27 | 茨城県のコレなに？    | 30   |
| R6. 4.13 | 海の星 ヒトデのおはなし              | 15   | R6.11. 9 | 身近にいる危険な昆虫   | 12   |
| R6. 4.13 | モズのおはなし                   | 17   | R6.11. 9 | ヤマネのおはなし     | 11   |
| R6. 4.14 | カワセミを知ろう！                 | 15   | R6.11.10 | カワセミを知ろう！    | 15   |
| R6. 4.20 | 何の化石かな？茨城県で見つかったある化石のおはなし | 20   | R6.11.16 | 秋の星座のおはなし    | 9    |
| R6. 4.20 | 骨のおはなし                    | 20   | R6.11.16 | タネのふしぎ       | 15   |

| 実施日      | テーマ                  | 参加人数 | 実施日      | テーマ                  | 参加人数 |
|----------|----------------------|------|----------|----------------------|------|
| R6. 4.21 | ツノゼミのおはなし            | 4    | R6.11.17 | モズのおはなし              | 9    |
| R6. 5.11 | サメのおはなし              | 10   | R6.11.24 | ツノゼミのせかい             | 20   |
| R6. 5.11 | 季節の花と花ことば カタクリのおはなし  | 25   | R6.11.30 | どんぐりころころどの木の子？       | 10   |
| R6. 5.12 | カエルのおはなし             | 25   | R6.11.30 | カメについて～浦島太郎のカメは何ガメ？～ | 8    |
| R6. 5.18 | マイマイカブリのおはなし         | 13   | R6.12. 1 | へびのおはなし              | 20   |
| R6. 5.18 | ダンゴムシのせかい            | 25   | R6.12. 7 | 大きな鳥のおはなし            | 13   |
| R6. 5.19 | 春の星座のおはなし            | 27   | R6.12. 7 | カエルのおはなし             | 20   |
| R6. 5.26 | カブトムシのおはなし           | 15   | R6.12. 8 | サメのおはなし              | 15   |
| R6. 6. 1 | 身近にいる危険な昆虫           | 30   | R6.12.14 | たんぽぽのおはなし            | 6    |
| R6. 6. 1 | カメのおはなし              | 25   | R6.12.14 | 三葉虫のおはなし             | 8    |
| R6. 6. 2 | へびのおはなし              | 35   | R6.12.15 | カブトムシのおはなし           | 15   |
| R6. 6. 8 | アカゲラのおはなし            | 8    | R7. 1. 4 | 身近にいる危険な昆虫           | 40   |
| R6. 6. 9 | モズのおはなし              | 16   | R7. 1. 4 | へびのおはなし              | 30   |
| R6. 6.15 | カラスのおはなし             | 7    | R7. 1. 5 | ヤマネのおはなし             | 5    |
| R6. 6.15 | たんぽぽのおはなし            | 17   | R7. 1.11 | マイマイカブリのおはなし         | 25   |
| R6. 6.16 | ツノゼミのせかい             | 7    | R7. 1.11 | 海の星 ヒトデのおはなし         | 10   |
| R6. 6.23 | 海の星 ヒトデのおはなし         | 30   | R7. 1.18 | モズのおはなし              | 6    |
| R6. 6.29 | ホネのおはなし              | 20   | R7. 1.18 | カワセミを知ろう！            | 20   |
| R6. 6.29 | 三葉虫のおはなし             | 10   | R7. 1.19 | ツノゼミのせかい             | 7    |
| R6. 6.30 | カエルのおはなし             | 30   | R7. 1.25 | 冬の星座のおはなし            | 10   |
| R6. 7. 6 | アジサイのおはなし            | 23   | R7. 1.25 | どんぐりのおはなし            | 20   |
| R6. 7. 7 | カワセミを知ろう！            | 17   | R7. 1.26 | アカゲラのおはなし            | 10   |
| R6. 7.13 | 里山のおはなし～夏の昆虫編～       | 30   | R7. 2. 1 | サメのおはなし              | 10   |
| R6. 7.13 | サメのおはなし              | 9    | R7. 2. 1 | カメについて～浦島太郎のカメは何ガメ？～ | 15   |
| R6. 7.20 | 夏の星座のおはなし            | 5    | R7. 2. 2 | カラスのおはなし             | 20   |
| R6. 7.20 | カメについて～浦島太郎のカメは何ガメ？～ | 10   | R7. 2. 8 | 骨のおはなし               | 10   |
| R6. 7.21 | 身近にいる危険な昆虫           | 6    | R7. 2. 8 | たんぽぽのおはなし            | 20   |
| R6. 7.28 | へびのおはなし              | 7    | R7. 2. 9 | タネのふしぎ               | 25   |
| R6. 8. 3 | カブトムシのおはなし           | 15   | R7. 2.15 | 大きな鳥のおはなし            | 5    |
| R6. 8. 3 | タネのふしぎ               | 10   | R7. 2.15 | カブトムシのおはなし           | 18   |
| R6. 8. 4 | ヤマネのおはなし             | 6    | R7. 2.16 | ヤマネのおはなし             | 7    |
| R6. 8.25 | カラスのおはなし             | 12   | R7. 2.22 | マイマイカブリのおはなし         | 10   |
| R6. 8.31 | 三葉虫のおはなし             | 10   | R7. 2.22 | カエルのおはなし             | 22   |
| R6. 8.31 | たんぽぽのおはなし            | 10   | R7. 2.23 | 三葉虫のおはなし             | 15   |
| R6. 9. 1 | ダンゴムシのせかい            | 15   | R7. 3. 1 | 身近にいる危険な昆虫           | 15   |
| R6. 9. 7 | 海の星 ヒトデのおはなし         | 12   | R7. 3. 1 | アカゲラのおはなし            | 12   |
| R6. 9. 8 | 季節の花と花ことば カラスウリ      | 10   | R7. 3. 2 | カラスのおはなし             | 15   |
| R6. 9.14 | サメのおはなし              | 5    | R7. 3. 8 | たんぽぽのおはなし            | 20   |
| R6. 9.14 | カワセミを知ろう！            | 15   | R7. 3. 8 | タネのふしぎ               | 12   |
| R6. 9.15 | 秋の星座のおはなし            | 20   | R7. 3. 9 | カメについて～浦島太郎のカメは何ガメ？～ | 12   |
| R6. 9.21 | ツノゼミのせかい             | 2    | R7. 3.15 | モズのおはなし              | 8    |
| R6. 9.21 | モズのおはなし              | 5    | R7. 3.15 | へびのおはなし              | 12   |
| R6. 9.22 | カメについて～浦島太郎のカメは何ガメ？～ | 15   | R7. 3.16 | 春の星座のおはなし            | 33   |
| R6. 9.29 | へびのおはなし              | 30   | R7. 3.22 | サメのおはなし              | 9    |

| 実施日      | テーマ        | 参加人数 | 実施日      | テーマ             | 参加人数  |
|----------|------------|------|----------|-----------------|-------|
| R6.10. 5 | たんぽぽのおはなし  | 6    | R7. 3.22 | 骨のおはなし          | 15    |
| R6.10. 5 | 三葉虫のおはなし   | 10   | R7. 3.23 | 季節の花と花ことば「カタクリ」 | 15    |
| R6.10. 6 | カブトムシのおはなし | 15   | R7. 3.29 | ツノゼミのせかい        | 10    |
| R6.10.12 | カエルのおはなし   | 5    | R7. 3.29 | 海の星 ヒトデのおはなし    | 20    |
| R6.10.12 | ホネのおはなし    | 10   | R7. 3.30 | カワセミを知ろう！       | 10    |
| R6.10.19 | カラスのおはなし   | 1    |          |                 |       |
| 合計       |            |      |          |                 | 1,696 |



スポットガイド  
Focused Guide



スポットガイド  
Focused Guide

### (3) 当館ボランティアによるイベント

#### ① 子ども自然教室（※事前予約制で実施）

ボランティアの企画運営による、小中学生を対象とした自然観察・体験活動を行うイベントを実施した。

| テーマ                              | 実施日      | 参加人数 | 担当ボランティア                                                           |
|----------------------------------|----------|------|--------------------------------------------------------------------|
| 博物館で春の昆虫を観察しよう                   | R6. 5.11 | 16   | 柄澤保彦、廣澤英明、坂本紀之、古川麻記子、中野安裕、鈴木 幸、山川 稔、大坪美月、清水実嗣、川上義治                 |
| 新緑の森、見て触って、たくさんの自然を探そう（ネイチャーゲーム） | R6 .6. 8 | 15   | 芳野光夫、坪内博子、武田まゆみ、菊池浩子                                               |
| 土壌のミニモノリスをつくろう                   | R6. 7.13 | 15   | 田村憲司、牧野純子、山口正恵、今村 敬、秋葉弘子、武藤由紀子                                     |
| ちりめんモンスター図鑑をつくろう                 | R6. 8.10 | 20   | 染谷勇人、高橋 宏、新井潤一郎、谷内貴子、鈴木栄恵、石塚哲也、武藤由紀子、児玉 弘                          |
| 石の図鑑をつくろう                        | R6. 9.14 | 15   | 大脇正人、丹羽俊二、石塚哲也、秋葉弘子、牧野純子                                           |
| きのこハンター                          | R6.10.12 | 13   | 牧野純子、秋葉弘子、関屋珠美、細川ヒサ子、金川泰三、逸見愉偉、金川恵士、内海陽一、北澤弘美、真藤憲政、福田智裕            |
| 自然とのふれあい（ネイチャーゲーム）               | R6.11. 9 | 6    | 芳野光夫、武田まゆみ、菊池浩子                                                    |
| 冬の博物館で野鳥をさがそう                    | R6.12. 7 | 11   | 阿部 均、相野谷叶乃、伊藤武彦、伊藤玲子、内海陽一、生方青春、古田島宏一、小林 勉、鮫島富雄、大黒聡子、前澤謙一、芳野光夫、尾田武文 |
| 押し花を使ってメッセージカードをつくろう             | R6.12.14 | 15   | 高橋玲子、小島百合子、古田島宏一、椎名道子、中山陽南                                         |
| 土壌のミニモノリスを作ろう！！                  | R7. 1.11 | 16   | 田村憲司、秋葉弘子、丹羽俊二、牧野純子、平山純子、今村 敬                                      |
| 化石をスケッチしてみよう                     | R7. 2. 8 | 6    | 小林 俊、和田義彦、丹羽俊二、和田百合子、岡田葉音                                          |

## ② ふれあい野外ガイド

野外施設の自然を楽しむための情報やヒントを提供するためにミュージアムボランティアによる野外ガイドを毎月第3土曜日に行った。参加者はイベント当日に希望者を募集した。

主な活動チームと活動内容

- ・ 昆虫（昆虫採集と解説）
- ・ 植物（野外の植物紹介）
- ・ ネイチャーゲーム（自然とのふれあい）
- ・ 化石クリーニング（木の葉化石の発掘体験）
- ・ 図書（紙芝居としおり作り）
- ・ きのこけ（野外で採集したきのこの展示と観察）
- ・ 竹林・竹炭（炭焼きと解説）



きのこけチームによるガイド

Guided tours by museum volunteers in the outdoor facilities



昆虫チームによるガイド

Guided tours by museum volunteers in the outdoor facilities

### 3 資料の収集・保管・利用

Collection, Conservation and Utilization of Materials

資料は、社会から託された共有財産という基本認識に立ち、博物館として必要な資料の収集を進めるとともに、それが次世代へ引き継がれるような適正な保管を図らねばならない。当館は茨城県立の博物館であることから、資料の収集対象をおもに「茨城の風土に根ざした自然」に関する資料とし、いわゆる「地域収集資料“Regional collection”」の充実を進めている。

#### 1 収蔵資料

##### (1) 資料収集方針と収蔵資料数

茨城県の自然に関する地域資料の充実を図ること、展示および教育普及活動の充実につながる資料を収集することをおもな目的として、資料収集を進めている。収集方法別にみると、購入・製作70点、採集2,008点、寄贈20,396点であった。分野別にみると、動物分野1,770点、植物分野19,946点、地学分野758点であった。令和6年度は、22,474点の国内外産の自然誌資料を収蔵し、当館の収蔵資料総数は467,770点になった。

収蔵資料数（令和7年3月末現在）

| 年 度     |     | 令和5年度まで | 令和6年度  | 合 計     |
|---------|-----|---------|--------|---------|
| 事 項     | 分 野 |         |        |         |
| 購入・製作資料 | 動物  | 26,775  | 16     | 26,791  |
|         | 植物  | 8,310   | 35     | 8,345   |
|         | 地学  | 8,677   | 19     | 8,696   |
| 採集資料    | 動物  | 57,661  | 468    | 58,129  |
|         | 植物  | 91,259  | 1,290  | 92,549  |
|         | 地学  | 15,111  | 250    | 15,361  |
| 寄贈資料    | 動物  | 137,207 | 1,286  | 138,493 |
|         | 植物  | 77,907  | 18,621 | 96,528  |
|         | 地学  | 22,381  | 489    | 22,870  |
| その他     | 動物  | 8       | 0      | 8       |
| 合 計     |     | 445,296 | 22,474 | 467,770 |

ひとまとまり（ロット）の資料については、1ロットを1点として計上している。

##### (2) 購入・製作資料

動物資料16点、植物資料35点、地学資料19点、合計70点の資料を購入・製作した。

| 分野 | 項 目   | 種 類          | 点 数 | 資 料 名                                                                                                                                                                      |
|----|-------|--------------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 動物 | 鳥類    | 剥製           | 14  | コシジロヤマドリ (2)、オシドリ (1)、シマアジ (1)、ヒバリ (1)、ニュウナイスズメ (1)、ジョウビタキ (1)、アカアシカツオドリ (1)、リュウキュウキジバト (1)、オキナワシ<br>ジウカラ (1)、リュウキュウヒヨドリ (1)、リュウキュウメジロ (1)、リュウキュウ<br>ツバメ (1)、シロハラゴジウカラ (1) |
|    |       | 骨格標本         | 1   | ブラウンキウイ (1)                                                                                                                                                                |
|    | 爬虫類   | 剥製           | 1   | ミシシippアカミミガメ (1)                                                                                                                                                           |
| 植物 | 維管束植物 | 実物           | 10  | 外国産ドンダリ 10 種 (10)                                                                                                                                                          |
|    |       | アクリル<br>封入標本 | 24  | ドンダリ (24)                                                                                                                                                                  |
|    |       | 複製           | 1   | ブナ (1)                                                                                                                                                                     |
| 地学 | 岩石・鉱物 | 実物           | 1   | コマチアイト (1)                                                                                                                                                                 |
|    | 化石    | 実物           | 13  | アラウカリア (3)、レバキア (2)、バルチア (7)、ソテツ (1)                                                                                                                                       |
|    |       | 複製           | 5   | ベルゼブフォ・アンビンガ (1)、ステゴロフォドン (1)、アンジュンサウルス (1)、メ<br>ニコエッス (1)、アダラテリウム (1)                                                                                                     |

### (3) 加工

なし

### (4) 採集資料

動物資料468点、植物資料1,290点、地学資料250点、合計2,008点の資料を採集した。

| 分野 | 項目          | 点数    | 資料名                                                                                                                                                                                                                     |
|----|-------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 動物 | 哺乳類         | 76    | アライグマ駆除個体 (69)、タヌキ・ハクビシンなど交通事故死個体 (7)                                                                                                                                                                                   |
|    | 鳥類          | 55    | バードストライク個体など (55)                                                                                                                                                                                                       |
|    | 両生・爬虫類      | 155   | ミシシippアカミミガメ (155)                                                                                                                                                                                                      |
|    | 魚類          | 52    | 淡水魚類 (52)                                                                                                                                                                                                               |
|    | 昆虫類         | 92    | カメムシ目およびコウチュウ目の水生昆虫 (92)                                                                                                                                                                                                |
|    | 昆虫類以外の無脊椎動物 | 38    | 陸・淡水産無脊椎動物 (26)、海産無脊椎動物 (12)                                                                                                                                                                                            |
| 植物 | 維管束植物       | 1,040 | 種子植物 (1,000)、シダ植物 (40)                                                                                                                                                                                                  |
|    | 非維管束植物      | 250   | 菌類 (200)、コケ植物 (50)                                                                                                                                                                                                      |
| 地学 | 岩石・鉱物       | 159   | 宇奈月花崗岩 (3)、黒部川花崗岩 (3)、県の石 (岩石：松脂岩など) (55)、県の石 (鉱物：ドーソン石など) (2)、鷹峰鉱山産マンガン鉱物 (総合調査) (53)、花崗斑岩など (大襲層) (3)、大襲層の岩石薄片 (12)、県内産鉱物 (2)、県外産岩石・鉱物 (20)、マンガン団塊・コバルトクラスト (6)                                                       |
|    | 化石          | 91    | 日立市初崎層サメ類化石 (2)、鯨類化石 (9)、日立市初崎層産カメ化石 (1)、放散虫を含む岩石 (8)、コノドントを含む岩石化石 (11)、二枚貝類 (31)、サメの歯 (1)、ノストセラス科 (2)、コダイアマモ (10)、骨 (1)、バキュリテス (2)、ウニ類 (1)、殻 (1)、トリゴニア (1)、ディプロモセラス科 (1)、ヒタチナカオオスッポン (1)、アンモナイト (4)、生痕 (3)、ヒゲクジラ亜目 (1) |

### (5) 寄贈資料

令和6年度は、一次資料17件20,382点（動物資料8件1,284点、植物資料1件18,611点、地学資料8件487点）、二次資料3件14点（動物資料1件2点、植物資料1件10点、地学資料1件2点）の寄贈を受け入れた。

|      | 分野 | 寄贈者       | 資料名                                                                                                                                              |
|------|----|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一次資料 | 動物 | 鶴町 孝      | 鶴町浩チョウ類昆虫標本 (897)                                                                                                                                |
|      |    | 内田大貴      | カライワシ (1)                                                                                                                                        |
|      |    | 内田大貴      | ヨコシマドンコ (1)                                                                                                                                      |
|      |    | 脇 司       | ソコダラシンカイ吸虫 (スライド標本) (1)、 <i>Epidapedon</i> sp. (スライド標本) (1)、 <i>Epidapedon</i> sp. (液浸標本) (1)                                                    |
|      |    | 外山太一郎     | 魚類標本 (333)                                                                                                                                       |
|      |    | 外山太一郎     | ヒメアンコウ (2)、ヒチビキ (1)、ウナギギンポ (1)、アカイサキ (1)、ハナメイワシ (1)、オキアカグツ (1)、ニラミハゼ (2)                                                                         |
|      |    | 外山太一郎     | 甲殻類標本 (7)                                                                                                                                        |
|      |    | 山崎和哉      | ブラウントラウト (33)                                                                                                                                    |
|      | 植物 | 和田 充      | 種子植物さく葉標本 (18,611)                                                                                                                               |
|      | 地学 | 金子 稔      | 有孔虫化石プレパラート (阿見町島津産) (2)、貝形虫化石プレパラート (常総市玉台橋産) (3)                                                                                               |
|      |    | 畠山繁吉      | 鯨類化石 (肋骨) (北茨城市産) (1)                                                                                                                            |
|      |    | 角田昭二・畠山繁吉 | 植物の葉化石 (北茨城市／亀ノ尾層産) (23)、サンゴ類化石 (北茨城市／亀ノ尾層産) (7)、魚の骨格化石 (北茨城市／亀ノ尾層産) (2)、骨化石 (北茨城市／亀ノ尾層産) (8)、サメ類の歯化石 (北茨城市／亀ノ尾層産) (174)、分類不明化石 (北茨城市／亀ノ尾層産) (2) |
|      |    | 角田昭二・畠山繁吉 | サメの歯化石 (北茨城市産) (26)、鯨類化石 (北茨城市産) (6)、貝化石 (北茨城市産) (2)                                                                                             |
|      |    | 角田昭二・畠山繁吉 | 鯨類化石 (北茨城市／多賀層群産) (66)、鯨類化石 (日立市／日立層群産) (1)                                                                                                      |
|      |    | 堀内順治      | 植物化石 (England／ジュラ紀) (28)、岩石標本 (England／白亜紀) (3)                                                                                                  |
|      |    | 応用地質株式会社  | ボーリングコア試料 (52)、岩石薄片 (66)、大型岩石薄片 (14)                                                                                                             |

|      | 分 野 | 寄贈者       | 資 料 名                                   |
|------|-----|-----------|-----------------------------------------|
| 一次資料 | 地学  | 松浦陽子      | サメの歯化石（ひたちなか市／多賀層群）（1）                  |
| 二次資料 | 動物  | 園部晃嗣      | 日本水産動植物図集上下編（各1点）                       |
|      | 植物  | 大河原紀子     | 南方系植物 植物画（10）                           |
|      | 地学  | 茨城県教職員互助会 | アイギアロサウルス科全身骨格レプリカ（1）、エンコドゥス全身骨格レプリカ（1） |

## (6) 寄託資料

ナウマンゾウの臼歯および切歯が行方市から寄託され、ディスカバリープレイスで展示している。

| 寄託者      | 寄託期間                | 資 料 名             |
|----------|---------------------|-------------------|
| 行方市教育委員会 | H7. 4. 1 ～ R7. 3.31 | ナウマンゾウ臼歯（2）、切歯（1） |

## (7) 長期借用資料

貴重な資料を一定の期間ごとに契約更新をしながら、長期にわたって継続的に資料を借用し、常設展示で公開している。

| 借用元          | 借用期間                 | 資 料 名             |
|--------------|----------------------|-------------------|
| ロサンゼルス自然史博物館 | H11. 9.29 ～ R7.10.31 | サーベルタイガー実物化石標本（1） |
| 東京税関         | H14.12. 1 ～ R7. 3.31 | シーラカンス剥製標本（1）     |

## (8) データベース登録

### ① 収蔵資料データベース

当館では、クラウド型データベースシステムを活用した収蔵管理システムを運用し、収蔵資料データの管理を行っている。登録されたデータは、当館ホームページ上から誰でも検索することができるようになっている。収蔵されている資料は、各分野とも未整理のものがあり、収蔵資料の一部がデータベースに登録されていない状況となっている。収蔵資料の有効な活用を進めるためにも、全資料のデータベース登録に向けて作業を進めていく必要がある。

### 令和6年度（3月末）のデータベース入力状況（資料数（総計）に対するデータベース登録数（総計）の割合）

| 分野 | 資料数（総計） | データベース登録数（R6） | データベース登録数（総計） | 割合（％） |
|----|---------|---------------|---------------|-------|
| 動物 | 223,421 | 4,508         | 95,019        | 42.5  |
| 植物 | 197,422 | 1,046         | 183,956       | 93.1  |
| 地学 | 46,927  | 850           | 45,222        | 96.4  |
| 合計 | 467,770 | 6,404         | 324,197       | 69.3  |

### ② S-Net/GBIF への標本情報の提供

当館では、平成18年より国立科学博物館の「自然史系博物館のネットワークを活用した生物多様性情報の提供」事業への協力を行っている。この事業は、自然史標本に関する情報を国立科学博物館に提供し、集約した情報をウェブサイト「サイエンスミュージアムネット（S-Net）」で横断的に検索することを可能とするものである。情報は、全世界の生物多様性に関する情報の横断的検索を可能とする「地球規模生物多様性情報機構（GBIF）」のデータベースにも提供され、提供した当館の資料も国外から検索することが可能になっている。

### S-Net/GBIF への標本情報の提供件数

| 年 度     | 動 物    | 植 物     | 地 学   | 計       |
|---------|--------|---------|-------|---------|
| 令和5年度まで | 72,752 | 146,124 | 1,941 | 220,817 |
| 令和6年度   | 3,000  | 500     | 0     | 3,500   |
| 合 計     | 75,752 | 146,624 | 1,941 | 224,317 |

## 2 図書・視聴覚資料

当館では、研究のための学術図書や文献の収集のほかに、来館者のための自然科学・博物館学関係の図書や雑誌の収集を行ってきた。併せて自然科学・環境関係の映像ソフトを整備し、図書室に併設されたビデオコーナーで自由に視聴することができるようになっている。

### (1) 図書数

| 項 目 |         | 計      |
|-----|---------|--------|
| 和書  | 一般書・専門書 | 18,068 |
|     | 児童書     | 4,711  |
|     | 紙芝居     | 136    |
| 洋書  |         | 1,087  |
| 合 計 |         | 24,002 |

### (2) 雑誌タイトル数

| 項 目   | タイトル数 |
|-------|-------|
| 和 雑 誌 | 8     |

### (3) 視聴覚ソフトタイトル数

| 分 野       | タイトル数 |
|-----------|-------|
| 動 物 関 係   | 364   |
| 植 物 関 係   | 118   |
| 地 学 関 係   | 295   |
| 自然一般・環境関係 | 248   |
| 合 計       | 1,025 |

※ビデオコーナーにて608タイトルを公開中。

## 3 資料の利用

### (1) 資料の貸出

#### ① 展示目的（動物14件158点、植物4件37点、地学2件7点、合計20件202点）

| 分野 | 施設・機関           | 貸出期間                   | 主な貸出標本                         | 使用目的                        | 担当                   |
|----|-----------------|------------------------|--------------------------------|-----------------------------|----------------------|
| 動物 | 茨城県植物園熱帯植物館     | R6. 4.16 ~<br>R6. 5. 9 | 世界の昆虫など (33)、<br>展示用棚 (4)      | 茨城県植物園展示                    | 久松正樹                 |
|    | 茨城県霞ヶ浦環境科学センター  | R6. 5.28 ~<br>R6. 9. 6 | アライグマ剥製など (4)                  | 特別展示「迫りくる外来哺乳類」             | 後藤優介                 |
|    | 宮城県総合博物館        | R6. 6. 7 ~<br>R6. 9.16 | ハナミノカサゴ剥製など (44)               | 特別展「毒モンスター水族館」              | 北澤佑子<br>池澤広美<br>小林正雄 |
|    | 名古屋市科学館         | R6. 6.13 ~<br>R6. 9.30 | ヒガンフグ標本など (4)                  | 特別展「毒」                      | 北澤佑子<br>後藤優介         |
|    | 大阪市立自然史博物館      | R6. 7.13 ~<br>R6. 9.23 | マヌルネコ剥製など (4)                  | 企画展「ネコ ～にゃんと！ クールなハンターたち～」  | 後藤優介                 |
|    | 茨城県県民生活環境部環境政策課 | R6. 7.27 ~<br>R6. 7.28 | ツキノワグマ剥製など (13)                | 有害鳥獣や狩猟に関する認知度向上のため開催するイベント | 後藤優介                 |
|    | 埼玉県立川の博物館       | R6. 9.11 ~<br>R6.12.13 | ミサゴ剥製など (14)                   | 企画展「東京をまもった人工水路と生きものたち」     | 佐野拓哉                 |
|    | 鳥取県立博物館         | R6. 9.24 ~<br>R6.11.30 | マヌルネコ剥製 (1)<br>カナダオオヤマネコ剥製 (1) | 企画展「ネコ ～にゃんと！ クールなハンターたち～」  | 後藤優介                 |
|    | 福岡市科学館          | R6.10. 1 ~<br>R7. 1.17 | ヒガンフグ標本など (4)                  | 特別展「毒～コノセカイハ、ドクダラケ～」        | 北澤佑子<br>後藤優介         |

| 分野 | 施設・機関           | 貸出期間                   | 主な貸出標本                                       | 使用目的                              | 担当   |
|----|-----------------|------------------------|----------------------------------------------|-----------------------------------|------|
| 動物 | 土浦市             | R6.10. 4 ～<br>R6.10.20 | アライグマ剥製 (1)<br>キョン剥製 (1)                     | 土浦市環境展                            | 後藤優介 |
|    | 国立科学博物館         | R6.10.15 ～<br>R7. 3. 7 | キジ剥製など (4)                                   | 特別展「鳥」                            | 佐野拓哉 |
|    | 国立モンゴル児童中央図書館   | R7.1.12                | タルバガン剥製など (4)                                | 日本・モンゴル交流フェスティバル in つくば           | 後藤優介 |
|    | 茨城県県民生活環境部環境政策課 | R7. 3.14 ～<br>R7. 3.18 | キョン剥製 (1)                                    | ニホンジカ等捕獲技術講習会                     | 後藤優介 |
|    | 栃木県立博物館         | R7. 3.29 ～<br>R7. 7.31 | ワニガメ剥製 (1)<br>ハクレン剥製 (1)<br>ナメクジ類レプリカなど (19) | 企画展「外来生物～人によって運ばれた生き物たちからのメッセージ～」 | 池澤広美 |
| 植物 | 名古屋市科学館         | R6. 6.13 ～<br>R6. 9.30 | ドクゼリ模型など (5)                                 | 特別展「毒」                            | 伊藤彩乃 |
|    | 福岡市科学館          | R6.10 1 ～<br>R7. 1.17  | ドクゼリ模型など (9)                                 | 特別展「毒～コノセカイハ、ドクダラケ～」              | 伊藤彩乃 |
|    | 茨城県霞ヶ浦環境科学センター  | R6.10 10 ～<br>R6.12.24 | キノコレプリカ (18)                                 | 特別展示「毒キノコにご用心」                    | 櫛引豪人 |
|    | 茨城県立下館第一高等学校    | R7. 1.15 ～<br>R7. 2.21 | 三宅島の溶岩上の植生遷移と植生模型 (5)                        | 高等学校の授業資料                         | 伊藤彩乃 |
| 地学 | 福井県立恐竜博物館       | R6. 6.12 ～<br>R6.11.22 | コリトサウルスなど (2)                                | 特別展「バッドランドの恐竜たち～北アメリカの1億年～」       | 加藤太一 |
|    | 神栖市歴史民俗資料館      | R6. 6.12 ～<br>R6. 9.30 | ネオカラミテスなど (5)                                | 企画展「生きている化石のひみつ」                  | 加藤太一 |

## ② 研究目的（植物2件4点、地学2件4点、合計4件8点）

| 分野 | 施設・機関                     | 貸出期間                   | 主な貸出標本                    | 使用目的                       | 担当   |
|----|---------------------------|------------------------|---------------------------|----------------------------|------|
| 動物 | なし                        |                        |                           |                            |      |
| 植物 | 日本きのこセンター菌茸研究所<br>牛島秀爾    | R6. 8.23 ～<br>R6.11. 3 | ヤコウタケ (1)<br>ヤコウタケ近似種 (1) | 未記載種と推察される本標本の分類学研究のため     | 櫛引豪人 |
|    | 新潟県生態研究会<br>丸山隆史          | R6. 8.23 ～<br>R6.11.30 | キサマツモドキ (2)               | 未記載種と推察される本標本の分類学研究のため     | 櫛引豪人 |
| 地学 | 研究協力員<br>飯泉克典             | R6. 9.22 ～<br>R6.10.13 | ステゴロフォドン頭骨（野上標本） (1)      | CT スキャンを用いたステゴロフォドンの解剖学的研究 | 加藤太一 |
|    | 東京都市大学大学院総合理工学研究科<br>小泉 櫻 | R6.10.18 ～<br>R7. 3.31 | 分椎類頭骨レプリカ (3)             | 観察および写真撮影・3D データの作成        | 加藤太一 |

## (2) 資料の閲覧（特別観覧）（合計8件11人）

| 分野 | 閲覧者                                                              | 閲覧日      | 主な閲覧標本                                                                                          | 閲覧目的       | 担当   |
|----|------------------------------------------------------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------|
| 動物 | 筑波大学 地球科学学位プログラム博士前期課程<br>近藤征海                                   | R6. 7.26 | ツキノワグマ (INM-1-43570)<br>ニホンノウサギ (INM-1-7841,31505,47836)<br>ハクビシン (INM-1-7919,8923,31374,31375) | 修士研究のデータ収集 | 後藤優介 |
|    | 東北大学<br>Megan Low Mei Yan<br>筑波大学大学院生命環境系<br>保全生態学研究室 助教<br>横井智之 | R6. 9.20 | ハナバチ標本                                                                                          | 修士研究のデータ収集 | 久松正樹 |

| 分野 | 閲覧者                                         | 閲覧日                  | 主な閲覧標本                       | 閲覧目的                      | 担当   |
|----|---------------------------------------------|----------------------|------------------------------|---------------------------|------|
| 動物 | 総合調査員<br>山崎和哉<br>外山太一郎                      | R6. 9.22             | エビ類の標本                       | 茨城県内におけるエビ類の分布<br>域の調査のため | 池澤広美 |
|    | 東邦大学 准教授 脇 司<br>同大学 学生 斉藤佳希                 | R6.12. 6             | 淡水魚類の液浸標本                    | 標本内の寄生虫の調査                | 池澤広美 |
|    | 東京農工大学大学院<br>佐藤華音                           | R6.12.14             | ノウサギ剥製                       | 体毛に付着する種子量の調査             | 後藤優介 |
|    | 魚類研究協力員<br>内田大貴                             | R7. 1. 4             | コガタガムシ標本                     | 論文執筆                      | 久松正樹 |
| 植物 | 慶應義塾大学 准教授<br>糟谷大河                          | R6. 7. 6             | 菌類乾燥標本                       | ヤコウタケ類似の未記載種の分<br>類学的研究   | 櫛引豪人 |
| 地学 | 福井県立大学 恐竜学研究<br>所 日本学術振興会特別研<br>究員<br>多田誠之郎 | R6. 6.10<br>R6. 8.16 | トリケラトプス頭骨化石<br>(INM-4-14453) | 観察および写真撮影<br>3D データの作成    | 加藤太一 |
|    | 東京都市大学大学院 総合<br>理工学研究科<br>小泉 櫻              | R6.10.18             | ベントスクス頭骨<br>(INM-4-312)      | 観察および写真撮影<br>3D データの作成    | 加藤太一 |

### (3) 学術論文などに掲載された資料

| 分野 | 資料名                                                                                                                            | 掲載された学術論文など                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 動物 | キジ、コジュケイの鳥類剥製2点                                                                                                                | Sato, K., Y. Goto and S. Koike. 2024. Epizoochorous seed dispersal by two Phasianidae birds: Green pheasant ( <i>Phasianus versicolor</i> ) and Chinese bamboo partridge ( <i>Bambusicola thoracicus</i> ). <i>Ecological Reseach</i> . DOI: 10.1111/1440-1703.12505                                                                                                       |
|    | コアホウドリ剥製3点 (INM-1-011948, INM-1-008327, INM-1-001080),<br>トウゾクワダツミウモウダニ (INM-1-123401, 123402), アホウドリワダツミウモウダニ (INM-1-123403). | 原田知怜・脇 司・後藤優介・伊村 智・島野智之. 2024. 海鳥の剥製から得られたワダツミウモウダニ属 (新称) <i>Zachvatkinia</i> 2種の報告. タクサ: 日本動物分類学会誌, 57: 36-40.                                                                                                                                                                                                                                                            |
|    | 茨城県小美玉市で採取されたハムシ科昆虫標本                                                                                                          | 坂本紀之・西元重雄・重藤裕彬・滝沢春雄. 2024. 茨城県小美玉市で記録されたコウチュウ目ハムシ科昆虫の目録. 茨城県自然博物館研究報告, (27): 39-52.                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|    | ムサシノジュズカケハゼ液浸標本 (INM-1-96912 ~ 96919)                                                                                          | 山崎和哉・外山太一郎. 2024. 茨城県におけるムサシノジュズカケハゼ (スズキ目: ハゼ科) の記録. 茨城県自然博物館研究報告, (27): 73-76.                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|    | 茨城県大北川と河口域で採取された魚類液浸標本 (INM-1-96828 ~ 96894)                                                                                   | 金子誠也・山崎和哉・外山太一郎・中畠政明・増子勝男・加納光樹. 2024. 茨城県大北川と河口域の魚類相. 茨城県自然博物館研究報告, (27): 77-88.                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|    | ナミノリソコエビ科とモクズヨコエビ科の端脚目液浸標本21点 (INM-2-123409ほか)                                                                                 | 樋渡武彦・森野 浩・池澤広美. 2024. 茨城県沿岸を含む日本産ナミノリソコエビ科 Dogielinotidae とモクズヨコエビ科 Hyalidae (甲殻亜門・フクロエビ上目・端脚目) 全種の分類と検索. 茨城県自然博物館研究報告, (27): 89-105.                                                                                                                                                                                                                                      |
| 植物 | ホソバヒメミソハギ さく葉標本4点 (INM-2-84060, 86802, 202162, 232369)                                                                         | 早川宗志. 2024. さく葉標本に基づくナンゴクヒメミソハギ (ミソハギ科) の関東地方における分布情報の精査. 雑草研究, 69: 41-44.                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|    | 維管束植物さく葉標本109点 (INM-2-234126 ~ 234234)                                                                                         | 伊藤彩乃・松木 礼・川田清和・小幡和男・矢野徳也・西廣 淳. 2024. 茨城県稲敷市の茅場跡の湿生植物群落の植物相と種組成. 茨城県自然博物館研究報告, (27): 25-28.                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|    | ナチンダさく葉標本2点 (INM-2-233239, 233283)                                                                                             | 鈴木亮輔・小幡和男・岡 利雄. 2024. 茨城県におけるナチンダの新産地と冬季の生育状況. 茨城県自然博物館研究報告, (27): 63-71.                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|    | コケ植物標本30点 (INM-2-230102 ~ 230131)                                                                                              | 鶴沢美穂子・木口博史. 2024. 茨城県新産の7種のコケ植物について. 蘚苔類研究, 13(2): 1-6.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|    | ヤクシマシヤクナゲ粉もち病菌標本 (INM-2-055259: Type, 055258, 055260, 055264, 052436)                                                          | Nagao, H. and S. Kurogi. 2024. <i>Exobasidium shiraianum</i> var. <i>osuzuense</i> var. nov. (Exobasidiaceae) causing Exobasidium leaf blight on subgenus Hymenanthus, <i>Rhododendron japonoheptamerum</i> var. <i>japonoheptamerum</i> and <i>R. yakushmanum</i> var. <i>intermedium</i> in Japan., T., E. Kawahara and K. Hosaka., <i>Phytotaxa</i> , 666 (2): 163-167. |

| 分野 | 資料名                                                                                                                             | 掲載された学術論文など                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 植物 | タンポタケモドキ乾燥標本<br>(INM-2-229315, 229316)                                                                                          | Kasuya 2024. A new distributional record of <i>Elaphomyces fuscus</i> from Japan: as a new host of <i>Tolypocladium japonicum</i> . <i>Truffology</i> , 7 (1): 1-8.                                                                                                                               |
|    | キチャコタマゴテングタケ乾燥標本<br>(INM-2-206051, 206054)                                                                                      | Endo, N., M. Nishimura, T. Kasuya, R. Sugawara, K. Nagamune, S. Ushijima, Y. Takemura, D. Nagamatsu and A. Nakagiri. 2025. A new record of <i>Amanita sinocitrina</i> from Japan and a description of its ectomycorrhizae associated with Japanese red pine. <i>Mycoscience</i> , 66(2): 145-154. |
| 地学 | カグラザメ属化石1点<br><i>Hexanchus ?gigas-griseus</i> (INM-4-19546)<br>ホホジロザメ化石2点<br><i>Carcharodon carcharias</i> (INM-4-17805, 17804) | 加藤太一・吉川広輔・森田直樹・村上瑞季・中島保寿・高栴祐司. 2024. 鮮新統日立層群“初崎層”から産出したサメ類（カグラザメ属およびホホジロザメ）の歯化石. 茨城県自然博物館研究報告, (27): 1-9.                                                                                                                                                                                         |
|    | 木下層産貝形虫化石45点<br>(INM-4-19561 ~ 19611, うち6点は未使用)                                                                                 | 小沢広和・金子 稔・石川博行・野村正弘・加藤太一. 2024. 茨城県常総市内守谷町玉台橋付近の上部更新統木下層産貝形虫化石. 茨城県自然博物館研究報告, (27): 11-18, pls. 1-2.                                                                                                                                                                                              |
|    | 木下層産浮遊性有孔虫化石9点<br>(INM-4-19552 ~ 19560)                                                                                         | 野村正弘・金子 稔・石川博行・齋藤綾香・小沢広和・加藤太一. 2024. 茨城県阿見町島津の更新統下総層群から産出した浮遊性有孔虫化石. 茨城県自然博物館研究報告, (27): 53-57, pl. 1.                                                                                                                                                                                            |

#### (4) 図書貸出

来館者は収蔵している図書の一部を図書室の開架で自由に閲覧できる。また、友の会会員には週3日（水、土、日）の貸出日を設けている。

##### ① 貸出図書数

| 月     | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  | 合計  |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 令和2年度 | 12 | 29 | 5  | 32 | 20 | 25 | 20 | 15 | 23 | 10 | 11 | 21 | 223 |
| 令和3年度 | 34 | 46 | 6  | 28 | 10 | 0  | 21 | 5  | 7  | 10 | 0  | 0  | 167 |
| 令和4年度 | 13 | 6  | 5  | 14 | 13 | 13 | 10 | 0  | 4  | 7  | 14 | 10 | 109 |
| 令和5年度 | 13 | 0  | 12 | 7  | 4  | 3  | 10 | 16 | 8  | 9  | 0  | 1  | 83  |
| 令和6年度 | 4  | 5  | 2  | 13 | 10 | 6  | 2  | 6  | 5  | 5  | 15 | 5  | 78  |

##### ② 貸出図書の分野別集計

| 分野           | 一般・専門書（冊） |       | 児童書（冊） |       | 合計（冊）  |       |
|--------------|-----------|-------|--------|-------|--------|-------|
|              | ～令和5年度    | 令和6年度 | ～令和5年度 | 令和6年度 | ～令和5年度 | 令和6年度 |
| 自然科学         | 105       | 125   | 323    | 341   | 428    | 469   |
| 物理学          | 61        | 61    | 10     | 10    | 71     | 71    |
| 化学           | 12        | 12    | 7      | 7     | 19     | 19    |
| 天文学・宇宙科学     | 114       | 114   | 170    | 170   | 284    | 284   |
| 地球科学・地学・地質学  | 501       | 501   | 882    | 888   | 1,383  | 1,389 |
| 生物科学・一般生物学   | 163       | 163   | 72     | 72    | 235    | 235   |
| 植物学          | 400       | 400   | 124    | 124   | 524    | 524   |
| 動物学          | 797       | 797   | 929    | 932   | 1,726  | 1,729 |
| 医学・薬学        | 183       | 183   | 59     | 59    | 242    | 242   |
| 技術・工学・工業     | 189       | 189   | 138    | 142   | 327    | 331   |
| 農林水産業・園芸     | 350       | 355   | 123    | 130   | 473    | 485   |
| 社会科学         | 22        | 22    | 15     | 20    | 37     | 42    |
| 文学・芸術        | 101       | 101   | 81     | 86    | 182    | 187   |
| 百科事典・歴史・そのほか | 333       | 333   | 608    | 613   | 941    | 946   |
| 絵本           | 1         | 1     | 456    | 456   | 457    | 457   |
| 紙芝居          | 2         | 2     | 765    | 765   | 767    | 767   |
| 合計           | 3,334     | 3,359 | 4,762  | 4,815 | 8,096  | 8,177 |

## (5) 画像映像資料の提供（合計21件157点）

| 分野  | 施設・機関           | 許可日      | 提供画像                      | 使用目的                                      |
|-----|-----------------|----------|---------------------------|-------------------------------------------|
| 動物  | 神栖市歴史民俗資料館      | R6. 4. 9 | オウムガイ写真(1)<br>シーラカンス写真(1) | 企画展のパンフレット、写真パネル                          |
|     | 鹿児島市水族館         | R6. 5. 2 | カツオノエボシ動画(1)              | 企画展における展示映像                               |
|     | アクアワールド茨城県大洗水族館 | R6. 6.16 | 「サンゴノフトヒモの摂餌と産卵について」動画(1) | デジタルサイネージでの生態解説                           |
|     | 国立科学博物館         | R6. 6.25 | カツオノエボシ動画(1)              | 企画展における展示映像                               |
|     | 東京貝類同好会         | R6. 6.25 | 寄贈標本感謝状贈呈式の写真(1)          | 東京貝類同好会会誌「ひたちおび」に掲載                       |
|     | 茨城県環境政策課        | R7. 1.24 | 昆虫の写真(11)                 | 筑波山自然研究路に設置予定の看板に掲載                       |
| 植物  | 石岡市教育委員会        | R6. 8.30 | 絶滅危惧植物写真(85)              | 「石岡市文化財保存活用地域計画」に掲載                       |
|     | 茨城県環境政策課        | R7. 1.24 | 維管束植物の写真(30)              | 筑波山自然研究路に設置予定の看板に掲載                       |
| 地学  | 株式会社 Gakken     | R6. 4.25 | ティラノサウルスの頭骨の画像(1)         | 「よみとく10分 なぜ? どうして? いきもののお話し1年生」紙版/電子版での掲載 |
| 館全体 | 株式会社テレビ朝日       | R6. 4. 7 | 松花江マンモス写真など(3)            | TV 番組「くりいむクイズミラクル9」にて放送                   |
|     | 株式会社キウイラボ       | R6. 6.27 | 松花江マンモス写真(1)              | 大地のビジュアル大図鑑「6巻大地にねむる化石」掲載                 |
|     | NHK エンタープライズ    | R6. 7.17 | ティラノサウルスの復元模型の写真(1)       | NHK 番組「4K プレミアムカフェ」にて放送                   |
|     | 園芸 JAPAN        | R6. 7.24 | 羊歯展エントランス写真など(4)          | 雑誌「園芸 JAPAN9月号」掲載                         |
|     | 株式会社ローソン        | R6. 7.30 | ティラノサウルスの復元模型の写真(1)       | 坂東 PA 内店舗の市内名所案内コーナー掲載                    |
|     | ナツメ出版企画株式会社     | R6. 7.30 | 棚倉断層の写真(1)                | 書籍『地図と写真で「なぜ」と「今」がわかる日本の地形図鑑(仮)』掲載        |
|     | 株式会社日企          | R6. 7.31 | 松花江マンモス写真(1)              | 日本テレビ「オー!マイゴッド!」にて放送                      |
|     | 公益財団法人常陽藝文センター  | R6. 8. 7 | 博物館外観の写真ほか(2)             | 茨城県紹介動画にて放映                               |
|     | 宇都宮ステーション開発会社   | R6.10.17 | 松花江マンモス写真ほか(2)            | VAL 古河リーフレット掲載                            |
|     | フリージャーナリスト 河野博子 | R7. 2. 2 | タチスミレの写真(1)               | 東洋経済オンライン掲載                               |
|     | 株式会社 Gakken     | R7. 3.21 | ヌオエロサウルスとメタセコイアの写真ほか(6)   | 「ゆるゆる生きた化石図鑑」掲載                           |
|     | 応用地質株式会社        | R7. 3.21 | 博物館外観の写真(1)               | 会社の活動紹介動画にて放映                             |

## 4 情報管理システムの運用

当館では、情報の管理・共有化・電子化により博物館業務の効率化を図るとともに、自然科学に関する情報発信の基地としての役割を果たすために情報管理システムを常時運用している。

### (1) ホームページの利用状況

令和6年度のホームページのアクセス件数は、1,006,246件であった。ホームページ開設（平成9年10月1日）以来、10,603,072件に達した。1日平均は、2,756.8件だった。また、アクセス件数の83.6%が携帯端末からのアクセスである。スマートフォンやタブレットからも見やすいレイアウトに変更するなどし、令和3年2月1日にホームページをリニューアルした。携帯端末からのアクセスが多い現状を意識し、今後もわかりやすい情報発信を行っていく。

## ホームページアクセス件数の推移

|        | 平成9年度（10月～） | 平成10年度    | 平成11年度    | 平成12年度    |
|--------|-------------|-----------|-----------|-----------|
| アクセス件数 | 7,139       | 20,573    | 26,652    | 47,320    |
| 日平均数   | 39.2        | 56.4      | 72.8      | 129.6     |
|        | 平成13年度      | 平成14年度    | 平成15年度    | 平成16年度    |
| アクセス件数 | 56,642      | 96,752    | 104,900   | 132,180   |
| 日平均数   | 155.2       | 265.1     | 287.4     | 362.1     |
|        | 平成17年度      | 平成18年度    | 平成19年度    | 平成20年度    |
| アクセス件数 | 172,107     | 211,976   | 254,511   | 240,748   |
| 日平均数   | 471.5       | 580.8     | 695.4     | 659.6     |
|        | 平成21年度      | 平成22年度    | 平成23年度    | 平成24年度    |
| アクセス件数 | 253,506     | 252,866   | 269,693   | 285,789   |
| 日平均数   | 694.5       | 692.8     | 738.9     | 780.8     |
|        | 平成25年度      | 平成26年度    | 平成27年度    | 平成28年度    |
| アクセス件数 | 353,904     | 361,875   | 423,439   | 473,065   |
| 日平均数   | 969.6       | 991.4     | 1,143.2   | 1,296.1   |
|        | 平成29年度      | 平成30年度    | 令和元年度     | 令和2年度     |
| アクセス件数 | 588,403     | 635,414   | 678,131   | 524,862   |
| 日平均数   | 1,612.1     | 1,740.8   | 1,857.8   | 1,437.9   |
|        | 令和3年度       | 令和4年度     | 令和5年度     | 令和6年度     |
| アクセス件数 | 930,193     | 1,155,329 | 1,038,857 | 1,006,246 |
| 日平均数   | 2,548.4     | 3,165.2   | 2,846.2   | 2,756.8   |

## (2) 収蔵資料管理システム

当館が所蔵する動物・植物・地学資料に関する情報をデータベース化し、各種業務において活用している。平成27年度にクラウドサービス型の収蔵資料管理システムを導入した。また、収蔵資料情報の一部をホームページにおいて公開している。これにより、外部から当館の収蔵資料情報を検索して活用することが可能となっている。

## (3) 図書管理システム

図書室・研究室に所蔵されている図書の情報をデータベースで管理するとともに、自然博物館友の会会員を対象とした開架図書の貸出業務に活用している。

## (4) 団体およびイベント予約システム

当館の利用を希望する団体やイベントへの参加を希望する個人が、効率よく予約申込ができるようなシステムを導入している。令和5年度から導入した団体利用やイベント予約者へのリマインドメールの自動送信に加え、団体予約の際に、セミナーハウスの利用の予約ができるようなシステムを導入した。

## (5) Wi-Fi 利用状況

平成30年3月1日より、博物館内において公衆無線 LAN サービスの利用を開始した。令和6年度（4～3月）の月毎の平均接続者数は578人/月（昨年度比 -233人/月）、平均接続率は25%（昨年度比 -2%）、データ使用量は5,990GB（昨年度比 +1,584GB）、平均滞在時間は1時間29分（昨年度比 -5分）となった。昨年度よりも接続者数は減少したがデータ使用料は増えており、多くの利用実績があったことが伺える。接続したSSIDのデータ使用量では、【IBARAKI-FREE-WiFi】が最も多く、3,469GB（全体の約58%）となった。次に【Ibaraki\_Nature\_Museum】が1,746GB（約29%）、【Ibaraki\_Nature\_Museum\_FB】が589GB（約10%）、【INM\_Japan\_Connected-Free\_Wi-Fi】が187B（約3%）である。当館独自のSSID（【Ibaraki\_Nature\_Museum】と【Ibaraki\_Nature\_Museum\_FB】）の合計データ使用量は昨年度より約1.3倍に増えている。なお、令和5年6月より、Facebookの運営会社であるMeta Platforms, Inc.（旧称：Facebook, Inc.）側が認証サービスを停止し

たことにより、【Ibaraki\_Nature\_Museum\_FB】はFacebook 認証ができなくなっているが、利用状況については伸びている（昨年度比+1.5倍）。

## 5 資料の保守・管理

収蔵資料および展示資料を良好な状態に維持することを目的として、燻蒸と環境調査を行っている。燻蒸の方法については、館内にある燻蒸釜で職員が行う燻蒸と、収蔵庫および展示室に対して専門業者が施工する特別燻蒸がある。なお、収蔵庫の特別燻蒸の際には、館を臨時に休館して行っている。購入、採集、寄贈・寄託などで受け入れた資料や貸出標本などの標本については、収蔵庫や展示室に収める前に燻蒸釜で燻蒸を行っている。令和6年度の特別燻蒸は、これまでの環境調査の結果をもとに燻蒸実施場所を選定し、燻蒸業者が次の要領で行った。

### (1) 特別燻蒸

#### ① 期間

第1次施工期間として、令和6年6月15日（土）～6月21日（金）の7日間（18日～21日を臨時休館とした）にわたり実施した。

第2次施工期間として、令和6年7月21日（日）～7月22日（月）にかけて実施した。

#### ② 内容

第1次施工期間は、動物収蔵庫・植物収蔵庫の2つの収蔵庫をエキヒュームS（酸化エチレン+1,1,1,2-テトラフルオロエタン）を用いて行った。また、第2、第3展示室をミラクンGX（ピレストロイド系のd・d-T-シフェノトリン）を用いて行った。

第2次施工期間は、第2、第3展示室をミラクンGXを用いて行った。第2、第3展示室のジオラマにおいて、文化財害虫の発生を抑制するために実施したものである。

### (2) 環境調査

#### ① 期間および回数

令和6年6月から11月までの間、1か月単位で区切り、計5回の調査を実施した。

#### ② 内容

収蔵庫（動物収蔵庫、植物収蔵庫、地学収蔵庫、液浸収蔵庫）および常設展示室（全6室）、企画展示室、研究室（全3室）、荷解室、館内出入口などの全域で生息昆虫調査を行い、調査結果をもとに薬剤散布による昆虫などの防除と館内職員への注意喚起を行った。

### (3) 資料保管庫の整備

地学収蔵庫において限られた収蔵スペースを効率的に使用するため、既存の丸ハンドル式移動棚に合わせた棚板および棚受を製作し、20段分の棚を追加した。

動物収蔵庫の哺乳類剥製の保管スペースに天井からの吊り棚を設置した。哺乳類の剥製は、種によって個々のサイズや形が大きく異なることから、定形の既製の棚へは効率的な収蔵が難しい現状がある。そのため、天井からの吊り下げ型の棚を新たに設計、製作することで、剥製類の床置きスペースと、移動する際のスペースを確保しつつ、これまで使用できなかった天井付近の空間を有効に活用した収蔵スペースとした。

### (4) 野外管理棟における収蔵倉庫の整備

収蔵庫の狭陰化対策の一環として、既存の建物を活用した資料保管環境の整備を行った。令和5年度までに発見工房裏の野外管理棟の室内に、調湿機能のある壁材を用いた気密性の高い部屋をつくり、令和6年度に気密性の高いエアタイト扉の設置を行って完成した。収蔵倉庫は、湿度が既定値以上になった際に自動で作動する除湿機を導入しており、高湿によるカビの発生を抑制する空間として維持する。本館の動物収蔵庫および植物収蔵庫より一部の資料を移動し、運用を開始した。

### 1 学術調査研究の概要

学術調査研究は、その研究対象から科学的領域調査研究と博物館学的調査研究に分けられる。また、その研究のねらいや手法により、総合調査、重点研究、創造的調査研究の3つに分けることができる。これらの研究には、学芸系職員を中心に、外部の研究者も加わって取り組んでいる。

## 学術調査研究

### 科学的領域調査研究

博物館資料の充実を図り、活力ある博物館活動を展開するための調査研究活動

### 博物館学的調査研究

教育普及活動、資料活用、博物館運営などの方法論や実践論の調査研究活動

### 創造的調査研究

博物館職員の資質の向上と博物館活動の発展、さらに自然科学の向上発展に寄与することを目的として、職員各自の専門性や業務内容に関連したテーマにもとづき行う調査研究活動

### 重点研究

茨城県の自然誌や当館の博物館活動に関する重要な課題や今日的な課題をテーマとし、グループで行う調査研究活動

### 総合調査

茨城県の生物相やその変遷、地質などの地学的特性を把握するため、自然史資料の集積を図り、茨城県内の資料の目録をつくることを目的とする調査活動

## 2 総合調査

令和6年度は第Ⅳ期総合調査の1年目にあたる。茨城県全域を対象とし、2つの団体に調査を委託した。地学分野については、地学総合調査員および地学総合調査補助員を委嘱した。調査の内容と成果は以下に示す。

### 調査内容と主な成果

| 分野 | 調査区域およびテーマ | 令和6年度の主な成果                                                                                                                                                                                                      | 委託団体および外部調査員／担当職員                                        |
|----|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 動物 | 哺乳類        | ○茨城県北に設置した自動撮影カメラによるモニタリングを実施した。                                                                                                                                                                                | 代表：竹内正彦<br>(農研機構畜産研究部門動物行動管理研究領域)<br>／担当：後藤優介            |
|    | 鳥類         | ○過去の確認状況の整理と、情報が不足する分野・地域の抽出を行った。                                                                                                                                                                               | 代表：飯田直己<br>(日本野鳥の会茨城県)<br>／担当：佐野拓哉                       |
|    | 両生・爬虫類     | ○過去の確認状況の整理と、情報が不足する分野・地域の抽出を行った。                                                                                                                                                                               | 代表：早瀬長利<br>(元国定公園管理員)<br>／担当：吉田 佑                        |
|    | 淡水魚類       | ○県北地域の河川下流・河口域などで魚類相調査を行い、リストを製作した。                                                                                                                                                                             | 代表：金子誠也<br>(茨城大学地球・地域環境共創機構水圏環境フィールドステーション)<br>／担当：北澤佑子  |
|    | 昆虫         | ○「茨城県産昆虫目録」を2024年末に発行した。<br>○「茨城の昆虫たち」を2025年3月発刊に発行した。                                                                                                                                                          | 代表：佐々木泰弘<br>(茨城県生物多様性センター・自然環境調査員、茨城生物の会・理事)<br>／担当：久松正樹 |
|    | 海産動物       | ○「茨城の磯の動物ガイド」の製作に向けた準備を行うとともに、ひたちなか市岩礁海岸で補足調査を実施し、標本および画像を収集した。<br>○「茨城の魚類図鑑」(仮称)の製作に向けた準備                                                                                                                      | 代表：森野 浩<br>(茨城大学名誉教授)<br>／担当：池澤広美                        |
|    | 陸・淡水産無脊椎動物 | ○取手市、ひたちなか市、鹿嶋市、日立市、常陸大宮市、常陸太田市で陸・淡水産無脊椎動物の調査を実施した。                                                                                                                                                             | 代表：茅根重夫<br>(元茨城県立岩井西高等学校校長)<br>／担当：池澤広美<br>吉田 佑          |
| 植物 | 維管束植物      | ○勝田小演習場(ひたちなか市)・高層気象台(つくば市)・鹿島神宮(鹿嶋市)・菅生沼(常総市、坂東市)維管束植物のフロア調査<br>○勝田小演習場・高層気象台・鹿島神宮・菅生沼の維管束植物の標本を採集した。<br>○いずれの調査地も調査を許可申請したうえで行った。<br>○各調査員が現地でフロア調査を行い、標本の採集と同定作業を行った。<br>○調査結果を現在まとめている「茨城県植物目録」に反映させる予定である。 | 代表：安 昌美<br>(元茨城県高等学校教育研究会生物部長)<br>／担当：伊藤彩乃               |
|    |            |                                                                                                                                                                                                                 | 茨城植物調査会<br>代表：安 昌美<br>(元茨城県高等学校教育研究会生物部長)                |

| 分野     | 調査区域およびテーマ | 令和6年度の主な成果                                                                                                                                                       | 委託団体および外部調査員／担当職員                                                       |
|--------|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 植<br>物 | 非維管束植物     | ○勝田小演習場（ひたちなか市）、県南・県北地域のコケ植物（蘚苔類）、海藻類、地衣類、淡水藻類のフロラ調査<br>○勝田小演習場、北茨城市関本町、常陸大宮市北部の森林地帯において蘚苔類の調査を行った。<br>○笠間市を中心に地衣類の調査を行った。<br>○大洗町とひたちなか市において海藻の調査を行った。          | 代表：白井健司（茨城県立土浦第一高等学校 非常勤講師）<br>／担当：鶴沢美穂子 櫛引豪人                           |
|        | 菌類         | ○勝田小演習場（ひたちなか市）・鹿島神宮（鹿嶋市）・自然博物館野外・菅生沼（常総市、坂東市）の植物寄生菌類と大型菌類のフロラ調査<br>○勝田小演習場（ひたちなか市）・鹿島神宮（鹿嶋市）・自然博物館野外・菅生沼（常総市、坂東市）などで調査を行い、標本を採集した。<br>○いずれの調査地も調査を許可申請したうえで行った。 | 代表：山岡裕一（筑波大学生命環境系教授）<br>／担当：櫛引豪人                                        |
| 地<br>学 | 大型化石       | ○県北地域を中心とした鯨類化石の調査<br>○日立市会瀬海岸での化石採集および調査を実施し、日立層群“初崎層”から、脊椎動物化石3点を採取した。<br>○北茨城市川ノ尻、九ノ埼、長浜において鯨類化石が産出した多賀層群の調査を実施した。<br>○当館が所蔵する鯨類化石を同定した。                      | 地学総合調査員：村上瑞季（秀明大学准教授）<br>地学総合調査補助員：森田直樹（東京都市大学）<br>／担当：加藤太一             |
|        | 微化石        | ○下総層群や日立市海岸から産出する有孔虫群集の調査<br>○下総層群堆積物や日立市海岸砂中の有孔虫化石拾い出し、同定作業を行った。また、下総層群（阿見町島津）堆積物中の魚類耳石化石の拾い出しを行った。                                                             | 地学総合調査員：金子稔（研究協力員）<br>地学総合調査補助員：青柳雅哉（筑波大学）<br>／担当：石塚勇太                  |
|        | 岩石鉱物       | ○県北・県央地域に位置する鷹峰鉱山のマンガン鉱物の調査<br>○旧鷹峰鉱山の坑口（大藤沢坑、萱場坑、茗蒲沢坑、梅ノ木旧坑、倉見坑、川上坑、鷹峰坑）を確認し、周辺からマンガンを含む岩石資料を53点採取した。採取した標本について、同定作業を行った。今後、岩石薄片を製作し詳細な同定を行う予定である。              | 地学総合調査員：門馬綱一（国立科学博物館地学研究部研究主幹）<br>地学総合調査補助員：河野雅英（石の百年館解説委員）<br>／担当：小池 渉 |

### 3 重点研究

大学や研究機関、博物館、行政などの外部機関と連携した調査研究を、動物、植物、地学の各分野で実施した。**動物分野**では、茨城県に侵入しつつある特定外来生物のキョンについて現地調査や情報の収集を進めた。**植物分野**では、菅生沼などの湿地の植物相調査を行ったほか、特定外来生物オオバナミズキンバイの防除に関する研究や県内におけるブナ・イヌブナの分布調査を継続して行っている。**地学分野**では、常磐地域の上部白亜系から復元される後期白亜紀の海洋生態系に関する研究や、植物化石にもとづく裸子植物から被子植物への分化および被子植物の環境適応に関する研究を行った。

#### 調査内容と主な成果

| 分野     | 研究テーマおよび担当                                        | 令和6年度の主な成果と課題など                                                                                                                                                        |
|--------|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 動<br>物 | 茨城県内に生息する特定外来生物（哺乳類）の情報蓄積および科学的モニタリング<br>／担当：後藤優介 | キョン：随時発生する目撃情報の精査と、死体などの標本を収集することで、現状の科学的なモニタリングを実施した。<br>クリハラリス：菅生沼周辺で生息する個体群について、既存の捕獲個体の分析と、最新の生息状況の確認を行った。<br>アライグマ：県内の駆除個体について、メス個体の収集を行い、科学的順応管理に資するための情報蓄積を行った。 |
| 植<br>物 | 湿地の植生の保全<br>／担当：鶴沢美穂子                             | 菅生沼、小貝川、妙岐ノ鼻、逢善寺茅場などの県内に残された湿地の植物相の調査を行うとともに、野焼きによる保全活動を継続して行う。                                                                                                        |

| 分野 | 研究テーマおよび担当                                           | 令和6年度の主な成果と課題など                                                                                                                                                                                                              |
|----|------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 植物 | 特定外来生物オオバナミズキンバイの防除<br>／担当：伊藤彩乃                      | 茨城県、国土交通省と協力し、霞ヶ浦における特定外来生物のオオバナミズキンバイの駆除を継続して行った。                                                                                                                                                                           |
|    | 県内ブナ調査<br>／担当：伊藤彩乃                                   | 筑波山のブナ委員会の調査の一環として、2024年6月～10月の間、県内のブナに関する調査を行った。陰陽山・熊の山（常陸太田市）、風神山（日立市）、鍋足山（常陸太田市）、東金砂山（常陸太田市）、朝房山・国見山（笠間市）、長福山（大子町）の林道沿いのブナ・イヌブナの分布調査を行った。また、筑波山のブナの調査木の開花結実調査を行った。さらに、同地において動物相の調査も行い、年間を通じた生物相の把握を行った。                   |
| 地学 | 常磐地域の上部白亜系から復元される後期白亜紀の海洋生態系<br>／担当：加藤太一             | 常磐地域に分布する上部白亜系（那珂湊層群、双葉層群）において、脊椎動物化石、無脊椎動物化石、生痕化石の調査を行った。茨城県ひたちなか市に分布する那珂湊層群からは生痕化石、サメ類化石、スッポン類化石などの新たな標本を得た。福島県いわき市に分布する双葉層群からは、生痕化石、サメ類、分類不明の骨などの化石を得た。<br>2025年1月の古生物学会において、「上部白亜系那珂湊層群の化石発掘調査の現状と課題」というタイトルでポスター発表を行った。 |
|    | 植物化石に基づく裸子植物から被子植物への分化および被子植物の環境適応に関する研究<br>／担当：滝本秀夫 | 5月中旬に理化学研究所のSPRING-8において、白亜系宮古層群産の植物化石についてCT撮影を行い、高精度の画像を得ることができた。その一部について、5月下旬にプラハで行われた第11回国際古植物学会で発表を行った。<br>11月下旬に岩手県田野畑村で岩手県立博物館などと共同で現地調査を行い、40年ほど前に化石が採集された層準をほぼ確定することができた。また、動植物の化石を新たに採集することもできた。                    |

## 4 創造的調査研究

当館の学芸系職員の創造的調査研究の状況は以下の通りである。成果の一部は学会での発表のほか、学会誌や当館の研究報告などの学術雑誌への投稿を通して公表するとともに、広報誌「A・MUSEUM」などを通して、研究内容を広く一般に紹介した。また、学芸系職員の資質向上を図るため、館内で学芸系調査研究活動発表会（年2回）を実施した。

### 調査内容

| 課名  | 氏名    | 分野   | 研究テーマ                      | 実施状況と課題など                                                                                                                   |
|-----|-------|------|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 企画課 | 小池 渉  | 地学   | 筑波山地域の火成岩類の岩体区分の再検討        | 筑波山塊の主要部を構成する深成岩類（斑れい岩類および花崗岩類）について、国立科学博物館との共同研究として、ジルコンを用いた放射年代測定を実施して、その形成年代について再検討を行っている。今年度は深成岩類を広域に採取して、岩体区分の再検討を進めた。 |
|     |       | 博物館学 | 「誰もが共に楽しく学べる科学系博物館」の情報デザイン | 聴覚障害者向けのカエル鳴き声視覚化装置の開発および聴覚障害者による実証実験などの結果について、日本科学教育学会で発表した。（京都女子大学との共同研究（科研費））                                            |
|     | 栗栖宣博  | 博物館学 | 新たな教育活動の検討～SDGsの視点から～      | 当館の展示や諸活動についてSDGsの視点から再整理したが、その結果をもとに、SDGsに関連した展示を活用したスマートフォンを使った教材を作成、試行した。その結果を踏まえ、さらなる検討を進める。                            |
|     | 石塚武彦  | 動物   | 茨城県常総市におけるチョウ相について         | 茨城県常総市において月2回のセンサス調査を行い、過去の調査結果との比較検討を行った。                                                                                  |
| 教育課 | 国府田誠一 | 植物   | 茨城県版レッドデータブック作成に係る調査       | 県内絶滅危惧植物調査および現在の生育状況や当館の収蔵データをもとにして、カテゴリーの見直しを行った。                                                                          |
|     | 佐藤一康  | 博物館学 | 木の葉石を活用した講師派遣の実践           | 木の葉石を活用した講師派遣プログラムの実践とその教育的有用性、今後の教育普及の充実に向けた方略について検討した。                                                                    |
|     | 豊崎賢二  | 植物   | 菅生沼周辺および県内の湿地における植物相の調査    | 菅生沼周辺や県内の湿地に生育する植物を調査し、生育する種を記録した。また、調査結果をもとに植生図を作成した。今後はフロラ調査を継続するとともに群落調査も実施し、菅生沼全体の植生を明らかにしていく。                          |

| 課名  | 氏名    | 分野   | 研究テーマ                                   | 実施状況と課題など                                                                                                                                                                  |
|-----|-------|------|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育課 | 佐野拓哉  | 動物   | 筑波山登山道周辺におけるソウシチョウの分布状況調査               | 筑波山登山道周辺においてソウシチョウの分布状況がどのような季節変動をしているか調査を行った。                                                                                                                             |
|     |       | 博物館学 | 茨城県自然博物館野外および隣接する菅生沼の鳥類相調査とその活用について     | 本館野外および隣接する菅生沼の鳥類相を継続的に調査し、来館者が野鳥観察で活用できる資料作成に向けてデータを収集した。                                                                                                                 |
|     | 北澤佑子  | 動物   | 菅生沼における魚類相の調査                           | 菅生沼において小型定置網やたも網などを用いて魚類を採集し、生息する魚類について年間を通じて定期的に調査し、ポスターにまとめて発表した。                                                                                                        |
|     |       | 博物館学 | 探究的な学びに向けた SDGs に関連する南極を題材に博物館を活用した教材化  | 探究的な学びの重要性がラーニングコンパスにおいても叫ばれている。SDGs と関連の深い南極を題材にし、茨城県自然博物館を活用した教材化について探った。                                                                                                |
|     | 鶴沢美穂子 | 植物   | 冬期の水田に生育するコケ植物の調査                       | 11～1月頃の水を落とした水田には、短命で特殊な生態をもつコケ植物が生育する。調査が不足している県北部を中心に調査を行い、希少なコケ植物の分布を調査した。成果は藓苔類研究13巻2号に掲載した。                                                                           |
|     |       | 博物館学 | 「誰もが共に楽しく学べる科学系博物館」の情報デザイン              | 当館において、聴覚障がい者を含めた誰もがともに楽しむことができる展示の施行を行い、効果を測定した。(京都女子大学との共同研究(科研費))                                                                                                       |
|     | 滝本秀夫  | 地学   | 東北地方に分布するジュラ系および白亜系から産する植物化石に関する研究      | 絶滅した植物群ベネチテス類の復元に関する論文をドイツの共同研究者と分担執筆し、日本古生物学会英文誌に投稿した。                                                                                                                    |
|     | 村田一弘  | 地学   | 茨城県から産出する化石の研究                          | 茨城県ひたちなか市に露出する那珂湊層群において、生痕化石の調査・研究を行った。東北大学理学部自然史標本館において、1972年に那珂湊層群で発見された <i>Hitachia nakaminatoensis</i> を調査した。                                                          |
| 資料課 | 池澤広美  | 動物   | 外来種と希少種を中心とした茨城県内の無脊椎動物に関する調査研究         | 総合調査と連動し、外来種および希少種を中心とした県内の陸・淡水産無脊椎動物の調査を実施し、特に、本年度は地下水に生息する無脊椎動物に関する調査研究を進めた。                                                                                             |
|     |       | 動物   | 茨城県沿岸域の動物相について                          | 総合調査と連動し、本県の沿岸域の動物相の調査を実施するとともに、これまで蓄積してきたデータ(画像を含む)を再整理した。本年度は、船の科学館「海の学びミュージアムサポート」の支援を受けて、「茨城の磯の動物ガイド」の冊子を刊行した。                                                         |
|     | 吉川広輔  | 地学   | 茨城県から産出した鯨類化石について                       | 北茨城市および日立市において調査を実施し、収蔵している鯨類化石のクリーニング作業を行った。さらに、当館で収蔵している茨城県産鯨類化石についてデータをまとめた。                                                                                            |
|     | 石塚勇太  | 地学   | 日立市に分布する第四系から産出した穿孔性二枚貝化石               | 日立市から産出した穿孔性二枚貝化石について、研究を行った。                                                                                                                                              |
|     | 鈴木亮輔  | 植物   | ミュージアムパーク茨城県自然博物館野外施設のハナヤスリ科に関する調査      | 本館野外施設に分布するシダ類、ハナヤスリ科に属する種の胞子葉の季節消長について調査を行った。その中で、ハナワラビ属の雑種とみられる個体が見られたため継続して調査を行った。                                                                                      |
|     | 吉田 佑  | 動物   | 茨城県内およびミュージアムパーク茨城県自然博物館野外施設のミミズ相に関する調査 | 茨城県内および本館野外施設におけるミミズ相の調査を行い、生息する種を記録した。                                                                                                                                    |
|     | 櫛引豪人  | 植物   | ミュージアムパーク茨城県自然博物館野外施設の大型菌類に関する調査        | 本館野外施設の大型菌類を調査し、見つかった種を記録した。また過去の研究報告と比較した結果、野外施設新産種の可能性がある個体が見つかったため、種の同定作業を進めた。                                                                                          |
|     | 後藤優介  | 動物   | 国内およびロシア極東部におけるクマ類の生態学的研究               | ツキノワグマが生息する栃木県足尾山地、東京都奥多摩山地および、ツキノワグマとヒグマが同所的に生息するロシア沿海地方などにおいて、共同研究者らとともに長期的な生態学的研究を行っている。継続的にクマ類の捕獲を行い、血液、体毛、歯などのサンプル採取による生理学的、遺伝学的研究のほか、装着した GPS 首輪を用いた行動解析を行った。(科研費2件) |

| 課名  | 氏名   | 分野   | 研究テーマ                             | 実施状況と課題など                                                                                                                                                                                                                           |
|-----|------|------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 資料課 | 後藤優介 | 動物   | 県内に再侵入した大型哺乳類の生息状況調査              | 近年、茨城県では100年以上確認されてこなかった大型哺乳類のニホンジカ、ニホンカモシカ、ツキノワグマが再分布し始めている。目撃などの散発な情報について客観的な整理を行った。また、標本を伴う情報の場合には、積極的な収集を行った。                                                                                                                   |
|     |      | 動物   | 筑波山ブナ林における哺乳類の生息状況                | 筑波山ブナ委員会の調査の一環として、筑波山において、自動撮影カメラを用いた哺乳類の記録が行われている。年間を通じたカメラデータを詳細に分析することで、確認された哺乳類の生息実態を解明する。                                                                                                                                      |
|     |      | 動物   | 茨城県内における外来カメ類の生息状況調査              | ○大型カメ類<br>茨城県内では近年、特定外来生物であるカミツキガメ、要注意外来生物であるワニガメの発見が続いている。多くは飼育個体の逸出であると考えられるが、自然繁殖の可能性を考量して、発見情報の整理と収集個体の分析を行った。<br>○その他カメ類<br>トノボ池におけるミシシippアカミミガメの生息実態および繁殖状況について、調査を行った。                                                       |
|     |      | 動物   | 博物館収集資料を用いた寄生虫調査                  | 博物館では、多くの哺乳類や鳥類資料を収集し、保管している。標本化する前の死体や、仮剥製や剥製として保管している標本に付着する寄生虫について明らかにするため、共同研究を行った。                                                                                                                                             |
|     | 加藤太一 | 地学   | 茨城県から産出する化石の研究                    | 日立市に分布する日立層群“初崎層”から産出したサメ類の歯化石について、古生物学的な研究を実施した。研究成果を研究報告27号に原著論文として掲載した。                                                                                                                                                          |
|     |      | 地学   | クダノハマギョリュウの分類学的研究                 | 宮城県南三陸町から産出した魚竜類（クダノハマギョリュウ）の標本を南三陸町から借用し、クリーニング作業を進めた。                                                                                                                                                                             |
|     | 伊藤彩乃 | 植物   | 自生地播種試験を用いた絶滅危惧種の保全               | 企業、博物館、大学、地元ボランティアと協力し、ひたち海浜公園に自生する絶滅危惧種オオウメガサソウの保全に関する研究を進めた。本年度はプロナトゥーラの助成金を得て、茨城県と青森県で野外播種試験を行って比較した。                                                                                                                            |
|     |      | 植物   | 茨城県内の植物の分布調査                      | 総合調査などに関連し、県内の特筆すべきフロラについて調査・研究を行った。本年度は、科研費の助成金を得て、外部機関との連携も行いながら、特定外来生物の分布調査を継続して行った。                                                                                                                                             |
|     | 久松正樹 | 動物   | 茨城県の昆虫相の調査                        | 総合調査と連動し、本県産昆虫相の調査を実施するとともに、これまで蓄積してきたデータを再整理し、「茨城県産昆虫目録」を2024年末に発刊した。さらに、「茨城の昆虫たち」（一般向けの読み物）を2025年3月に発刊した。                                                                                                                         |
|     | 高橋 淳 | 教育学  | 国内外のインクルーシブ天文教育の概要と次世代社会への提言について  | インクルーシブな視点からの言語理解から科学技術振興に寄与するための調査について、国立天文台ハワイ観測所職員と準備中。                                                                                                                                                                          |
|     |      | 博物館学 | 自然史系博物館における、視覚および聴覚障がい者対応サービスについて | 京都女子大学との共同研究（科研費）により、聴覚障害者向けのカエル鳴き声視覚化装置の開発および聴覚障害者による実証実験などの結果について、日本科学教育学会で発表した。この継続研究として、ポータブル型音の見える化装置の開発および音声および手話による展示ナビゲーターの開発研究を進行中。現在はおもに、動物および自然現象についての音声について資料収集を行っている。また、県立聾学校と連携し、聴覚障がいのある児童生徒が博物館を楽しむ方法について、調査を進めている。 |

## 5 研究成果の公表

(※太字は当館職員を示す)

### (1) 学術論文など

- Sato, K., **Y. Goto** and S. Koike. 2024. Epizoochorous seed dispersal by two Phasianidae birds: Green pheasant (*Phasianus versicolor*) and Chinese bamboo partridge (*Bambusicola thoracicus*). *Ecological Research*. DOI: 10.1111/1440-1703.12505.
- 原田知怜・脇 司・**後藤優介**・伊村 智・島野智之. 2024. 海鳥の剥製から得られたワダツミウモウダニ属 (新称) *Zachvatkinia* 2種の報告. タクサ: 日本動物分類学会誌, 57: 36-40.
- Saito, Y., S. Iwata, M. Hayashi, M. Nitta, T. Ishikawa, T. Hagiwara, **H. Ikezawa**, N. Mano and T. Waki. Lifecycle of an introduced *Dollfusurema* (Bucephalidae) trematode in the Tone River system, Japan. *Journal of Helminthology*, 99 DOI: <https://doi.org/10.1017/S0022149X24000932>.
- 樋渡武彦・森野 浩・**池澤広美**. 茨城県沿岸を含む日本産ナミノリソコエビ科 Dogielinotidae とモクズヨコエビ科 Hyalidae (甲殻亜門・フクロエビ上目・端脚目) 全種の分類と検索. 茨城県自然博物館研究報告, (27): 89-105.
- 伊藤彩乃**・松木 礼・川田清和・小幡和男・矢野徳也・西廣 淳. 2024. 茨城県稲敷市の茅場跡の湿生植物群落の植物相と種組成. 茨城県自然博物館研究報告, (27): 25-38.
- 加藤太一**・吉川広輔・森田直樹・村上瑞季・中島保寿・高栞祐司. 2024. 鮮新統日立層群“初崎層”から産出したサメ類 (カグラザメ属およびホホジロザメ) の歯化石. 茨城県自然博物館研究報告, (27): 1-9.
- 小沢広和・金子 稔・石川博行・野村正弘・**加藤太一**. 2024. 茨城県常総市内守谷町玉台橋付近の上部更新統木下層産貝形虫化石. 茨城県自然博物館研究報告, (27): 11-18, pls. 1-2.
- 野村正弘・金子 稔・石川博行・齋藤綾香・小沢広和・**加藤太一**. 2024. 茨城県阿見町島津の更新統下総層群から産出した浮遊性有孔虫化石. 茨城県自然博物館研究報告, (27): 53-57, pl. 1.
- 小池 渉**・**鶴沢美穂子**・**高橋 淳**・生田目美紀. 2024. 聴覚障害者向けのカエル鳴き声視覚化装置の開発. 日本科学教育学会, 第48回年会論文集: 575-578.
- 鈴木亮輔**・小幡和男・岡 利雄. 2024. 茨城県におけるナチシダの新産地と冬季の生育状況. 茨城県自然博物館研究報告, (27): 63-71.
- 鶴沢美穂子**・木口博史. 2024. 茨城県新産の7種のコケ植物について. 蘚苔類研究, 13(2): 1-6.

### (2) 学会発表など

- 佐藤華音・**後藤優介**・白石俊明・坂本心平・澤田研太・小池伸介. 2025. ロードキル個体を用いた付着散布種子と哺乳類の種間関係解明の試み. 日本生態学会第72回全国大会. 札幌.
- 丸山哲也・**後藤優介**・竹内正彦. 2025. 八溝山地のニホンジカの現状—2024年—. 第22回とちぎ野生動物研究交流会. 栃木県.
- 後藤優介**. 2024. 茨城県に侵入したキョン. その現状について. 日本哺乳類学会2024. 年度大会. 兵庫県立大学.
- 伊藤彩乃**・庄司顕則・大和政秀・糟谷大河・山下由美・遊川知久. 2024. 茨城県におけるオオウメガサソウの種子発芽に關与する菌類の分子同定. 日本菌学会第68回大会. 八戸.
- 小幡和男・松井哲哉・**伊藤彩乃**・田中信行. 2024. 茨城県におけるブナ, イヌブナの分布. 第29回日本植生学会. 筑波大学.
- 小幡和男・松井哲哉・**伊藤彩乃**・田中信行. ブナ属の分布下限の実態: 茨城県の事例. 生態学会第72回大会. 札幌コンベンションセンター.
- 加藤太一**・**村田一弘**・小川朋希・宮田真也・増川玄哉・安藤寿男. 2025. 上部白亜系那珂湊層群の化石発掘調査の現状と課題. 日本古生物学会 第173回例会. オンライン.
- 小池 渉**・**鶴沢美穂子**・**高橋 淳**・生田目美紀. 2024. 聴覚障害者向けのカエル鳴き声視覚化装置の開発. 日本科学教育学会第48回年会. 函館工業高等専門学校.
- Hideo Takimoto**, Tamiko Ohana, Yasuhisa Nakajima, Takafumi Mochizuki, Julien Legrand, Kentaro Uesugi, Masato Hoshino, **Taichi Kato** and **Kosuke Yoshikawa**. 2024. 3D-preserved fossil plants, including angiosperm, from the

Lower Cretaceous Miyako Group – potential for innovative research using a large synchrotron radiation facility. XI International Organization of Paleobotany Conference. Prague.

菊地彩乃・鵜沢美穂子・五百川裕. 2024. 校庭に生育するコケ植物の教材化を促す同定アプリの作成. 日本蘚苔類学会第53回宮崎日南大会. 小村寿太郎記念館.

北澤佑子・金子誠也・外山太一郎・山崎和哉・増子勝男・萩原富司・池澤広美・加納光樹. 2025. 茨城県菅生沼（上沼）における魚類の生息状況. 公開シンポジウム 霞ヶ浦流域研究2025. 茨城大学地球・地域環境共創機構水圏環境フィールドステーション・霞ヶ浦流域フィールドコンソーシアム.

齊藤佳希・岩田 翔・林 蒔人・新田理人・石川孝典・萩原富司・池澤広美・間野伸宏・脇 司. 2024. 利根川水系の魚類から新たに発見された外来寄生虫の分布と生活史. 第72回日本生態学会大会. 札幌コンベンションセンター.

齊藤佳希・岩田 翔・林 蒔人・新田理人・石川孝典・萩原富司・池澤広美・間野伸宏・脇 司. 2025. 外来魚によって駆動される利根川水系の新規外来寄生虫の生活史. 第20回外来魚情報交換会. 滋賀県立琵琶湖博物館.

### (3) 著書・監修書

平沢達矢・田中康平・林 昭次・大橋智之・千葉謙太郎・中島保寿・加藤太一（監修）. 2024. 恐竜学検定公式ガイドブック. 平沢達矢・田中康平・林 昭次・大橋智之・千葉謙太郎・中島保寿・加藤太一（監修）. 2024. 恐竜学検定公式ガイドブック 初級・中級. 140 pp., Gakken.

学研の科学編集部（編集）, 加藤太一（監修協力）. 2024. 学研の科学 古代生物カブトエビの世界：卵から飼育できる！. 74 pp., Gakken.

北澤佑子. 2024. 南極せんせいー現役高校教師の挑戦ー. 249 pp., プレアデス出版. (単行本)

スミソニアン協会（監修）, David Burnie（顧問編集）, 増田まもる・西尾香苗・松倉真理（翻訳）, 横山一己・加藤太一・北山大樹・辻彰 洋・永益英敏・保坂健太郎・細矢 剛・大村嘉人・小松浩典・丸山宗利・中坊徹次・松井正文・疋田 努・牛根奈々・本川雅治（日本語版監修）. 2024. 地球博物学大図鑑 新訂版. 672 pp., 東京書籍.

### (4) そのほか印刷物

久松正樹. 2025. ハナバチの定期採集から. 茨城陸生無脊椎動物研究会（編）. 茨城の昆虫たち. pp 144-148, ミュージアムパーク茨城県自然博物館.

石塚武彦. 2025. 常総市のチョウ相の変遷について. 茨城陸生無脊椎動物研究会（編）. 茨城の昆虫たち. pp. 138-142, ミュージアムパーク茨城県自然博物館.

茨城陸生無脊椎動物研究会（編）. 2024. 茨城県産昆虫目録. 431 pp., ミュージアムパーク茨城県自然博物館 [久松正樹・西元重雄. 茨城県の地勢. pp. 3-4; 成田行弘・久松正樹・廣瀬 誠. 茨城県の昆虫研究史. pp. 5-10; 久松正樹. イシノミ目（古顎目）Order Archaeognatha. p. 29; 井上尚武・久松正樹. カジリムシ目（咀顎目）Order Psocodea. pp. 81-83; 牧野俊一・久松正樹. ネジレバネ目（撚翅目）Order Strepsiptera. p. 261; 井上尚武・久松正樹. ノミ目（隠翅目）Order Siphonaptera. pp. 257-258; 久松正樹・井上尚武・山根爽一. ハチ目（膜翅目）Order Hymenoptera. pp. 405-431]

茨城陸生無脊椎動物研究会（編）. 2025. 茨城の昆虫たち. 158 pp., ミュージアムパーク茨城県自然博物館 [石塚武彦. キアゲハ. p.57; モンシロチョウ. P.58; ツマキチョウ. p.59; ヒメウラナミジャノメ・イチモンジセセリ. P.61; クマゼミ p.121] [久松正樹. オオフタオビドロバチ. p. 55; キムネクマバチ. p. 68; ウマノオバチ. p.109; ニッポンハナダカバチ. p. 110; トピック ウスバシロチョウ物語. p. 143]

茨城の海産動物研究会（編）2025. 茨城の磯の動物ガイド. 111 pp., ミュージアムパーク茨城県自然博物館. [池澤広美. 海綿動物門 pp. 20-24; 刺胞動物門（ヒドロ虫類） pp. 23-24; 苔虫動物門 pp. 68-70; 脊索動物門（ホヤ類） pp. 93, 95-98]

北澤佑子. 2024. 南極せんせいー南極でみたこと, 感じたことー. うみうし通信 No.123., 公益財団法人水産無脊椎動物研究所.

鵜沢美穂子. 2024. ヒメハナガサゴケのスカート. うかたま 季刊 [夏] vol.75. pp. 5., 農文協. (雑誌連載)

鵜沢美穂子. 2024. 太陽の鏡 ヒカリゴケ. うかたま 季刊 [秋] vol.76. pp. 5., 農文協. (雑誌連載)

鵜沢美穂子. 2024. ゆらめくギネス クロカワゴケ. うかたま 季刊 [冬] vol.77. pp. 5., 農文協. (雑誌連載)

## 6 研究助成金

| 氏 名                           | 研究課題名                                                          | 助成金名                                                                        | 金 額                                                |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 池澤広美                          | 関係機関などと連携した海岸動物学習支援プログラムの開発と実施                                 | 公益財団法人 日本海事科学振興財団 2024年度船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」プログラム2「海の博物館活動サポート」A コース博物館活動 | 3,000,000円                                         |
|                               | 希少種と外来種を中心とした茨城県内の昆虫類を除く無脊椎動物の生息調査                             | 公益信託「エコーいばらき」環境保全基金                                                         | 130,000円                                           |
| 伊藤彩乃                          | 侵略的外来生物対応における不適合メカニズムと政策革新の社会的要因の解明                            | 日本学術振興会<br>科学研究費補助金 基盤研究 (C)<br>一般 (分担)                                     | 直接経費 80,000円<br>間接経費 24,000円<br>※1年目／3年            |
|                               | 世界的な分布南限地において危機的状況にあるオオウメガサソウ（絶滅危惧種）の保全に関する研究～そのルーツと繁殖生態を解明する～ | 第33 期プロ・ナトゥーラ・ファン<br>ド助成                                                    | 1,000,000円<br>※2年目／2年                              |
|                               | オオウメガサソウの保全に関わる研究                                              | 公益信託「エコーいばらき」環境保全基金                                                         | 160,000円                                           |
| 小池 渉<br>鵜沢美穂子<br>(研究協力者：高橋 淳) | 「誰もが共に楽しく学べる科学系博物館」の情報デザイン                                     | 日本学術振興会<br>科学研究費補助金 基盤研究 (B)<br>(分担)                                        | 直接経費 500,000円<br>間接経費 150,000円<br>※3年目／4年          |
| 後藤優介                          | 気候変動が森林性大型動物（ツキノワグマとヒグマ等）の土地利用に与える影響の評価                        | 日本学術振興会<br>国際共同研究加速基金（国際共同研究強化 (B)<br>(分担)                                  | 直接経費 686,330円<br>間接経費 217,850円<br>※7年目（延長中・繰越金）／5年 |
|                               | 個体群動態とブナ科の結実豊凶を考慮したツキノワグマ個体群管理手法の提案                            | 日本学術振興会<br>科学研究費助成事業 基盤研究 (B)<br>(分担)                                       | 直接経費 250,000円<br>間接経費 75,000円<br>※2年目／4年           |

## 7 他機関からの委嘱

| 氏 名   | 委嘱委員名                                                        |
|-------|--------------------------------------------------------------|
| 小池 渉  | 茨城県高等学校教育研究会地学部顧問                                            |
| 鵜沢美穂子 | 日本蘚苔類学会広報幹事                                                  |
|       | 希少野生動植物種保存推進員（環境省）                                           |
|       | 自然史学会連合博物館部会委員                                               |
|       | お茶の水女子大学非常勤講師（生物学特殊講義Ⅰ）                                      |
| 滝本秀夫  | 東京都市大学非常勤講師（生涯学習概論、博物館展示論）                                   |
| 池澤広美  | 自然史学会連合博物館部会委員                                               |
|       | 希少野生動植物種保存推進員（環境省）                                           |
|       | 日本動物分類学会監査委員                                                 |
|       | 茨城大学地球・地域環境共創機構水圏環境フィールドステーション共同利用協議会委員                      |
|       | 茨城大学地球・地域環境共創機構水圏環境フィールドステーション共同利用協議会「霞ヶ浦流域フィールド教育コンソーシアム」委員 |
|       | 海の学びコーディネーター（船の科学館「海の学びミュージアムサポート」事業）                        |
| 国府田誠一 | 茨城における絶滅のおそれのある野生植物種の見直し検討委員会委員（茨城県生物多様性センター）                |
| 後藤優介  | 日本哺乳類学会哺乳類保護管理専門委員会クマ保護管理検討作業部会員                             |
|       | 日本哺乳類学会哺乳類保護管理専門委員会外来動物対策作業部会キョン分布拡大対策ワーキンググループメンバー          |
|       | 日本クマネットワーク監査                                                 |

| 氏 名  | 委嘱委員名                                         |
|------|-----------------------------------------------|
| 後藤優介 | 茨城県生物多様性地域戦略検討委員会委員                           |
|      | 茨城県ツキノワグマ管理計画検討委員会委員                          |
|      | 筑波山ブナ林保護対策委員会事務局                              |
|      | 坂東市鳥獣被害対策協議会委員                                |
| 伊藤彩乃 | 茨城における絶滅のおそれのある野生植物種の見直し検討委員会委員（茨城県生物多様性センター） |
|      | 筑波山ブナ林保護対策委員会事務局                              |
| 久松正樹 | 希少野生動植物種保存推進員（環境省）                            |
|      | 茨城キリスト教大学兼任講師（生活科学研究）                         |
|      | 茨城県環境アドバイザー                                   |
|      | 原子力科学館リニューアル推進委員                              |
|      | こどもエコクラブ「壁新聞道場」師範                             |
| 飯田勝明 | 土浦市文化財保護審議会委員                                 |
|      | 守谷市環境審議会委員                                    |
|      | 国立科学博物館筑波実験植物園における学習指導員                       |
|      | 茨城県環境アドバイザー                                   |
| 高橋 淳 | 茨城県高等学校教育研究会地学部顧問                             |
| 石塚武彦 | 茨城県環境アドバイザー                                   |
|      | 国立科学博物館筑波実験植物園における学習指導員                       |
| 栗栖宣博 | 茨城県環境アドバイザー                                   |
|      | 筑波大学非常勤講師（博物館学）                               |

## 8 研究報告の出版物

### (1) 研究報告

茨城県自然博物館研究報告第27号を発行し、PDF ファイルをホームページで公開している。掲載した内容は下記の通りである。

（※太字は当館職員を示す）

#### ① 原著論文

加藤太一・吉川広輔・森田直樹・村上瑞季・中島保寿・高梶祐司. 鮮新統日立層群“初崎層”から産出したサメ類（カグラザメ属およびホホジロザメ）の歯化石.

小沢広和・金子 稔・石川博行・野村正弘・加藤太一. 茨城県常総市内守谷町玉台橋付近の上部更新統木下層産貝形虫化石.

伊藤彩乃・松木 礼・川田清和・小幡和男・矢野徳也・西廣 淳. 茨城県稲敷市の茅場跡の湿生植物群落の植物相と種組成

#### ② 資料

坂本紀之・西元重雄・重藤裕彬・滝沢春雄. 茨城県小美玉市で記録されたコウチュウ目ハムシ科昆虫の目録.  
野村正弘・金子 稔・石川博行・齋藤綾香・小沢広和・加藤太一. 茨城県阿見町島津の更新統下総層群から産出した浮遊性有孔虫化石.

鈴木亮輔・小幡和男・岡 利雄. 茨城県におけるナチシダの新産地と冬季の生育状況.

山崎和哉・外山太一郎. 茨城県におけるムサシノジュズカケハゼ（スズキ目：ハゼ科）の記録.

金子誠也・山崎和哉・外山太一郎・中島政明・増子勝男・加納光樹. 茨城県大北川と河口域の魚類相.

樋渡武彦・森野 浩・池澤広美. 茨城県沿岸を含む日本産ナミノリソコエビ科 Dogielinotidae とモクズヨコエビ科 Hyalidae（甲殻亜門・フクロエビ上目・端脚目）全種の分類と検索.

### (2) その他

「茨城県産昆虫目録」（茨城陸生無脊椎動物研究会編）を1,000部発刊した。本昆虫目録は、これまでの総合調査の成果を活用しつつ、研究会が中心となり多くの外部の専門研究者や在野の研究者の協力も得て、合

計41名の著者が執筆したもので、内顎綱3目22科166種、昆虫綱25目490科9,402種、合計512科9,568種の昆虫を掲載した。

「茨城の昆虫たち」（茨城陸生無脊椎動物研究会編）を2,000部発刊した。本書は、先の目録では紹介できなかった昆虫たちの姿を、一般向けの読み物として解説したものである。茨城に生息または生息していた119種について写真と解説を付した。県内の学校に配布する予定である。

「茨城の磯の動物ガイド」（茨城の海産動物研究会編）を12,000部発行。本書はひたちなか市の磯で比較的普通に観察できる海岸動物約120種を写真と簡単な解説で紹介したフィールド図鑑である。なお、本書は船の科学館「海の学びミュージアムサポート」の支援を受けている。今後、活用が期待される小中学校、高等学校などに配布する。

「茨城県の動物・植物の本 総目録」（茨城県生物文献調査会編）を450部発行。本書は茨城県内の生物関係の書籍や調査報告書863編を生物の分類群ごとに収録した目録である。県内の生物関係の有志からなる茨城県生物文献調査会と協働して製作し、今後、博物館や図書館などに配布する。なお、本書は公益信託「エコーいばらき」環境保全基金の支援を受けている。

## 9 研究協力員

当館職員と外部研究者の円滑な研究協力体制を整えるため、「研究協力員受入れ要綱」を整備し、平成29年度から本格的に研究協力員の受入れを開始した。令和6年度に受け入れた研究協力員の研究課題は次の9件である。

| 分野 | 氏名    | 研究課題                                    | 担当職員          |
|----|-------|-----------------------------------------|---------------|
| 動物 | 舟橋正隆  | 茨城県産魚類の研究（主に茨城沿岸の浅海域から深海にかけての調査研究）      | 池澤広美          |
|    | 片山英里  | 茨城県沿岸に分布する魚類の調査および生物地理学的研究              | 北澤佑子          |
|    | 内田大貴  | 関東地方を中心とした水生生物（主に淡水魚類・甲殻類・水生昆虫類等）の多様性解明 | 北澤佑子          |
| 植物 | 栗原 孝  | 茨城県における維管束植物のフロラ研究                      | 伊藤彩乃<br>鶴沢美穂子 |
| 地学 | 国府田良樹 | 長鼻類の分類学的研究                              | 加藤太一          |
|    | 飯泉克典  | 中新世長鼻類の起源と進化の解明                         | 加藤太一          |
|    | 村上瑞季  | 茨城県自然博物館所蔵の鯨類化石の分類学・古生物地理学的研究           | 加藤太一          |
|    | 金子 稔  | 下総層群から産出する微化石                           | 加藤太一          |
|    | 三井翔太  | 茨城県稲敷郡阿見町島津の木下層から産出する魚類の耳石化石群集の解明       | 加藤太一          |

## 5 広報広聴活動および出版事業

Public Relations and Publications

### (1) 広報広聴活動

各種広報媒体を活用し、博物館および博物館活動に対する理解を深めるとともに、来館者からの意見・要望を広く聴取し、博物館運営の参考とした。

#### ① 広報活動

| 区 分                      | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 参 考                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 印刷広報<br>(ポスター・チラシなど)     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「羊歯（シダ）」展</li> <li>・「ミュージアムパーク30年のありったけ」展</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                               | B1：80枚、B2：3,250枚、A4：120,000枚<br>B1：100枚、B2：3,200枚、A4：150,000枚                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 広告掲出など                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター駅貼り・車内中吊り広告</li> <li>・新聞広告</li> <li>・ラジオ CM</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                         | 企画展（TX 各駅、関鉄各駅）<br>企画展（読売新聞、毎日新聞、茨城新聞ほか）、夏の観光ガイド（産経新聞）、その他（読売新聞、産経新聞、茨城新聞ほか）、企画展紹介（茨城放送）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 博物館ニュースの発行<br>(A・MUSEUM) | Vol.114、115、116                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 年3回発行 vol.114、115、116 各8,500部<br>A4判8ページ（フルカラー）<br>県内および隣接県各市町村の学校などへ配付                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 県広報媒体利用による広報             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県教委広報誌「教育いばらき」</li> <li>・県政情報紙「ひばり」</li> <li>・「市町村広報」</li> <li>・茨城放送（ラジオ、「みんなの教育」）</li> </ul>                                                                                                                                                                                      | 県内各学校および全教職員を対象に配布<br>新聞折込み（全戸配布）<br>県内および隣接県各市町村へ情報提供にもとづく広報掲載                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 報道機関などへの情報提供、取材・中継協力     | 企画展・記念入館者・各種事業など<br>※県外（東京など）含むおもな掲載内容<br><b>【新聞】</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展連載<br/>「恐竜 vs 哺乳類」<br/>「羊歯（シダ）」</li> <li>・「GW 入館者状況」関連</li> <li>・「恐竜 vs 哺乳類入館者10万人達成」関連</li> <li>・「南極せんせい」関連</li> <li>・「ヒタチナカオオスッポン化石」関連</li> <li>・「羊歯（シダ）展」関連</li> <li>・「来館1300万人記念」関連</li> <li>・「こども新聞」関連</li> </ul> | 茨城新聞 R6. 5. 9～R6. 5.15付 5回<br>茨城新聞 R6. 8.29～R6. 9. 2付 5回<br><br>茨城新聞 R6. 4.28付<br><br>茨城新聞 R6. 5.12付<br><br>茨城新聞 R6. 5.31付<br>茨城新聞 R6. 7.12付<br>茨城新聞 R6. 9.16付<br>茨城新聞 R6.12.19付<br>読売新聞 R6.12.19付<br><br>茨城新聞 R6. 8.28付<br>東京新聞 R6. 9.10付<br><br>読売新聞 R6. 9.12付<br><br>茨城新聞 R6. 8.22付<br>読売新聞 R6. 8.22付<br><br>茨城新聞 R6. 4.22付<br>茨城新聞 R6. 5.27付<br>茨城新聞 R6. 6.24付<br>茨城新聞 R6. 7.22付<br>茨城新聞 R6. 8.26付<br>茨城新聞 R6. 9.23付<br>茨城新聞 R6.11.25付<br>茨城新聞 R7. 1.27付<br>茨城新聞 R7. 2.24付<br>茨城新聞 R7. 3.24付 |

| 区 分         | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 参 考                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「土中の生きもの」関連</li> <li>・「コハクチョウ」関連</li> <li>・「ミュージアムパーク30年のありったけ」関連</li> <li>・「ミュージアムパーク30年のありったけ 入館者10万人達成」関連</li> <li>・「キョン」関連</li> <li>・「東京ドームうんち展」関連</li> <li>・「野焼き」関連</li> <li>・「走査電子顕微鏡リニューアル」関連</li> <li>【テレビ・ラジオ】</li> <li>・「恐竜 vs 哺乳類」関連</li> <li>・「羊歯（シダ）」関連</li> <li>・「ヒタチナカオオスッポン化石」関連</li> <li>・「ミュージアムパーク30年のありったけ」関係</li> <li>・「南極せんせい」関連</li> <li>・「博物館広報」関連</li> </ul> | <p>茨城新聞 R6. 6.26付</p> <p>茨城新聞 R6.11. 7付<br/>読売新聞 R6.12.12付<br/>東京新聞 R6.12.13付<br/>朝日新聞 R6.12.20付</p> <p>東京新聞 R6.11. 2付<br/>茨城新聞 R6.11. 9付<br/>毎日新聞 R6.11. 9付<br/>茨城新聞 R7. 2. 5付</p> <p>茨城新聞 R7. 2.12付<br/>東京新聞 R7. 2.18付</p> <p>朝日新聞（夕刊）R7. 1. 9付</p> <p>読売新聞 R7. 1.21付<br/>読売新聞 R7. 3.25付</p> <p>朝日新聞 R7. 1.27付</p> <p>茨城新聞 R7. 3.27付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ LuckyFM 茨城放送「MUSIC STATE スクーピーレポート」 R6.4.18放送</li> <li>・ NHK 総合（茨城県域）「いばっちゃんお！」<br/>トレンドハンター・ウィークエンダー R6.5.10放送</li> <li>・ LuckyFM 茨城放送「MUSIC STATE スクーピーレポート」 R6.7.9放送</li> <li>・ NHK 総合（茨城県域）「いばっちゃんお！」<br/>あなたとミュージアム R6.9.27、R6.10.3放送</li> <li>・ NHK 総合（茨城県域）「いば6」<br/>あなたとミュージアム R6.9.27、R6.10.3放送</li> <li>・ NHK 総合（茨城県域）「ニュース」 R6. 9.26 放送</li> <li>・ LuckyFM 茨城放送「MUSIC STATE スクーピーレポート」 R6.11.8放送</li> <li>・ NHK 総合（茨城県域）「いばっちゃんお！」<br/>トレンドハンター・ウィークエンダー R6.11.8放送</li> <li>・ NHK 総合（茨城県域）「いばっちゃんお！」<br/>あなたとミュージアム R7.2.14放送</li> <li>・ NHK 総合（茨城県域）「いば6」<br/>あなたとミュージアム R7.2.17放送</li> <li>・ CATV 番組名「いばらき HOT ステーション」 R6.12.3放送</li> <li>・ CATV 番組名「う・ら・ら」 R7.1.6放送</li> <li>・ フジテレビ「イット！」<br/>しらべてみたら R6.11.14放送</li> </ul> |
| 出版社などへの情報提供 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料提供</li> <li>・ 取材依頼、協力</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <p>地域情報紙・誌など（県外を含む）<br/>＜主な掲載誌＞<br/>月刊ぷらざ、月刊みと、まっふる、るるぶ、地球の歩き方、<br/>小学一年生、KidsDO、ちいき新聞 ほか</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

## ② 広聴活動

| 区 分             | 内 容                                                                                             | 参 考                                                            |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 入館者からの意見収集      | 来館者アンケート調査の実施                                                                                   | 年3~4回実施<br>・調査数 約1,000人／回                                      |
|                 | 各行事参加者へのアンケート調査                                                                                 | 自然ラボ・サンデーサイエンス・サイエンスデーなど                                       |
|                 | 御意見承り箱の設置（随時）                                                                                   | 平成7年11月設置<br>・来館者からの感想・意見の収集                                   |
| 博物館モニターからの意見の収集 | アンケート調査などへの協力<br>企画展開催時などに来館し、自由に意見・提案・要望などを提出（随時・内容自由）<br>館運営全般として施設管理・企画展そのほか展示や館内サービス、イベントなど | 令和6年7月より、第12期市民モニター活動開始（77人：2年間）<br><br>県職員モニター 55人 市民モニター 77人 |

## (2) 出版事業

博物館で実施している事業（企画展、調査研究など）の記録、報告または展示事業における来館者への便宜を図るため、次の図書の製作・発行を行った。

| 図 書 名                            | 規 格      | 部 数    |
|----------------------------------|----------|--------|
| 第90回企画展「羊歯（シダ）」展示解説書             | A4判、40頁  | 1,200  |
| 第91回企画展「ミュージアムパーク30年のありったけ」展示解説書 | A4判、50頁  | 1,300  |
| 年報第30号 令和5年度                     | A4判、80頁  | 400    |
| 茨城県自然博物館研究報告第27号 2024年12月        | A4判、158頁 | 500    |
| 茨城県産昆虫目録                         | A4判、431頁 | 1,000  |
| 茨城の昆虫たち                          | A5判、158頁 | 2,000  |
| 茨城の磯の動物ガイド                       | B6判、111頁 | 12,000 |
| 茨城県の動物・植物の本 総目録                  | A4判、167頁 | 450    |

## 6 博物館関係行事

Museum Events

### (1) 海の日イベント

令和6年7月15日（月・祝）「海の日」にちなんで、海に関連する特別イベントを開催した。

- ・「磯の生きものを観察しよう！」

担当：水系職員、企画課、池澤広美、北澤佑子

- ・「海の日記念 海の日クイズに挑戦！」（参加者：737人）

担当：企画課



海の日イベント

Marine Day Event

### (2) 山の日イベント

令和6年8月11日（日）「山の日」にちなんで、山に関連する特別イベントを開催した。

- ・「羊歯展」の見どころ紹介（参加者：204人）

担当：鈴木亮輔、企画課

- ・羊歯展キャラクターのぬり絵プレゼント（総配布数：2,427枚）

担当：鈴木亮輔、企画課



山の日イベント

Mountain Day Event

### (3) サイエンスデー

博物館をより身近な存在とするため、年4回の無料入館日を独自にサイエンスデーと位置づけ、イベントを行っている。令和6年度は、令和6年6月2日（日）の「地球・科学の日」、令和6年11月13日（水）の「茨城県民の日」、令和7年3月20日（木・祝）の「宇宙・科学の日」にイベントを実施した。

#### ① 地球・科学の日【令和6年6月2日（日）：環境の日（6月5日）】

- ・ さよなら「恐竜 vs 哺乳類展」見どころ紹介とびっくり裏話（参加者：32人）  
担当：吉川広輔、企画課
- ・ 博物館 SDGs クイズに挑戦！（スマホによる二次元コード読み取り方式で実施、参加者：スマホ370人、紙媒体52人、合計422人）  
担当：企画課

#### ② 茨城・科学の日【令和6年11月13日（水）：茨城県民の日】

- ・ 野外ガイドツアー「深まりゆく秋を感じよう」（参加者：47人）  
担当：企画課
- ・ 水系バックヤードをみてみよう！（参加者：76人）  
担当：水系職員、企画課
- ・ だいすきいばらき！県民の日クイズ！（853枚配布）  
担当：企画課

#### ③ 宇宙・科学の日【令和7年3月20日（木・祝）：春分の日】

- ・ 星座早見盤をつくろう！（参加者：148人）  
担当：吉川広輔、石塚勇太、高橋 淳、企画課
- ・ プランクトン観察体験！（参加者：405人）  
担当：茨城県霞ケ浦環境科学センター職員（8人）、企画課
- ・ 水系バックヤードをみてみよう！（参加者：76人）  
担当：水系職員、企画課

### (4) お正月イベント

令和7年1月2日（木）、3日（金）に、新年記念として以下のイベントを開催した。

- ・ お正月だよ！砂金探しでお年玉！（参加者：153人）  
担当：横山一己館長、佐藤一康、石塚勇太、土田十司作、村田一弘、企画課、ボランティア



お正月イベント  
New Years Event



お正月イベント  
New Years Event

## (5) アミューズデーイベント

博物館の創立を記念して、毎年博物館と友の会で共催イベントを行っている。

令和6年度は2月16日（日）に以下のイベントを開催した。

- ・キラキラ輝く砂金をみつけよう！（参加者：55人）

担当：横山一己館長、佐藤一康、石塚勇太、企画課、友の会、ボランティア



アミューズデー  
Amusement Day Event



アミューズデー  
Amusement Day Event

## 7 他の機関・団体との連携

Cooperation with Other Institutions and Organizations

博物館活動を活発化させるため、他の行政機関、企業などとの連携の下、館運営を行っている。

### (1) ミニ移動博物館の実施

広報活動の一環として、地域の祭りや大型商業施設などでミニ移動博物館を例年実施している。今年度は、水戸地区や鹿行地区も含め新規に7件で開催でき、予定も含めて全体で15回（5年度は10回）の実施となった。会場で広報資料とともに配布している招待券引換券の回収率は平均11.0%、誘導来館者数は1,352人、と当館への来客促進に大きく寄与できている。

| 種 別       | 実施場所・関連企画名 ※は新規 | 期 日                 |
|-----------|-----------------|---------------------|
| 社会教育施設など  | 逆井城跡公園          | 「逆井城まつり」※           |
|           | 常総市市民のひろば       | 「常総千姫まつり」           |
|           | 茨城県立歴史館         | 「歴史館まつり」            |
|           | カシマススポーツセンター    | 「ミニ移動博物館」※          |
|           | 鹿行生涯学習センター      | 「ジョブズフェスタ」※         |
|           | 水海道あすなろの里       | 「あすなろの里秋祭り」         |
|           | 坂東市観光交流センター秀緑   | 「将門まつり」※            |
|           | 茨城県霞ヶ浦環境科学センター  | 「環境学習フェスタ」※         |
|           | 水戸市民会館          | 「子育てフェスタ」※          |
| 商業・観光施設など | イオンモール浦和美園      | 「観光物産課 茨城観光キャンペーン」  |
|           | イオンモールつくば       | 「ミニ移動博物館」           |
|           | 阿見アウトレット        | 「阿見アウトレット恐竜関連イベント」※ |
|           | イーアスつくば         | 「子育てフェスタ」           |
|           | TX PLAZA 秋葉原    | 「ミニ移動博物館」           |
|           | イオンモール土浦        | 「ミニ移動博物館」           |

### (2) マスコミとの連携

#### ① 日本放送協会（企画展開連）

第89回、第90回、第91回の各企画展について、NHK 水戸放送局の後援を受けて開催し、NHK 県域デジタル放送などで広報の機会を得た。

#### ② 茨城新聞社（企画展開連）

第89回、第90回、第91回の各企画展について、茨城新聞社の後援を受けて開催し、各企画展について、同新聞での企画展開連記事の連載を実施した。

### (3) 県庁各部局との連携

観光・文化・環境関係の県各部局との連携・協力を図りながら、県内外からの来館者に対して、博物館活動のPRを実施している。

### (4) 福井県立恐竜博物館との連携事業

当館と福井県立恐竜博物館は、平成19年度より覚え書きを交わし、博物館事業の効率的な運営および活性化を図ることを目的に「連携博物館」として博物館事業の連携を推進している。

#### ① 教育普及事業における職員の相互派遣

福井県立恐竜博物館から湯川弘一研究員を講師として招聘し、11月3日（日）に30周年記念講演会「恐竜時代の幕開け、その時存在した森とは？」を実施した。

#### ② 古生物学の共同研究

重点研究「常磐地域の上白亜系から復元される後期白亜紀の海洋生態系」の一部において、当館の加藤太一副主任学芸員が福井県立恐竜博物館の藺田哲平博士と共同研究を行っている。

#### (5) 日本微生物生態学会・日本菌学会との共催イベントの開催

平成22年度に日本微生物生態学会と共催で「みてみよう！いきものミクロ☆探検隊」を開催した。それを機に毎年実施するようになり、平成25年度からは日本菌学会も加わって行っている。本イベントは一般の参加者だけでなく、研究者や学生が全国から集い、人材育成の機会ともなっている。令和6年度は11月30日に実施した。

#### (6) 地域の関連機関や自然史系博物館と連携した自然観察会の実施

公益財団法人日本海事科学振興財団 2024年度船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」プログラム 2「海の博物館活動サポート」A コース博物館活動の助成金（課題名「関係機関等と連携した海岸動物学習支援プログラムの開発と実施」）を活用し、地域の関連機関や他県の自然史系博物館と共催で、ひたちなか市の岩礁海岸で磯の動物についての自然観察会を実施した。詳細は下記のとおりである。

- ① 令和6年5月25日に平磯海岸（ひたちなか市）で令和6年度自然ラボ（観察会）「磯の生きものを観察しよう」を実施した。  
主催：ミュージアムパーク茨城県自然博物館  
共催：アクアワールド茨城県大洗水族館、公益財団法人水産無脊椎動物研究所、地球レーベル、茨城の海産動物研究会、群馬県立自然史博物館  
参加者：39人
- ② 令和6年5月26日に磯崎海岸（ひたちなか市）で令和6年度自然観察会「磯の生き物観察会2024」を実施した。  
主催：地球レーベル  
共催：ミュージアムパーク茨城県自然博物館、アクアワールド茨城県大洗水族館、公益財団法人水産無脊椎動物研究所、茨城の海産動物研究会  
参加者：35人
- ③ 令和6年6月8日に平磯海岸（ひたちなか市）で令和6年度観察会「磯の生物勉強会」を実施した。  
主催：公益財団法人水産無脊椎動物研究所  
共催：ミュージアムパーク茨城県自然博物館、アクアワールド茨城県大洗水族館、地球レーベル、茨城の海産動物研究会、群馬県立自然史博物館  
協力：栃木県立博物館  
参加者：30人

#### (7) 茨城土壌動物研究会との連携

令和6年3月、茨城土壌動物研究会と協働し、第Ⅰ期総合調査（1994年～2006年）の成果をもとに製作した「茨城でみられる土中の虫たち」（茨城土壌動物研究会 編）を刊行した。土壌動物に興味関心をもつ子どもたちや、先生方に教材として活用してほしいとの茨城土壌動物研究会の強い希望により、当研究会が印刷した1,500冊のうち約932冊を当館を介して県内の小中学校、高等学校や図書館に寄贈した。5月23日に、茨城県庁にて教育長への書籍の寄贈と知事からの感謝状の贈呈が行われた。

#### (8) 森林野生動物研究会との実施

哺乳類、鳥類、昆虫類など、森林に生息する野生動物を対象とした研究会である森林野生動物研究会の年次大会を当館を会場として開催された。会員による研究発表のほか、当館の自然ラボと連携した公開シンポジウム、研究会会員の希望者を対象としたエクスカーションを実施した。

- ① 令和6年11月16日（土）午前 研究発表会 参加者32人
- ② 令和6年11月16日（土）午後 公開シンポジウム  
「クマ、シカ、カモシカは茨城県にいるの？—変わりゆく野生動物の分布—」 参加者75人

基調講演：「シカ・ウマ・日本人ー列島の環境史と動物」

講師 三浦慎悟（自然環境研究センター理事長・早稲田大学名誉教授）

話題提供：「茨城県の哺乳類事情ークマ、カモシカから新たな脅威 特定外来生物キョンまで」

講師 後藤優介（当館 副主任学芸員）

「DNA 解析で迫る！茨城のシカはどこからやってきた？」

講師 永田純子（森林総合研究所 野生動物研究領域長）

「あなたのすぐお隣にも！アライグマやハクビシンとのおつきあい」

講師 小坂井千夏（農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門主任研究員）

③ 令和6年11月17日（日）午前 エクスカーション 参加者11人

博物館の概要に関するレクチャーと、収蔵庫見学を実施。自然誌標本を蓄積することの重要性と、研究利用などへの活用について共有した。

**(9) 東京ドームにおける特別展「うんち展」への協力**

令和5年度に開催した第87回企画展「うんち無しでは生きられない！ーあなたの知らない自然のしくみー」の内容を元に一部再構成された特別展「うんち展ーNo UNCHI, No LIFEー」が、東京ドームシティ Gallery AaMo（ギャラリーアーモ）で開催された。（主催：読売新聞社および東京ドーム）この特別展は、令和7年3月18日（火）から5月18日（日）までの期間で開催され、当館は特別協力として学術的監修や資料の貸出および展示などに携わった。

また、開催に先立ち、3月17日（月）にプレス向け内覧会が実施された際には、本展監修者として後藤優介副主任学芸員が、展示内容の説明や取材対応を行った。

**(10) 茨城県教職員互助会による寄贈資料の活用**

一般財団法人茨城県教職員互助会から、デジタルマイクロスコープ（ZL-LS4MN、ケニス製）3台と撮影装置付き光学実体顕微鏡（Ivesta3i、ライカ製）1台が寄贈された。デジタルマイクロスコープは800万画素カメラを内蔵し、4Kの静止画と動画が撮影できる。ディスカバリープレイス観察コーナーに設置し、チョウの鱗粉を拡大して大型モニターに映し出して観察できるようにしたほか、第91回企画展「ミュージアムパーク30年のありったけーいつも茨城県自然博物館はおもしろい！ー」でも活用した。光学実体顕微鏡は1200万画素カメラを内蔵し、4Kの静止画とフルハイビジョン動画が撮影できる。研究やイベントなどで活用した。

## 8 ボランティアの養成と活動の支援

Training and Support for Volunteers

市民参加による博物館事業を推進するとともに、生涯学習の場、社会参加の場を提供することを目的として、博物館の活動や自然に興味のある人による博物館ボランティアが活動を行っている。博物館ボランティアへさまざまな研修講座を実施するとともに、自主的な研修やチームの活動について積極的に支援した。

令和6年度は、新たに企画展のパネルおよびラベルの作成補助を行った。ボランティア主催イベントやチーム活動はコロナ前と同様に進めることができた。また、博物館ボランティアが企画、運営する「ふれあい野外ガイド」（毎月第3土曜日）、「子ども自然教室」には毎回多くの来館者が参加している。

### (1) 年齢別登録者数および地域別登録者数（含研修生）

| 年齢  | 人数  | 地 域         | 人数 | 地 域     | 人数  |
|-----|-----|-------------|----|---------|-----|
| 10～ | 1   | 坂 東 市       | 20 | 千 葉 県   | 19  |
| 20～ | 11  | 常 総 市       | 5  | 埼 玉 県   | 7   |
| 30～ | 6   | 守 谷 市       | 9  | 東 京 都   | 3   |
| 40～ | 3   | つくばみらい市     | 8  | 神 奈 川 県 | 1   |
| 50～ | 13  | つ く ば 市     | 13 | 栃 木 県   | 1   |
| 60～ | 29  | 取 手 市       | 2  |         |     |
| 70～ | 44  | 牛 久 市       | 6  |         |     |
| 80～ | 10  | そ の 他 の 県 内 | 23 |         |     |
| 90～ | 0   | 県 内         | 86 | 県 外     | 31  |
| 合計  | 117 |             |    | 合計      | 117 |

### (2) ボランティア研修会の実施

| 種 類               | 内 容                                                           | 参加者 | 期 日      |
|-------------------|---------------------------------------------------------------|-----|----------|
| ボランティア総会および更新研修   | 総 会：ボランティア年間活動計画の承認など<br>更新研修：年1回の更新研修                        | 57  | R6. 5.25 |
| ボランティア記念日         | チーム活動報告、「羊歯展」解説<br>新規会員認定 30周年ボランティア記念誌写真撮影<br>ふれあい野外ガイドスペシャル | 49  | R6. 7.20 |
| 自主研修視察および交流会      | 施設見学およびボランティア交流<br>場 所：筑波大学図書館                                | 17  | R6.11.22 |
| 新人ボランティア養成講座（上半期） | ミュージアムパーク茨城県自然博物館の特徴について                                      | 6   | R6. 6.30 |
| 新人ボランティア養成講座（下半期） | ミュージアムパーク茨城県自然博物館の特徴について                                      | 4   | R7. 1.18 |

### (3) ボランティア活動の状況

#### ① 現在活動中のチーム

- ・化石クリーニング
- ・野鳥
- ・イベント
- ・きのこけ
- ・研修
- ・友の会
- ・植物
- ・昆虫
- ・DP 展示解説
- ・図書
- ・地学
- ・ネイチャーゲーム
- ・竹林・竹炭

#### ② 主な活動内容

- ア 自然レクチャー「ふれあい野外ガイド」
- イ 化石クリーニング
- ウ 来館者向け観察指導および自然情報揭示
- エ 身近な植物の生体標本展示
- オ ボランティア活動紹介展の開催
- カ 収蔵資料（動物、植物、地学）の整理
- キ 博物館野外での動植物の調査
- ク 観察会などにおける指導補助
- ケ 図書室の利用案内および図書整理
- コ ボランティア自主研修会の企画・運営
- サ 「子ども自然教室」
- シ 友の会行事の企画および会報の発行補助



ボランティア交流：自主研修視察（筑波大学中央図書館）  
 Volunteer exchange : observation for voluntary training  
 (University of Tsukuba Library)



アクアマリンふくしまボランティアの当館への研修視察と交流  
 Visit for training and exchange by Aquamarine Fukushima  
 volunteers to our facility

## 9 友の会活動の支援

Support to Events by Museum Friends of Ibaraki Nature Museum

### (1) 友の会活動の支援

友の会は、当館の支援団体として位置づけられており、会員の入館料免除、情報提供、友の会事業への当館職員の派遣など、さまざまな面で友の会会員の活動を支援している。

#### ① 会員の入館料免除

延べ4,133人の友の会会員が入館し、入館料を免除した。

#### ② 情報提供

当館で年3回発行している機関誌「A・MUSEUM」を友の会会員全員に提供した。

#### ③ 友の会事業への当館職員の協力

- ・各種イベントの計画・開催時における助言並びに職員の派遣
- ・マンモス通信などへの寄稿

### (2) 友の会活動の状況

主な活動内容

- ・博物館が行う諸活動への協力
- ・博物館ボランティアの運営協力
- ・会員が相互の親睦を深め、自然と親しみ、楽しく学習するための事業
- ・会報などの発行および博物館ニュース、企画展案内などの配布
- ・博物館に相応しい企画展記念グッズの開発
- ・博物館来館者への便宜供与などにかかる収益事業
- ・友の会の普及発展およびその他目的達成に必要な事業
- ・友の会ホームページの運営と SNS による情報発信

### (3) 会員構成

令和6年度 659件（令和7年3月末現在）

|       |      |      |      |
|-------|------|------|------|
| 家族会員  | 496件 | 個人会員 | 125件 |
| 子ども会員 | 11件  | 賛助会員 | 27件  |

### (4) 主な事業

#### ① 友の会主催事業など

★印の行事は博物館との共催、又は博物館への後援事業 ◎博物館イベントに友の会会員枠で参加

|    | 行 事 名                                       | 実施場所・内容など                                                                                     | 参加者数 |
|----|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 4月 | ○博物館ボランティアによるイベント<br>「春のミニミニ図工祭り」(R6. 4.13) | ○博物館ボランティアチームの協力を得て、幼児向けイベントとして3種類の工作体験を行った。午前の部は会員限定、午後の部4回は一般来館者向けに各回定員15人で全5回実施した。         | 87人  |
| 5月 | ○地学観察会<br>「博物館で化石や鉱物を探そう！」(R6. 5.11)        | ○博物館職員のレクチャーを受けた後、実際に野外をまわり、化石や鉱物を観察した。各回定員30人で午前・午後の全2回実施した。                                 | 56人  |
| 7月 | ○昆虫観察会<br>「令和のヘイケボタル物語」(R6. 7.19)           | ○博物館職員と博物館ボランティアによるレクチャーを受けた後、博物館野外で暗闇の中で光るヘイケボタルの観察をした。また、野外での移動中はセミの羽化やライトトラップに集まる昆虫の観察をした。 | 40人  |

|     | 行 事 名                                                  | 実施場所・内容など                                                                                                 | 参加者数 |
|-----|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 8月  | ○博物館開館30周年企画第三弾<br>「シダのテラリウムをつくろう！」(R6. 8.31)          | ○シダ展協力者のテラリウムデザイナーを外部講師として招き、企画展関連イベントとして実施した。土台作りと植栽の作業を進め、個性的な作品が仕上がった。                                 | 37人  |
| 9月  | ○よるそら観察会<br>「中秋の Moonlight 伝説」(R6. 9.21)               | ○屋外での観察会を予定していたが、天候を考慮し室内でスライド映像とプラネタリウムを使った観察会を実施した。プラネタリウムでは、その日の日没後から時間を追って星座の動きを観察することができた。           | 29人  |
| 10月 | ○植物観察会<br>「古典植物のマツバランを育てよう！」<br>(R6.10.5)              | ○日本松葉蘭連合会会長を外部講師として招き、企画展関連イベントとして、シダ植物であるマツバランの株分け体験を実施した。                                               | 28人  |
| 12月 | ○クリスマスイベント<br>「ミニサンタを探せ！ 2024」<br>(R6.12.1 ~ R6.12.25) | ○期間中、各自都合の良い時に来館し、館内に隠れているミニサンタを探すイベントを実施した。参加者には後日プレゼントを送付した。                                            | 102組 |
|     | ○博物館開館30周年企画第四弾<br>「雲と雪のワクワク実験教室」(R6.12.7)             | ○高校教諭の友の会評議員を外部講師として招き、雪や氷をテーマに科学実験教室を実施した。ドライアイスを使うなど安全面での配慮も必要であったが、ボランティアスタッフの注意深い対応のおかげで無事実施することができた。 | 25人  |
|     | ◎博物館イベント（サンデーサイエンス）<br>「木の葉の化石を見つけよう」(R6.12.8)         | ◎約30万年前の原石にタガネをあて、ハンマーでたたいて木の葉の化石発掘をした。                                                                   | 24人  |
| 1月  | ◎博物館イベント（サンデーサイエンス）<br>「バードコールをつくろう」(R7.1.12)          | ◎野外に出て耳を澄ますとさまざまな鳥の声が聞こえてくる。自分だけのバードコールを作って、鳥の鳴き方について考える機会とした。                                            | 22人  |
|     | ○野鳥観察会<br>「博物館で野鳥をみつけよう」(R7.1.25)                      | ○博物館職員のレクチャーを受けた後、博物館野外で野鳥を観察し、身近に生息する野鳥について学んだ。                                                          | 29人  |
| 2月  | ◎博物館イベント（サンデーサイエンス）<br>「竹筆をつくろう」(R7.2.9)               | ◎いろんな種類の竹の特徴を学習しながら、竹の材料に適したコマチダケを使い独自の筆を作って自分の好きな字を書いてみた。                                                | 15人  |
|     | ★アミューズデーイベント<br>「キラキラ輝く砂金をみつけよう！」(R7.2.16)             | ★碗掛けによる比重分離によって砂の中から砂金を見つけ出す体験を行い、見つけた砂金はプレゼントとした。(対象：小3～中3)                                              | 55人  |
| 3月  | ○ミュージアムフレンズデー<br>「バスで行く、つくば満喫ツアー」(R7.3.16)             | ○筑波実験植物園での観察会後、つくばジオミュージアムに移動し、さまざまな活動体験をしながら自然について学ぶ機会となった。                                              | 21人  |

## ② 後援事業

- ・企画展関連事業への協力
- ・企画展記念グッズの製作

## ③ 会報の発行

- ・マンモス通信（令和6年6月、8月、10月、令和7年2月発行）
- ・ミニマンモス通信（令和6年4月、11月発行）

## ④ その他

- ・4月13日（土）実施の友の会イベントに一般来館者枠を設け、友の会の宣伝活動も兼ねて会員獲得に努めた。

- ・今年度は、友の会役員の方々にも協力していただき、5月12日（日）、7月7日（日）、10月13日（日）に入会キャンペーンを実施した。入会者には友の会オリジナルグッズをプレゼントした。
- ・令和6年度には、博物館同様友の会も30周年を迎えた。令和5年9月16日（土）の博物館開館30周年企画第一弾「シダってワンダーランド！」に引き続き、第二弾として、「令和6年度友の会イベント参加チャレンジ」を実施することとし、6月に全会員にチャレンジシートを発送した。イベント参加時にスタンプを押印しスタンプが2個たまると友の会30周年記念グッズがもらえる企画とすることで、今まで参加していなかった会員の参加を促すきっかけ作りとした。また、第三弾として、8月に「シダのテラリウムをつくろう！」を行った。大人も楽しめるイベントとなり、好評だった。さらに、12月に第四弾として実験教室を実施した。
- ・ホームページ内の写真を最近実施したイベント中心になるよう更新した。また、SNSでタイムリーに博物館のようすや開催中の企画展について発信し、閲覧者に興味をもってもらえるよう努めた。
- ・各企画展の入館者10万人達成記念イベントや8月の入館者1,300万人達成記念式典では、記念入館者に友の会からオリジナルグッズなど詰め合わせをプレゼントした。
- ・博物館記念メダルを新たに2種製作し、11月1日より販売を開始した。うち1種は裏面に30周年企画展記念ロゴをデザインし、博物館30周年記念メダルとした。
- ・友の会創立当初から会員として継続されている方に、感謝の意を表し、令和6年12月初旬に感謝状および記念品を贈呈した。（対象者数 79件）

## (1) 目的

令和6年11月13日に開館30周年を迎え、これまで1,300万人を超える大変多くの来館者を迎えてきたが、近年、施設の老朽化や物価高騰の影響により、施設の維持・管理に多くの予算を割かなければならない状況にあり、教育普及活動や展示更新・修繕のための費用捻出に苦慮している状況にあった。

このような事情から、令和5年度に「賛助会員制度」を創設し、青少年の自然科学などへの興味関心の向上に関する事業や、資料の保存、修繕などの費用に充てるため、幅広い方々から寄付を募ることとした。

## (2) 制度の概要

- ①会員区分 個人および団体
- ②会員期間 1年間
- ③会 費 個人1口5万円、団体1口10万円
- ④特 典
  - ・1口につき当館無料招待券10枚（団体様は20枚）
  - ・当館発行の企画展展示解説書・博物館広報誌（A・MUSEUM）などの送付
  - ・氏名（団体名）を当館指定箇所およびホームページに掲載（希望制）
  - ・ミュージアムショップでの割引（一部限定商品を表示価格から1割引き【個人会員のみ】）

## (3) 令和6年度末現在の状況

- ①会 員 数 延べ28人（団体22人、個人6人）
  - ②会費収入 約670万円
  - ③使 途 令和6年6月28日（金）に開催した「ミュージアムパーク茨城県自然博物館運営支援協議会（※）」において決定
    - イベントで使用する材料などの購入
      - ・材料の購入（従来は参加者から徴収していたもの）
      - ・イベントで使用する機器の購入（双眼鏡・ポータブル拡声器）
    - 教育普及用資料の製作や修繕
      - ・移動博物館用展示資料および運搬・展示機材の修繕
    - 常設展示資料の修繕を実施
      - ・タッチング用動物剥製の修繕（第3展示室）
      - ・樹脂封入標本の研磨（第3展示室およびディスカバリープレイス）
- （※）賛助会員などの博物館外部の方を交え、会費の活用方針などを決定する組織（メンバーは、賛助会員2人、自然博物館協議会委員1人、当館館長）



イベントのようす  
Educational event for children



触れる展示  
Hands on exhibition

# Ⅱ 利用状況

## Visitor's Statistics

### 1 令和6年度入館者数

Number of Visitors, 2024-2025

令和6年度の入館者総数は479,671人であり、前年度比約111.3%である。そのうち、教育活動の一環として当館を訪れた学校および人数は、延べ633校、49,157人である。そして、前年度比は学校数では約100.4%、人数で約106.4%である。

#### (1) 入館者数の推移

| 年       | 月   | 開館<br>日数 | 有料入館      |        |            |            |           | 無料入館    |                |           |         |            |           |           | 総計        | 1 日<br>あたり<br>平 均 |       |
|---------|-----|----------|-----------|--------|------------|------------|-----------|---------|----------------|-----------|---------|------------|-----------|-----------|-----------|-------------------|-------|
|         |     |          | 一般        | 高齢者    | 大学生<br>高校生 | 中学生<br>小学生 | 有料計       | 高齢者     | 身 障 者<br>知的障害者 | 学校関係      | 福祉関係    | 保育園<br>幼稚園 | 未就学児      | その他       |           |                   | 無料計   |
| 平成6年度   | 112 | 128,611  |           |        | 3,865      | 48,018     | 180,494   | 15,428  | 1,448          | 8,947     | 567     |            | 42,306    | 41,783    | 110,479   | 290,973           | 2,598 |
| 平成7年度   | 298 | 291,832  |           |        | 8,698      | 119,693    | 420,223   | 36,302  | 3,078          | 88,001    | 5,909   | 25,710     | 65,572    | 36,448    | 261,020   | 681,243           | 2,286 |
| 平成8年度   | 296 | 200,433  |           |        | 6,167      | 74,317     | 280,917   | 20,818  | 1,979          | 64,957    | 4,073   | 24,355     | 53,585    | 49,857    | 219,624   | 500,541           | 1,691 |
| 平成9年度   | 300 | 169,377  |           |        | 4,905      | 63,797     | 238,079   | 14,932  | 1,676          | 67,540    | 2,912   | 32,146     | 69,100    | 61,377    | 249,683   | 487,762           | 1,626 |
| 平成10年度  | 302 | 143,616  |           |        | 4,098      | 47,465     | 195,179   | 13,199  | 1,970          | 69,848    | 3,447   | 39,155     | 59,408    | 72,864    | 259,891   | 455,070           | 1,507 |
| 平成11年度  | 302 | 131,939  |           |        | 3,890      | 43,988     | 179,817   | 12,632  | 2,370          | 57,473    | 4,336   | 34,178     | 60,027    | 74,017    | 245,033   | 424,850           | 1,407 |
| 平成12年度  | 300 | 120,376  |           |        | 3,835      | 43,287     | 167,498   | 11,857  | 2,306          | 58,188    | 4,041   | 37,681     | 57,143    | 72,673    | 243,889   | 411,387           | 1,371 |
| 平成13年度  | 302 | 127,253  |           |        | 3,393      | 45,594     | 176,240   | 13,093  | 2,906          | 63,555    | 4,071   | 39,143     | 59,782    | 79,072    | 261,622   | 437,862           | 1,450 |
| 平成14年度  | 303 | 124,798  |           |        | 2,948      | 42,579     | 170,325   | 12,310  | 3,008          | 59,558    | 3,747   | 35,530     | 56,824    | 77,847    | 248,824   | 419,149           | 1,383 |
| 平成15年度  | 305 | 124,604  |           |        | 2,843      | 44,917     | 172,364   | 10,739  | 3,360          | 59,169    | 4,506   | 38,543     | 55,111    | 80,436    | 251,864   | 424,228           | 1,391 |
| 平成16年度  | 306 | 129,943  |           |        | 2,817      | 48,242     | 181,002   | 9,497   | 4,111          | 55,119    | 4,617   | 38,896     | 59,771    | 86,989    | 259,000   | 440,002           | 1,438 |
| 平成17年度  | 306 | 108,644  |           |        | 2,587      | 38,235     | 149,466   | 8,238   | 4,226          | 51,273    | 5,041   | 43,091     | 51,040    | 81,786    | 244,695   | 394,161           | 1,288 |
| 平成18年度  | 308 | 117,105  |           |        | 2,417      | 42,145     | 161,667   | 7,408   | 4,150          | 61,835    | 4,939   | 46,643     | 54,448    | 77,695    | 257,118   | 418,785           | 1,360 |
| 平成19年度  | 307 | 122,108  |           |        | 2,530      | 40,118     | 164,756   | 6,332   | 4,341          | 58,259    | 4,946   | 47,619     | 53,874    | 77,212    | 252,583   | 417,339           | 1,359 |
| 平成20年度  | 305 | 105,345  |           |        | 2,516      | 36,478     | 144,339   | 6,494   | 4,501          | 60,496    | 3,723   | 43,515     | 48,914    | 89,158    | 256,801   | 401,140           | 1,315 |
| 平成21年度  | 305 | 102,908  |           |        | 2,389      | 36,634     | 141,931   | 7,031   | 5,025          | 56,355    | 4,738   | 43,005     | 45,280    | 97,386    | 258,820   | 400,751           | 1,314 |
| 平成22年度  | 288 | 96,196   |           |        | 2,248      | 31,946     | 130,390   | 7,371   | 4,967          | 54,120    | 4,523   | 44,536     | 41,699    | 94,272    | 251,488   | 381,878           | 1,326 |
| 平成23年度  | 307 | 91,313   |           |        | 2,148      | 32,032     | 125,493   | 6,812   | 5,344          | 46,349    | 2,985   | 29,399     | 45,944    | 116,339   | 253,172   | 378,665           | 1,233 |
| 平成24年度  | 306 | 94,704   |           |        | 2,248      | 30,873     | 127,825   | 6,753   | 5,707          | 52,866    | 3,687   | 41,261     | 41,597    | 109,940   | 261,811   | 389,636           | 1,273 |
| 平成25年度  | 305 | 105,159  |           |        | 2,528      | 34,246     | 141,933   | 7,627   | 6,002          | 52,727    | 4,302   | 41,198     | 47,585    | 117,881   | 277,322   | 419,255           | 1,375 |
| 平成26年度  | 305 | 104,523  |           |        | 2,237      | 32,044     | 138,804   | 8,188   | 6,325          | 53,338    | 5,582   | 41,689     | 51,074    | 124,786   | 290,982   | 429,786           | 1,409 |
| 平成27年度  | 305 | 121,719  |           |        | 2,648      | 37,097     | 161,464   | 8,533   | 7,193          | 50,422    | 5,539   | 39,385     | 51,811    | 120,922   | 283,805   | 445,269           | 1,460 |
| 平成28年度  | 306 | 135,343  |           |        | 2,778      | 39,034     | 177,155   | 8,948   | 8,144          | 46,734    | 6,954   | 42,460     | 58,786    | 96,920    | 268,946   | 446,101           | 1,458 |
| 平成29年度  | 305 | 174,022  |           |        | 3,560      | 49,692     | 227,274   | 10,424  | 9,968          | 50,769    | 7,469   | 41,291     | 71,797    | 84,568    | 276,286   | 503,560           | 1,651 |
| 平成30年度  | 305 | 176,544  | 7,296     |        | 3,795      | 65,884     | 253,519   | 3,393   | 10,020         | 28,837    | 7,121   | 41,986     | 72,164    | 71,944    | 235,465   | 488,984           | 1,603 |
| 令和元年度   | 302 | 177,904  | 9,338     |        | 4,017      | 74,529     | 265,788   | 1,105   | 11,068         | 18,468    | 7,581   | 37,148     | 70,133    | 69,625    | 215,128   | 480,916           | 1,592 |
| 令和2年度   | 258 | 118,296  | 4,811     |        | 3,193      | 33,373     | 159,673   | 816     | 5,929          | 8,091     | 514     | 4,574      | 47,382    | 30,679    | 97,985    | 257,658           | 999   |
| 令和3年度   | 227 | 112,605  | 4,600     |        | 3,217      | 39,775     | 160,197   | 814     | 5,292          | 14,374    | 833     | 6,803      | 59,350    | 33,461    | 120,927   | 281,124           | 1,238 |
| 令和4年度   | 307 | 170,252  | 7,898     |        | 3,839      | 73,382     | 255,371   | 1,145   | 8,876          | 14,526    | 2,810   | 18,353     | 85,900    | 61,109    | 192,719   | 448,090           | 1,460 |
| 令和5年度   | 293 | 159,486  | 7,634     |        | 4,216      | 72,686     | 244,022   | 1,270   | 9,330          | 15,280    | 8,376   | 25,179     | 70,314    | 56,830    | 186,579   | 430,601           | 1,470 |
| 令和6年度   | 4   | 25       | 14,046    | 885    | 373        | 4,481      | 19,785    | 61      | 762            | 557       | 234     | 960        | 5,535     | 4,269     | 12,378    | 32,163            | 1,287 |
|         | 5   | 27       | 15,177    | 825    | 623        | 7,046      | 23,671    | 453     | 990            | 3,760     | 329     | 5,899      | 6,671     | 12,304    | 30,406    | 54,077            | 2,003 |
|         | 6   | 21       | 14,585    | 562    | 291        | 4,968      | 20,406    | 46      | 839            | 2,910     | 278     | 1,580      | 5,231     | 5,787     | 16,671    | 37,077            | 1,766 |
|         | 7   | 26       | 17,683    | 743    | 349        | 7,234      | 26,009    | 35      | 924            | 562       | 962     | 2,936      | 6,233     | 3,294     | 14,946    | 40,955            | 1,575 |
|         | 8   | 28       | 26,935    | 1,339  | 1,052      | 10,926     | 40,252    | 0       | 1,443          | 31        | 3,679   | 561        | 10,748    | 4,177     | 20,639    | 60,891            | 2,175 |
|         | 9   | 25       | 19,470    | 540    | 823        | 9,156      | 29,989    | 370     | 1,038          | 1,843     | 485     | 1,354      | 6,698     | 4,686     | 16,474    | 46,463            | 1,859 |
|         | 10※ | 26       | 11,639    | 615    | 193        | 10,547     | 22,994    | 0       | 700            | 3,882     | 361     | 4,171      | 3,985     | 4,354     | 17,453    | 40,447            | 1,556 |
|         | 11  | 26       | 15,330    | 966    | 86         | 9,592      | 25,974    | 231     | 909            | 2,373     | 948     | 3,378      | 5,779     | 6,397     | 20,015    | 45,989            | 1,769 |
|         | 12  | 23       | 8,101     | 495    | 69         | 4,034      | 12,699    | 0       | 503            | 230       | 529     | 288        | 2,919     | 2,275     | 6,744     | 19,443            | 845   |
|         | 1   | 26       | 15,714    | 653    | 113        | 4,001      | 20,481    | 39      | 904            | 122       | 438     | 849        | 5,474     | 3,062     | 10,888    | 31,369            | 1,207 |
| 令和6年度   | 2   | 20       | 16,722    | 654    | 120        | 3,227      | 20,723    | 0       | 896            | 48        | 455     | 3,592      | 5,516     | 2,746     | 13,253    | 33,976            | 1,699 |
|         | 3   | 26       | 15,452    | 789    | 196        | 3,706      | 20,143    | 294     | 811            | 169       | 738     | 3,523      | 6,341     | 4,802     | 16,678    | 36,821            | 1,416 |
|         | 計   | 299      | 190,854   | 9,066  | 4,288      | 78,918     | 283,126   | 1,529   | 10,719         | 16,487    | 9,436   | 29,091     | 71,130    | 58,153    | 196,545   | 479,671           | 1,604 |
| 1日あたり平均 |     |          | 15,905    | 756    | 357        | 6,577      | 23,594    | 127     | 893            | 1,374     | 786     | 2,424      | 5,928     | 4,846     | 16,379    | 39,973            | -     |
| 開館後累計   |     | 9,075    | 4,277,812 | 50,643 | 106,858    | 1,541,018  | 5,976,331 | 281,038 | 165,339        | 1,463,961 | 143,325 | 1,053,563  | 1,778,851 | 2,404,029 | 7,290,106 | 13,266,437        | 1,462 |

※ R6.10.1より野外のみ大学生料金

※ R6.10.9より共通券・野外券 大学生料金

(2) 学校などの利用状況

| 年      | 月  | 小学校    |           | 中学校   |         | 高校  |        | 特別支援 |        | 総計     |           |
|--------|----|--------|-----------|-------|---------|-----|--------|------|--------|--------|-----------|
|        |    | 校数     | 人数        | 校数    | 人数      | 校数  | 人数     | 校数   | 人数     | 校数     | 人数        |
| 平成6年度  |    | 91     | 6,601     | 12    | 1,825   | 4   | 214    | 8    | 307    | 115    | 8,947     |
| 平成7年度  |    | 609    | 56,020    | 122   | 18,478  | 59  | 10,838 | 55   | 2,665  | 845    | 88,001    |
| 平成8年度  |    | 507    | 43,936    | 86    | 13,006  | 40  | 6,504  | 42   | 1,511  | 675    | 64,957    |
| 平成9年度  |    | 552    | 48,205    | 86    | 11,604  | 38  | 6,004  | 37   | 1,727  | 713    | 67,540    |
| 平成10年度 |    | 594    | 53,258    | 81    | 10,525  | 31  | 4,900  | 31   | 1,165  | 737    | 69,848    |
| 平成11年度 |    | 548    | 47,203    | 58    | 6,215   | 17  | 2,794  | 27   | 1,261  | 650    | 57,473    |
| 平成12年度 |    | 542    | 45,065    | 79    | 7,887   | 21  | 3,803  | 27   | 1,433  | 669    | 58,188    |
| 平成13年度 |    | 598    | 50,855    | 86    | 9,571   | 17  | 2,289  | 21   | 840    | 722    | 63,555    |
| 平成14年度 |    | 506    | 45,280    | 103   | 11,592  | 19  | 1,959  | 17   | 727    | 645    | 59,558    |
| 平成15年度 |    | 550    | 47,442    | 79    | 8,923   | 21  | 1,995  | 20   | 809    | 670    | 59,169    |
| 平成16年度 |    | 503    | 45,676    | 64    | 6,979   | 18  | 1,591  | 22   | 873    | 607    | 55,119    |
| 平成17年度 |    | 524    | 43,780    | 57    | 6,592   | 6   | 290    | 15   | 611    | 602    | 51,273    |
| 平成18年度 |    | 576    | 51,306    | 63    | 7,640   | 15  | 1,693  | 25   | 1,196  | 679    | 61,835    |
| 平成19年度 |    | 571    | 49,570    | 64    | 7,023   | 8   | 415    | 24   | 1,251  | 667    | 58,259    |
| 平成20年度 |    | 547    | 50,534    | 57    | 7,270   | 8   | 1,392  | 23   | 1,300  | 635    | 60,496    |
| 平成21年度 |    | 527    | 46,679    | 56    | 7,211   | 13  | 1,329  | 26   | 1,136  | 622    | 56,355    |
| 平成22年度 |    | 542    | 47,387    | 44    | 5,451   | 9   | 510    | 18   | 772    | 613    | 54,120    |
| 平成23年度 |    | 503    | 40,291    | 35    | 4,537   | 9   | 669    | 18   | 852    | 565    | 46,349    |
| 平成24年度 |    | 510    | 45,172    | 53    | 6,300   | 12  | 792    | 19   | 602    | 594    | 52,866    |
| 平成25年度 |    | 518    | 44,736    | 50    | 6,536   | 12  | 955    | 14   | 500    | 594    | 52,727    |
| 平成26年度 |    | 502    | 44,275    | 57    | 7,294   | 10  | 899    | 20   | 870    | 589    | 53,338    |
| 平成27年度 |    | 509    | 43,062    | 48    | 6,103   | 12  | 810    | 13   | 447    | 582    | 50,422    |
| 平成28年度 |    | 473    | 38,948    | 62    | 5,974   | 16  | 1,460  | 13   | 352    | 564    | 46,734    |
| 平成29年度 |    | 519    | 42,441    | 67    | 6,517   | 16  | 1,117  | 18   | 694    | 620    | 50,769    |
| 平成30年度 |    | 505    | 42,299    | 73    | 5,830   | 11  | 602    | 11   | 363    | 600    | 49,094    |
| 令和元年度  |    | 476    | 37,889    | 42    | 4,081   | 11  | 720    | 16   | 520    | 545    | 43,210    |
| 令和2年度  |    | 221    | 13,010    | 2     | 131     | 7   | 287    | 9    | 86     | 239    | 13,514    |
| 令和3年度  |    | 375    | 29,052    | 13    | 1,026   | 4   | 250    | 7    | 175    | 399    | 30,503    |
| 令和4年度  |    | 495    | 39,273    | 31    | 2,879   | 6   | 132    | 16   | 506    | 548    | 42,790    |
| 令和5年度  |    | 576    | 43,300    | 19    | 1,783   | 12  | 400    | 23   | 702    | 630    | 46,185    |
| 令和6年度  | 4  | 1      | 91        | 5     | 442     | 1   | 172    | 0    | 0      | 7      | 705       |
|        | 5  | 67     | 5,935     | 3     | 407     | 3   | 236    | 4    | 197    | 77     | 6,775     |
|        | 6  | 75     | 5,026     | 1     | 43      | 0   | 0      | 4    | 145    | 80     | 5,214     |
|        | 7  | 33     | 2,873     | 0     | 0       | 0   | 0      | 4    | 105    | 37     | 2,978     |
|        | 8  | 10     | 652       | 0     | 0       | 1   | 25     | 0    | 0      | 11     | 677       |
|        | 9  | 80     | 6,861     | 1     | 14      | 0   | 0      | 3    | 86     | 84     | 6,961     |
|        | 10 | 144    | 12,192    | 0     | 0       | 2   | 16     | 6    | 192    | 152    | 12,400    |
|        | 11 | 118    | 8,982     | 2     | 168     | 1   | 11     | 1    | 46     | 122    | 9,207     |
|        | 12 | 33     | 2,575     | 3     | 30      | 2   | 64     | 1    | 14     | 39     | 2,683     |
|        | 1  | 11     | 758       | 0     | 0       | 1   | 20     | 1    | 45     | 13     | 823       |
|        | 2  | 4      | 162       | 1     | 3       | 0   | 0      | 0    | 0      | 5      | 165       |
|        | 3  | 0      | 0         | 6     | 569     | 0   | 0      | 0    | 0      | 6      | 569       |
|        | 計  | 576    | 46,107    | 22    | 1,676   | 11  | 544    | 24   | 830    | 633    | 49,157    |
| 開館後累計  |    | 15,645 | 1,331,459 | 1,774 | 208,352 | 492 | 58,301 | 660  | 27,211 | 18,571 | 1,625,323 |

(3) 企画展の入館状況

| 企画展名 |        | 恐竜 VS 哺乳類展<br>－化石から読み解く進化の物語－ |        | 羊歯展<br>－花はないけど、華はある－ |        | 30周年展<br>－いつも茨城県自然博物館はおもしろい！－ |        | 企画展以外の期間 |        | 合計      |        |
|------|--------|-------------------------------|--------|----------------------|--------|-------------------------------|--------|----------|--------|---------|--------|
| 会期   | (延べ日数) | 4/1 ～ 6/9 (60)                |        | 7/6 ～ 10/6 (81)      |        | 10/7 ～ 3/31 (124)             |        | (38)     |        | (299)   |        |
| 有料   | 一般     | 35,462                        | 34.1%  | 66,336               | 42.6%  | 71,145                        | 42.9%  | 17,911   | 33.3%  | 190,854 | 39.8%  |
|      | 高齢者    | 1,967                         | 1.9%   | 2,700                | 1.7%   | 3,544                         | 5.3%   | 855      | 1.6%   | 9,066   | 4.6%   |
|      | 高校大学生  | 1,132                         | 1.1%   | 2,329                | 1.5%   | 584                           | 0.4%   | 243      | 0.5%   | 4,288   | 0.9%   |
|      | 小・中学生  | 13,112                        | 12.6%  | 29,067               | 18.6%  | 24,047                        | 14.5%  | 12,692   | 23.6%  | 78,918  | 16.5%  |
|      | 計      | 51,673                        | 49.7%  | 100,432              | 64.4%  | 99,320                        | 59.8%  | 31,701   | 58.9%  | 283,126 | 59.0%  |
| 無料   | 高齢者    | 560                           | 0.5%   | 405                  | 0.3%   | 564                           | 0.3%   | 0        | 0.0%   | 1,529   | 0.3%   |
|      | 身障者等   | 2,147                         | 2.1%   | 3,524                | 2.3%   | 4,016                         | 2.4%   | 1,032    | 1.9%   | 10,719  | 2.2%   |
|      | 学校教育   | 6,199                         | 6.0%   | 2,892                | 1.9%   | 2,780                         | 1.7%   | 4,616    | 8.6%   | 16,487  | 3.4%   |
|      | 福祉施設   | 634                           | 0.6%   | 5,055                | 3.2%   | 3,108                         | 1.9%   | 639      | 1.2%   | 9,436   | 2.0%   |
|      | 未就学児等  | 21,989                        | 21.2%  | 29,246               | 18.8%  | 37,072                        | 22.3%  | 11,914   | 22.1%  | 100,221 | 20.9%  |
|      | その他    | 20,757                        | 20.0%  | 14,306               | 9.2%   | 19,146                        | 11.5%  | 3,944    | 7.3%   | 58,153  | 12.1%  |
|      | 計      | 52,286                        | 50.3%  | 55,428               | 35.6%  | 66,686                        | 40.2%  | 22,145   | 41.1%  | 196,545 | 41.0%  |
| 合 計  |        | 103,959                       | 100.0% | 155,860              | 100.0% | 166,006                       | 100.0% | 53,846   | 100.0% | 479,671 | 100.0% |

## 2 アンケート調査による入館者の状況

Summary Analysis of Questionnaires on Visitor's Background

当博物館では、一般来館者の動向を把握するため、定期的なアンケート調査を実施した。この調査の結果は、博物館の運営に反映させていくため、博物館協議会や繁忙期対策会議などの資料として活用している。

### (1) 調査方法

Google フォームによるアンケート方式

### (2) 調査項目

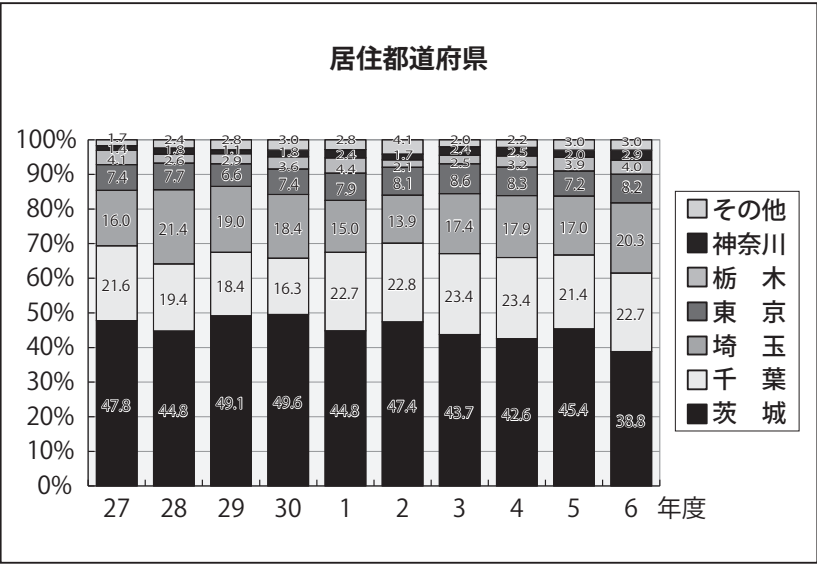
入退館時間、居住地、年齢、性別、同伴者、来館回数、博物館へ何度も来る理由（再来館者対象）など。

### (3) 回答数

3,651件

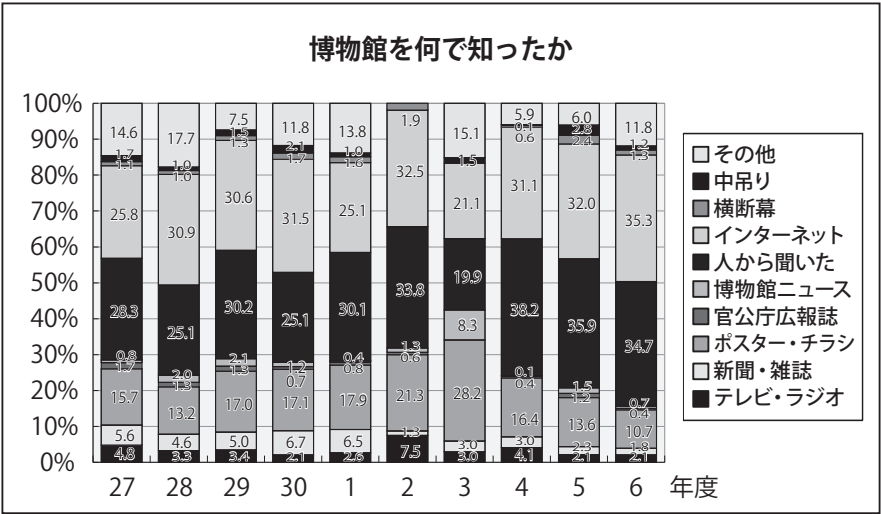
### ○都道府県別回答者数

|              | H27年度                 |       | H28年度                                                           |       | H29年度                                  |       | H30年度                                                     |       | R01年度                       |       | R02年度                                                |       | R03年度                                  |       | R04年度                            |       | R05年度                                                          |       | R06年度                            |       |
|--------------|-----------------------|-------|-----------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------|-------|-----------------------------|-------|------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------|-------|----------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------|-------|
|              | 回答数                   | 比率(%) | 回答数                                                             | 比率(%) | 回答数                                    | 比率(%) | 回答数                                                       | 比率(%) | 回答数                         | 比率(%) | 回答数                                                  | 比率(%) | 回答数                                    | 比率(%) | 回答数                              | 比率(%) | 回答数                                                            | 比率(%) | 回答数                              | 比率(%) |
| 茨 城          | 547                   | 47.8  | 485                                                             | 44.8  | 690                                    | 49.1  | 997                                                       | 49.6  | 847                         | 44.8  | 517                                                  | 47.4  | 871                                    | 43.7  | 1,192                            | 42.6  | 1,287                                                          | 45.4  | 1,417                            | 38.8  |
| 千 葉          | 247                   | 21.6  | 210                                                             | 19.4  | 258                                    | 18.4  | 327                                                       | 16.3  | 430                         | 22.7  | 248                                                  | 22.8  | 465                                    | 23.4  | 655                              | 23.4  | 606                                                            | 21.4  | 830                              | 22.7  |
| 埼 玉          | 183                   | 16.0  | 232                                                             | 21.4  | 267                                    | 19.0  | 370                                                       | 18.4  | 283                         | 15.0  | 151                                                  | 13.9  | 346                                    | 17.4  | 502                              | 17.9  | 483                                                            | 17.0  | 741                              | 20.3  |
| 東 京          | 85                    | 7.4   | 83                                                              | 7.7   | 92                                     | 6.6   | 148                                                       | 7.4   | 149                         | 7.9   | 88                                                   | 8.1   | 172                                    | 8.6   | 231                              | 8.3   | 205                                                            | 7.2   | 300                              | 8.2   |
| 栃 木          | 47                    | 4.1   | 28                                                              | 2.6   | 41                                     | 2.9   | 72                                                        | 3.6   | 83                          | 4.4   | 23                                                   | 2.1   | 49                                     | 2.5   | 90                               | 3.2   | 112                                                            | 3.9   | 147                              | 4.0   |
| 神奈川          | 16                    | 1.4   | 19                                                              | 1.8   | 16                                     | 1.1   | 37                                                        | 1.8   | 46                          | 2.4   | 18                                                   | 1.7   | 48                                     | 2.4   | 69                               | 2.5   | 58                                                             | 2.0   | 107                              | 2.9   |
| その他          | 19                    | 1.7   | 26                                                              | 2.4   | 40                                     | 2.8   | 61                                                        | 3.0   | 53                          | 2.8   | 45                                                   | 4.1   | 40                                     | 2.0   | 61                               | 2.2   | 85                                                             | 3.0   | 109                              | 3.0   |
| 計            | 1,144                 | 100.0 | 1,083                                                           | 100.0 | 1,404                                  | 100.0 | 2,012                                                     | 100.0 | 1,891                       | 100.0 | 1,090                                                | 100.0 | 1,991                                  | 100.0 | 2,800                            | 100.0 | 2,836                                                          | 100.0 | 3,651                            | 100.0 |
| [その他]<br>の内訳 | 北海道<br>群馬<br>愛知<br>沖縄 |       | 北海道<br>宮城<br>新潟<br>福島<br>群馬<br>山梨<br>愛知<br>大阪<br>石川<br>兵庫<br>福岡 |       | 愛知<br>岐阜<br>福島<br>群馬<br>長野<br>宮城<br>大阪 |       | 北海道<br>山形<br>宮城<br>福島<br>群馬<br>長野<br>静岡<br>愛知<br>兵庫<br>福岡 |       | 北海道<br>宮城<br>群馬<br>長野<br>愛知 |       | 福島<br>静岡<br>愛知<br>鹿児島<br>北海道<br>宮城<br>山梨<br>大阪<br>富山 |       | 群馬<br>宮城<br>福島<br>長野<br>静岡<br>新潟<br>山梨 |       | 群馬<br>福島<br>山梨<br>長野<br>静岡<br>新潟 |       | 新潟<br>福島<br>群馬<br>兵庫<br>山梨<br>奈良<br>福岡<br>大阪<br>沖縄<br>長野<br>高知 |       | 群馬<br>福島<br>大阪<br>長野<br>富山<br>愛知 |       |



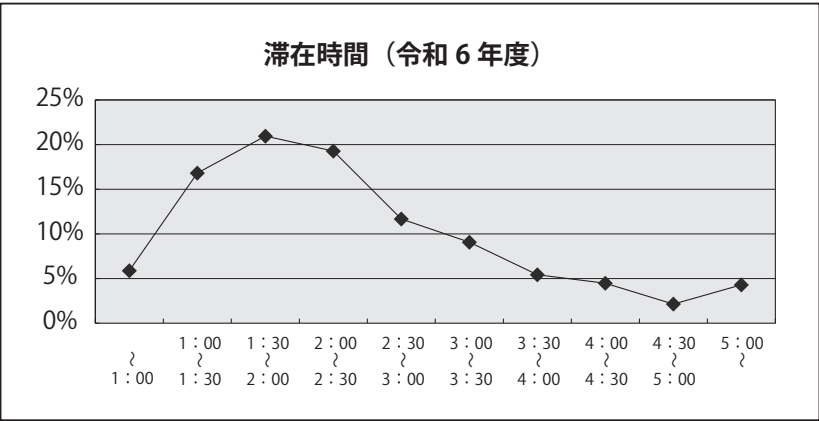
○博物館を何で知ったか

|          | H27年度 |       | H28年度 |       | H29年度 |       | H30年度 |       | R01年度 |       | R02年度 |       | R03年度 |       | R04年度 |       | R05年度 |       | R06年度 |       |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|          | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) |
| テレビ・ラジオ  | 17    | 4.8   | 13    | 3.3   | 18    | 3.4   | 12    | 2.1   | 13    | 2.6   | 12    | 7.5   | 10    | 3.0   | 28    | 4.1   | 18    | 2.1   | 22    | 2.1   |
| 新聞・雑誌    | 20    | 5.6   | 18    | 4.6   | 26    | 5.0   | 39    | 6.7   | 32    | 6.5   | 2     | 1.3   | 10    | 3.0   | 20    | 3.0   | 19    | 2.3   | 19    | 1.8   |
| ポスター・チラシ | 56    | 15.7  | 52    | 13.2  | 89    | 17.0  | 99    | 17.1  | 88    | 17.9  | 34    | 21.3  | 95    | 28.2  | 111   | 16.4  | 115   | 13.6  | 111   | 10.7  |
| 官公庁広報誌   | 6     | 1.7   | 5     | 1.3   | 7     | 1.3   | 4     | 0.7   | 4     | 0.8   | 1     | 0.6   | 0     | 0.0   | 3     | 0.4   | 10    | 1.2   | 4     | 0.4   |
| 博物館ニュース  | 3     | 0.8   | 8     | 2.0   | 11    | 2.1   | 7     | 1.2   | 2     | 0.4   | 2     | 1.3   | 28    | 8.3   | 1     | 0.1   | 13    | 1.5   | 7     | 0.7   |
| 人から聞いた   | 101   | 28.3  | 99    | 25.1  | 158   | 30.2  | 145   | 25.1  | 148   | 30.1  | 54    | 33.8  | 67    | 19.9  | 258   | 38.2  | 303   | 35.9  | 360   | 34.7  |
| インターネット  | 92    | 25.8  | 122   | 30.9  | 160   | 30.6  | 182   | 31.5  | 123   | 25.1  | 52    | 32.5  | 71    | 21.1  | 210   | 31.1  | 270   | 32.0  | 366   | 35.3  |
| 横断幕      | 4     | 1.1   | 4     | 1.0   | 7     | 1.3   | 10    | 1.7   | 8     | 1.6   | 3     | 1.9   | 0     | 0.0   | 4     | 0.6   | 20    | 2.4   | 14    | 1.3   |
| 中吊り      | 6     | 1.7   | 4     | 1.0   | 8     | 1.5   | 12    | 2.1   | 5     | 1.0   | 0     | 0.0   | 5     | 1.5   | 1     | 0.1   | 24    | 2.8   | 12    | 1.2   |
| その他      | 52    | 14.6  | 70    | 17.7  | 39    | 7.5   | 68    | 11.8  | 68    | 13.8  | 0     | 0.0   | 51    | 15.1  | 40    | 5.9   | 51    | 6.0   | 123   | 11.8  |
| 合計       | 357   | 100.0 | 395   | 100.0 | 523   | 100.0 | 578   | 100.0 | 491   | 100.0 | 160   | 100.0 | 337   | 100.0 | 676   | 100.0 | 843   | 100.0 | 1,038 | 100.0 |



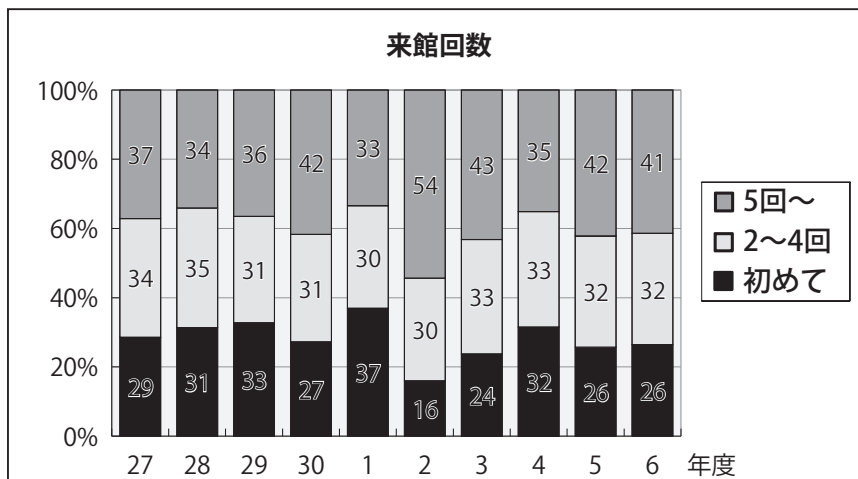
○滞在時間

|           | H27年度 |       | H28年度 |       | H29年度 |       | H30年度 |       | R01年度 |       | R02年度 |       | R03年度 |       | R04年度 |       | R05年度 |       | R06年度 |       |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|           | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) |
| ～1:00     | 19    | 2%    | 62    | 6%    | 41    | 8%    | 84    | 5%    | 67    | 4%    | 46    | 4%    | 77    | 4%    | 149   | 6%    | 170   | 6%    | 215   | 6%    |
| 1:00～1:30 | 67    | 7%    | 94    | 9%    | 25    | 5%    | 178   | 12%   | 190   | 11%   | 150   | 14%   | 278   | 15%   | 248   | 10%   | 409   | 15%   | 614   | 17%   |
| 1:30～2:00 | 130   | 13%   | 168   | 17%   | 42    | 8%    | 136   | 9%    | 173   | 10%   | 113   | 11%   | 209   | 11%   | 469   | 18%   | 550   | 20%   | 765   | 21%   |
| 2:00～2:30 | 180   | 18%   | 113   | 11%   | 159   | 29%   | 298   | 19%   | 270   | 16%   | 223   | 21%   | 429   | 23%   | 509   | 20%   | 506   | 18%   | 704   | 19%   |
| 2:30～3:00 | 123   | 12%   | 223   | 22%   | 38    | 7%    | 176   | 11%   | 191   | 11%   | 133   | 13%   | 225   | 12%   | 296   | 12%   | 346   | 12%   | 426   | 12%   |
| 3:00～3:30 | 141   | 14%   | 81    | 8%    | 33    | 6%    | 197   | 13%   | 235   | 14%   | 133   | 13%   | 200   | 11%   | 344   | 13%   | 307   | 11%   | 331   | 9%    |
| 3:30～4:00 | 58    | 6%    | 106   | 11%   | 23    | 4%    | 109   | 7%    | 139   | 8%    | 79    | 8%    | 134   | 7%    | 172   | 7%    | 167   | 6%    | 198   | 5%    |
| 4:00～4:30 | 102   | 10%   | 44    | 4%    | 16    | 3%    | 110   | 7%    | 154   | 9%    | 64    | 6%    | 93    | 5%    | 135   | 5%    | 128   | 5%    | 163   | 4%    |
| 4:30～5:00 | 56    | 6%    | 37    | 4%    | 16    | 3%    | 66    | 4%    | 87    | 5%    | 40    | 4%    | 104   | 6%    | 108   | 4%    | 84    | 3%    | 78    | 2%    |
| 5:00～     | 132   | 13%   | 81    | 8%    | 149   | 27%   | 182   | 12%   | 228   | 13%   | 65    | 6%    | 122   | 7%    | 129   | 5%    | 119   | 4%    | 157   | 4%    |
| 合計        | 1,008 | 100%  | 1,009 | 100%  | 542   | 100%  | 1,536 | 100%  | 1,734 | 100%  | 1,046 | 100%  | 1,871 | 100%  | 2,559 | 100%  | 2,786 | 100%  | 3,651 | 100%  |



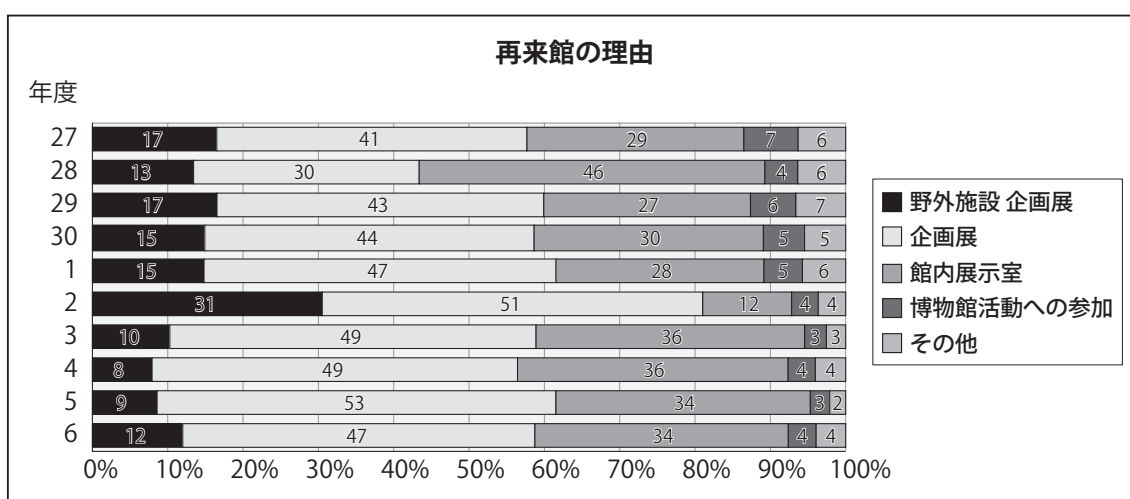
## ○来館回数

|      | H27年度 |       | H28年度 |       | H29年度 |       | H30年度 |       | R01年度 |       | R02年度 |       | R03年度 |       | R04年度 |       | R05年度 |       | R06年度 |       |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|      | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) |
| 初めて  | 332   | 29%   | 335   | 31%   | 413   | 33%   | 537   | 27%   | 497   | 37%   | 173   | 16%   | 412   | 24%   | 897   | 32%   | 727   | 26%   | 964   | 26%   |
| 2～4回 | 398   | 34%   | 369   | 35%   | 388   | 31%   | 613   | 31%   | 398   | 30%   | 321   | 30%   | 575   | 33%   | 950   | 33%   | 912   | 32%   | 1175  | 32%   |
| 5回以上 | 431   | 37%   | 364   | 34%   | 460   | 36%   | 822   | 42%   | 449   | 33%   | 588   | 54%   | 750   | 43%   | 999   | 35%   | 1,195 | 42%   | 1509  | 41%   |
| 合 計  | 1,161 | 100%  | 1,068 | 100%  | 1,261 | 100%  | 1,972 | 100%  | 1,344 | 100%  | 1,082 | 100%  | 1,737 | 100%  | 2,846 | 100%  | 2,834 | 100%  | 3,648 | 100%  |



## ○博物館へ何度も来る理由（再来館者対象・複数回答）

|           | H27年度 |       | H28年度 |       | H29年度 |       | H30年度 |       | R01年度 |       | R02年度 |       | R03年度 |       | R04年度 |       | R05年度 |       | R06年度 |       |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|           | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) | 回答数   | 比率(%) |
| 野 外 施 設   | 204   | 17%   | 74    | 13%   | 225   | 17%   | 284   | 15%   | 305   | 15%   | 412   | 31%   | 240   | 10%   | 310   | 8%    | 284   | 9%    | 504   | 12%   |
| 企 画 展     | 509   | 41%   | 165   | 30%   | 590   | 43%   | 832   | 44%   | 961   | 47%   | 682   | 51%   | 1,136 | 49%   | 1,898 | 49%   | 1,748 | 53%   | 1966  | 47%   |
| 館 内 展 示 室 | 356   | 29%   | 253   | 46%   | 373   | 27%   | 579   | 30%   | 568   | 28%   | 159   | 12%   | 833   | 36%   | 1,405 | 36%   | 1,115 | 34%   | 1414  | 34%   |
| 博物館活動への参加 | 89    | 7%    | 24    | 4%    | 82    | 6%    | 104   | 5%    | 105   | 5%    | 48    | 4%    | 67    | 3%    | 142   | 4%    | 85    | 3%    | 155   | 4%    |
| そ の 他     | 78    | 6%    | 35    | 6%    | 90    | 7%    | 104   | 5%    | 118   | 6%    | 49    | 4%    | 60    | 3%    | 157   | 4%    | 70    | 2%    | 165   | 4%    |
| 合 計       | 1,236 | 100%  | 551   | 100%  | 1,360 | 100%  | 1,903 | 100%  | 2,057 | 100%  | 1,350 | 100%  | 2,336 | 100%  | 3,912 | 100%  | 3,302 | 100%  | 4,204 | 100%  |



### 3 博物館日誌（令和6年度）

Museum Calendar 2024-2025

| 月 | 日  | 項 目                                                   |
|---|----|-------------------------------------------------------|
| 4 | 6  | ・ネイチャーガイド（第3週以外の土曜日）                                  |
|   | 7  | ・サンデーサイエンス「お魚のペーパークラフトをつくろう」（4月毎日曜日）                  |
|   | 7  | ・ミニ移動博物館（逆井城まつり、逆井城公園）                                |
|   | 13 | ・自然ラボ（観察会）「石切山脈見学ツアー」                                 |
|   | 13 | ・友の会イベント「春のミニミニ園工祭り」                                  |
|   | 14 | ・自然ラボ（観察会）「アンモナイト発掘体験」（vs 展記念イベント）                    |
|   | 20 | ・ふれあい野外ガイド（毎月第3土曜日）                                   |
|   | 20 | ・自然ラボ（観察会）「石切山脈見学ツアー」                                 |
|   | 21 | ・ジュニア学芸員養成講座 開講式                                      |
|   | 24 | ・移動博物館（茨城県立図書館）（～ 5/8）                                |
|   | 27 | ・サイエンストーク「タネと野菜のおはなし」                                 |
| 5 | 4  | ・サイエンスデー（生物・科学の日）（無料入館日）                              |
|   | 4  | ・ネイチャーガイド（第3週以外の土曜日）                                  |
|   | 5  | ・サンデーサイエンス「木の葉の化石を見つけよう」（5月毎日曜日）                      |
|   | 11 | ・第89回企画展「恐竜 vs 哺乳類」10万人達成記念式典                         |
|   | 11 | ・子ども自然教室「博物館で春の昆虫を観察しよう」                              |
|   | 11 | ・友の会会員限定イベント「博物館で化石や鉱物を探そう！」                          |
|   | 12 | ・ジュニア学芸員養成講座                                          |
|   | 12 | ・ミニ移動博物館（常総千姫まつり、常総市市民のひろば）                           |
|   | 18 | ・ふれあい野外ガイド（毎月第3土曜日）                                   |
|   | 19 | ・自然ラボ（観察会）「タチスミレを観察しよう」                               |
|   | 25 | ・わくわくディスカバリー「ペットボトルでアクアリウムをつくろう」                      |
|   | 25 | ・自然ラボ（観察会）「磯の動物を観察しよう」                                |
|   | 26 | ・自然ラボ（講座）「ふたりのプロが教える！恐竜の骨格図と生態復元イラストの描き方」（vs 展記念イベント） |
| 6 | 1  | ・ネイチャーガイド（第3週以外の土曜日）                                  |
|   | 1  | ・ミニ移動博物館（歴史館まつり、茨城県立歴史館）                              |
|   | 2  | ・サンデーサイエンス「葉脈標本をつくろう」（6月毎日曜日）                         |
|   | 5  | ・サイエンスデー（地球・科学の日）（無料入館日）                              |
|   | 8  | ・子ども自然教室「新緑の森、見て触って、たくさんの自然を探そう」                      |
|   | 9  | ・第89回企画展「恐竜 vs 哺乳類—化石から読み解く進化の物語—」（3/2～）最終日           |
|   | 9  | ・ジュニア学芸員養成講座                                          |
|   | 15 | ・ふれあい野外ガイド（毎月第3土曜日）                                   |
|   | 18 | ・臨時休館＜館内燻蒸＞（～ 6/21）                                   |
|   | 22 | ・わくわくディスカバリー「お部屋に飾ろう☆七夕ガーランド」                         |
|   | 22 | ・ミニ移動博物館（観光物産課 茨城観光キャンペーン、イオンモール浦和美園）                 |
|   | 27 | ・移動博物館（日立市立油縄子小学校）（～ 7/3）                             |
| 7 | 6  | ・第90回企画展「羊歯—花はないけど、華はある—」内覧会及び一般公開（～ 10/6）            |
|   | 6  | ・ネイチャーガイド（第3週以外の土曜日）                                  |
|   | 7  | ・サンデーサイエンス「動物のうんちをつくろう！」（7月毎日曜日）                      |
|   | 13 | ・理科自由研究のヒントを見つけよう                                     |
|   | 13 | ・子ども自然教室「土壌のミニモノリスをつくろう」                              |
|   | 13 | ・ジュニア学芸員養成講座                                          |
|   | 15 | ・海の日特別イベント                                            |
|   | 19 | ・友の会会員限定イベント「令和のヘイケボタル物語」                             |
|   | 20 | ・ふれあい野外ガイド（毎月第3土曜日）                                   |
|   | 20 | ・ミニ移動博物館（イオンモールつくば）（～ 7/21）                           |
|   | 25 | ・サイエンストーク「海生哺乳類の化石発見！」                                |
|   | 27 | ・わくわくディスカバリー「カメのサンキャッチャーをつくろう」                        |
|   | 31 | ・自然ラボ（観察会）「博物館で昆虫を観察しよう」                              |
| 8 | 3  | ・ネイチャーガイド（第3週以外の土曜日）                                  |
|   | 3  | ・ジュニア学芸員養成講座 中間報告会（オンライン）                             |
|   | 4  | ・サンデーサイエンス「シダをフロッタージュで描こう」（8月毎日曜日）                    |
|   | 9  | ・自然ラボ（講座）「シダトーク！！～シダの魅力を語るん会～」（羊歯展記念イベント）             |
|   | 10 | ・子ども自然教室「ちりめんモンスター図鑑をつくろう」                            |
|   | 11 | ・山の日特別イベント                                            |
|   | 17 | ・ふれあい野外ガイド（毎月第3土曜日）                                   |
|   | 21 | ・自然ラボ（講座）「ゲッチョ先生の「シダの扉」をあけてみよう！」（羊歯展記念イベント）           |
|   | 21 | ・移動博物館（八千代町立図書館）（～ 8/27）                              |
|   | 24 | ・わくわくディスカバリー「アサガオのクリアしおりをつくろう」                        |
|   | 25 | ・ジュニア学芸員養成講座                                          |
|   | 25 | ・ミニ移動博物館（阿見アウトレット恐竜関連イベント、阿見アウトレット）                   |
|   | 31 | ・友の会会員限定イベント「シダのテラリウムをつくろう！」                          |
| 9 | 1  | ・サンデーサイエンス「貝化石の観察をしよう」（9月毎日曜日）                        |
|   | 6  | ・移動博物館（茨城県立美浦特別支援学校）（～ 9/12）                          |
|   | 7  | ・第90回企画展「羊歯」10万人達成記念式典                                |
|   | 7  | ・ネイチャーガイド（第3週以外の土曜日）                                  |
|   | 14 | ・子ども自然教室「石の図鑑をつくろう」                                   |
|   | 14 | ・ミニ移動博物館（カシマSC、カシマススポーツセンター体育館）                       |
|   | 19 | ・移動博物館（常陸太田市立峰山中学校）（～ 9/26）                           |
|   | 21 | ・ふれあい野外ガイド（毎月第3土曜日）                                   |
|   | 21 | ・サイエンストーク「茨城の外来鳥類」                                    |
|   | 21 | ・友の会会員限定イベント「中秋の Moonlight 伝説」                        |
|   | 27 | ・移動博物館（つくば市立竹園西小学校）（～ 10/3）                           |
|   | 28 | ・わくわくディスカバリー「月の満ち欠けくるくるスピナーをつくろう」                     |
|   | 29 | ・ジュニア学芸員養成講座 研究報告会・認定式                                |



「恐竜 vs 哺乳類」展10万人達成式典  
Celebration of 100,000 Visitors to the 89th Special Exhibition



「羊歯」展内覧会  
Private Viewing of the 90th Special Exhibition



ミニ移動博物館  
Mini mobile museum



「羊歯」展10万人達成式典  
Celebration of 100,000 Visitors to the 90th Special Exhibition

| 月  | 日  | 項 目                                                              |
|----|----|------------------------------------------------------------------|
| 10 | 5  | ・自然ラボ（講座）「宇宙大公開ー生命の故郷を訪ねてー」                                      |
|    | 5  | ・ネイチャーガイド（第3週以外の土曜日）                                             |
|    | 5  | ・友の会イベント「古典植物のマツバランを育てよう！」                                       |
|    | 6  | ・第90回企画展「羊歯ー花はないけど、華はあるー」（7/6～）最終日                               |
|    | 6  | ・サンデーサイエンス「とぶタネで遊ぼう」（10月毎日曜日）                                    |
|    | 10 | ・移動博物館（桜川市立大和中学校）（～10/18）                                        |
|    | 12 | ・子ども自然教室「きのこハンター」                                                |
|    | 13 | ・ミニ移動博物館（レイクエコージョブフェスタ2024、鹿行生涯学習センター）                           |
|    | 19 | ・自然ラボ（観察会）「キノコを観察しよう」（30周年記念イベント）                                |
|    | 19 | ・ふれあい野外ガイド（毎月第3土曜日）                                              |
|    | 26 | ・わくわくディスカバリー「トリックオアトリート！カボチャのオーナメントづくり」                          |
|    | 26 | ・ミニ移動博物館（あすなろの秋祭り、あすなろの里）                                        |
| 11 | 1  | ・移動博物館（茨城県立常陸太田特別支援学校）（～11/7）                                    |
|    | 1  | ・第91回企画展「ミュージアムパーク30年のありったけーいつも茨城県自然博物館はおもしろい！ー」<br>内覧会          |
|    | 2  | ・第91回企画展「ミュージアムパーク30年のありったけーいつも茨城県自然博物館はおもしろい！ー」<br>一般公開（～6/1）   |
|    | 2  | ・ネイチャーガイド（第3週以外の土曜日）                                             |
|    | 3  | ・自然ラボ（講座）「恐竜時代の幕開け、その時存在した森とは？」（30周年記念イベント）                      |
|    | 3  | ・サンデーサイエンス「水の生きものの樹脂標本をつくろう」（11月毎日曜日）                            |
|    | 9  | ・子ども自然教室「自然とのふれあい」                                               |
|    | 10 | ・ミニ移動博物館（将門まつり、坂東市）                                              |
|    | 13 | ・サイエンスデー（茨城・科学の日）無料入館日、サイエンスデーイベント                               |
|    | 16 | ・自然ラボ（講座）「クマ、シカ、カモシカは茨城県にいるの？ー変わりゆく野生動物の分布ー」（30周年記念イベント）         |
|    | 23 | ・自然ラボ（講座）「博物館から始める最新恐竜学」（30周年記念イベント）                             |
|    | 23 | ・わくわくディスカバリー「ブラバンでつくろう！昆虫キーホルダー」                                 |
|    | 30 | ・自然ラボ（講座）「みてみよう！いきものミクロ☆たんけん隊」（30周年記念イベント）                       |
|    | 30 | ・ミニ移動博物館（子育てフェスタ、イースつくば）（～12/1）                                  |
| 12 | 1  | ・友の会会員限定クリスマスイベント「ミニサンタを探せ！」（～12/25）                             |
|    | 1  | ・サンデーサイエンス「木の葉の化石を見つけよう」（12月毎日曜日）                                |
|    | 4  | ・第1回博物館協議会                                                       |
|    | 4  | ・移動博物館（鹿嶋市立高松小学校）（～12/10）                                        |
|    | 7  | ・ネイチャーガイド（第3週以外の土曜日）                                             |
|    | 7  | ・子ども自然教室「押し花を使ってメッセージカードをつくろう」                                   |
|    | 7  | ・友の会会員限定イベント「雲と雪のワクワク実験教室」                                       |
|    | 11 | ・移動博物館（大子町立さはら小学校）（～12/17）                                       |
|    | 14 | ・子ども自然教室「冬の博物館で野鳥を探そう」                                           |
|    | 21 | ・ふれあい野外ガイド（毎月第3土曜日）                                              |
|    | 25 | ・第2回事業者連絡協議会                                                     |
|    | 28 | ・年末・年始休館（～1/1）                                                   |
| 1  | 2  | ・新年開館                                                            |
|    | 2  | ・お正月イベント（～1/3）                                                   |
|    | 4  | ・ネイチャーガイド（第3週以外の土曜日）                                             |
|    | 5  | ・サンデーサイエンス「バードコールをつくろう」（1月毎日曜日）                                  |
|    | 11 | ・サイエンストーク「冬の田んぼで会えるコケ」                                           |
|    | 11 | ・子ども自然教室「土壌のミニモノリスを作ろう！！」                                        |
|    | 16 | ・移動博物館（山王公民館）（～1/22）                                             |
|    | 18 | ・自然ラボ（観察会）「菅生沼で野鳥を観察しよう」                                         |
|    | 18 | ・ボランティア養成講座                                                      |
|    | 18 | ・ふれあい野外ガイド（毎月第3土曜日）                                              |
|    | 23 | ・移動博物館（阿見町立舟島小学校）（～1/29）                                         |
|    | 25 | ・友の会会員限定イベント「博物館で野鳥をみつkeyよう」                                     |
|    | 26 | ・自然ラボ（観察会）「野焼きがタチサミレを救う」（30周年記念イベント）                             |
|    | 2  | ・ネイチャーガイド（第3週以外の土曜日）                                             |
|    | 2  | ・サンデーサイエンス「竹筆をつくろう」（2月毎日曜日）                                      |
|    | 7  | ・ミニ移動博物館（TXPLAZA 秋葉原）（～2/9）                                      |
|    | 8  | ・サイエンストーク「フタバズギリュウを食べたサメ「クレタラムナ」の謎」                              |
|    | 8  | ・子ども自然教室「化石をスケッチしてみよう」                                           |
|    | 11 | ・第91回企画展「ミュージアムパーク30年のありったけ」10万人達成記念式典                           |
|    | 15 | ・サイエンストーク「茨城県南西部のチョウとクマゼミについて」                                   |
|    | 15 | ・ふれあい野外ガイド（毎月第3土曜日）                                              |
|    | 15 | ・ミニ移動博物館（環境学習フェスタ、霞ヶ浦環境科学センター）                                   |
|    | 16 | ・第91回企画展「ミュージアムパーク30年のありったけーいつも茨城県自然博物館はおもしろい！ー」<br>（11/2～）前期最終日 |
|    | 16 | ・アミューズデーイベント（友の会との共催）                                            |
|    | 18 | ・館内整理のための臨時休館（～2/21）                                             |
|    | 22 | ・第91回企画展「ミュージアムパーク30年のありったけーいつも茨城県自然博物館はおもしろい！ー」<br>（～6/1）後期開始日  |
| 3  | 1  | ・自然ラボ（観察会）「昆虫の森を再生しよう」（30周年記念イベント）                               |
|    | 1  | ・ネイチャーガイド（第3週以外の土曜日）                                             |
|    | 1  | ・ミニ移動博物館（イオンモール土浦）（～3/2）                                         |
|    | 2  | ・サンデーサイエンス「貝化石の観察をしよう」（3月毎日曜日）                                   |
|    | 7  | ・第2回博物館協議会                                                       |
|    | 15 | ・ふれあい野外ガイド（毎月第3土曜日）                                              |
|    | 16 | ・友の会会員限定イベント ミュージアム・フレンズデー「バスで行くつくば満喫ツアー」                        |
|    | 20 | ・サイエンスデー（宇宙・科学の日）無料入館日                                           |
|    | 22 | ・自然ラボ（講座）「茨城県自然博物館でみられる土の中の虫たち」                                  |
|    | 29 | ・ミニ移動博物館（もりもり子育てフェスタ in 水戸市民会館、水戸市民会館）                           |



「30年のありったけ」展オープニングセレモニー  
The 91th Special Exhibition's Opening Ceremony



「30年のありったけ」展内覧会  
Private Viewing of the 91th Special Exhibition



「30年のありったけ」展10万人達成式典  
Celebration of 100,000 Visitors to the 91th Special Exhibition



サイエンスデー  
Science Day Event

# Ⅲ 管理運営

## Organization and Management

### 1 組織

Staff and Structure

茨城県自然博物館組織図（令和7年3月31日現在）

|            |             |                |               |
|------------|-------------|----------------|---------------|
| 館 長 横山一己   |             |                |               |
| 副 館 長 菅野弘司 |             |                |               |
|            |             |                |               |
|            |             |                |               |
|            |             |                |               |
| 管 理 課      | 企 画 課       | 教 育 課          | 資 料 課         |
| 管理課長 江原章子  | 企画課長 岸川将史   | 教育課長 国府田誠一（植物） | 資料課長 池澤広美（動物） |
| 主査 小島道也    | 首席学芸員（学芸総括） | 首席学芸主事         | 首席学芸主事        |
| 係長 平川正樹    | 小池 渉（地学）    | 佐藤一康（地学）       | 吉川広輔（地学）      |
| 主事 篠崎 樹    | 係長 井土ひろみ    | 〃 豊崎賢二（植物）     | 主任学芸主事        |
| 〃 根本璃久     | 主任 田宮奈津美    | 主任学芸主事         | 石塚勇太（地学）      |
| 主査 佐藤浩二郎   | 主事 川村詩音     | 〃 佐野拓哉（動物）     | 〃 鈴木亮輔（植物）    |
| 〃 針谷 武     | 主査 新谷 勝     | 主任学芸員          | 〃 吉田 佑（動物）    |
| 副主査 塚田芳美   | 〃 栗栖宣博（植物）  | 〃 鶴沢美穂子（植物）    | 〃 櫛引豪人（植物）    |
| 8人         | 〃 石塚武彦（動物）  | 主任学芸主事         | 副主任学芸員        |
|            | 副主査 池田洋子    | 北澤佑子（動物）       | 後藤優介（動物）      |
|            | 9人          | 主査 寺田和央（植物）    | 〃 加藤太一（地学）    |
|            |             | 〃 木村 靖（動物）     | 〃 伊藤彩乃（植物）    |
|            |             | 〃 土田十司作（地学）    | 主査 小林正雄（動物）   |
|            |             | 〃 滝本秀夫（地学）     | 〃 久松正樹（動物）    |
|            |             | 〃 村田一弘（地学）     | 〃 高橋 淳（地学）    |
|            |             | 〃 服部仁一（植物）     | 12人           |
|            |             | 12人            |               |
| 展示解説員 21人  |             |                | 学芸補助員 3人      |
| 飯倉美波       |             |                | 飯田勝明（植物）      |
| 岩本静夏       |             |                | 真中幸子（動物）      |
| 木下春菜       |             |                | 松尾武祥（地学）      |
| 坂本由香理      |             |                | 事務支援員 1人      |
| 中村優太       |             |                | 林 倫江          |
| 昼間佳奈子      |             |                | 事務職員 1人       |
| 宮澤美里       |             |                | 染谷佑香          |
|            | 井口結賀        | 石川優里           |               |
|            | 大和田瑞貴       | 小野田裕介          |               |
|            | 木村弥生        | 栗崎香菜           |               |
|            | 滝本麻衣子       | 龍田 愛           |               |
|            | 羽田茉莉乃       | 原田紗里           |               |
|            | 真柄紫保        | 森田麻友           |               |
|            | 渡部花歩        | 渡辺優子           |               |

\*（ ）内は、各学芸系職員の所属研究室を示す。

## 2 予算・決算

Financial Summary

### (1) 令和6年度歳入状況

(単位：円)

| 科 目           | 内 訳     | 調定額         | 収入済額        | 不納欠損額 | 収入未済額 | 備 考 |
|---------------|---------|-------------|-------------|-------|-------|-----|
| 使用料および<br>手数料 | 入館料     | 149,686,450 | 149,686,450 | 0     | 0     |     |
|               | 行政財産使用料 | 5,027,082   | 5,027,082   | 0     | 0     |     |
|               | 小 計     | 154,713,532 | 154,713,532 | 0     | 0     |     |
| 諸収入           |         | 5,136,018   | 5,136,018   | 0     | 0     |     |
| 合 計           |         | 159,849,550 | 159,849,550 | 0     | 0     |     |

### (2) 令和6年度歳出予算

自然博物館費

(単位：千円)

| 事         |         | 業             | 名   | 予算額     | 備                     | 考 |  |
|-----------|---------|---------------|-----|---------|-----------------------|---|--|
| 管理運営費     | 管理運営費   | 会計年度任用職員雇用等経費 |     | 86,716  | 会計年度任用職員雇用経費          |   |  |
|           |         | 施設設備保守管理委託経費  |     | 223,433 | 館内清掃、警備、設備運転など        |   |  |
|           |         | 管理に付随する各種手数料  |     | 2,849   | ごみ収集、浄化槽汚泥抜など         |   |  |
|           |         | 光熱水費          |     | 90,774  | 電気料、水道料など             |   |  |
|           |         | その他の事務費       |     | 24,656  | 事務経費                  |   |  |
|           |         |               | 小 計 | 428,428 |                       |   |  |
| 自然博物館協議会費 |         | 自然博物館協議会費     |     | 305     | 委員報酬、旅費               |   |  |
| 管理運営費計    |         |               |     | 428,733 |                       |   |  |
| 展示事業費     | 常設展費    | 常設展費          |     | 22,260  | 展示メンテナンス委託料など         |   |  |
|           | 企画展費    | 第89回企画展費      |     | 2,142   | 恐竜 vs 哺乳類展            |   |  |
|           |         | 第90回企画展費      |     | 26,555  | シダ展                   |   |  |
|           |         | 第91回企画展費      |     | 44,588  | 30周年博物館展              |   |  |
|           |         | 次年度以降企画展準備費   |     | 32,104  | 恐竜じゃない展など             |   |  |
|           |         |               | 小 計 | 105,389 |                       |   |  |
| 展示事業費計    |         |               |     | 127,649 |                       |   |  |
| 資料整備費     | 資料整備費   | 資料整備費         |     | 13,533  |                       |   |  |
|           | 資料管理費   | 資料管理費         |     | 9,258   |                       |   |  |
|           | 学術調査研究費 | 学術調査研究費       |     | 4,313   |                       |   |  |
|           | 資料整備費計  |               |     |         | 27,104                |   |  |
| 教育普及費     | 教育普及事業費 | 教育普及事業費       |     | 3,037   | 学校教育・社会教育と連動した教育普及活動費 |   |  |
|           | 教育普及費計  |               |     |         | 3,037                 |   |  |
| 企画広報費     | 広報活動事業費 | 広報活動事業費       |     | 1,214   | 広告代、パンフレット印刷代など       |   |  |
|           | 企画広報費計  |               |     |         | 1,214                 |   |  |
| 合計        |         |               |     |         | 587,737               |   |  |

文化施設整備費

| 事 業 名    | 予算額     | 備 考                     |
|----------|---------|-------------------------|
| 文化施設整備費  | 9,548   | 非常用ガスタービン発電装置機関制御装置交換工事 |
| 文化施設整備費計 | 9,548   |                         |
| 総合計      | 597,285 |                         |

### 3 施設整備など

Facility Maintenance

#### (1) 主な施設整備

| 番号 | 整備名称                 | 整備内容                    |
|----|----------------------|-------------------------|
| 1  | 高圧コンデンサ盤ほか更新         | 経年劣化した高圧コンデンサ盤、饋電盤ほかを更新 |
| 2  | ガスタービン発電装置機関制御装置更新   | 老朽化した機関制御装置の更新          |
| 3  | あめんぼデッキ解体撤去          | 老朽化したあめんぼデッキの解体撤去       |
| 4  | 海水処理槽防錆塗装            | 混和槽、汚泥貯留槽、重力式沈殿分離槽の塗装   |
| 5  | 高木伐採(下記 野外管理業務委託で実施) | どんぐりの森、昆虫の森の高木、老木の伐採    |

#### (2) 管理運営委託事業一覧

| 番号 | 委託事業名               | 委託先                 | 委託期間                    | 委託内容                           |
|----|---------------------|---------------------|-------------------------|--------------------------------|
| 1  | 機械警備業務              | セコム(株)              | R6. 4. 1 ~<br>R11. 3.31 | 本館、自然発見工房および野外券売所の機械警備         |
| 2  | 常駐警備業務              | 東京警備保障(株)           | R4. 4. 1 ~<br>R7. 3.31  | 本館、自然発見工房および野外施設の警備業務          |
| 3  | 設備運転保守管理業務          | (株)オーチャー茨城支店        | R6. 4. 1 ~<br>R9. 3.31  | 電気、空調、給排水設備の運転・保守管理および環境衛生管理業務 |
| 4  | 館内清掃業務              | (株)セントラル            | R6. 4. 1 ~<br>R7. 3.31  | 本館、自然発見工房および野外券売所の清掃業務         |
| 5  | エレベーター保守点検業務        | (株)日立ビルシステム<br>関東支社 | R6. 4. 1 ~<br>R9. 3.31  | 本館内各種エレベーターの保守点検業務             |
| 6  | 自動扉開閉装置保守点検業務       | 茨城寺岡オートドア(株)        | R6. 4. 1 ~<br>R9. 3.31  | 自動扉の定期点検業務                     |
| 7  | 消防設備保守点検業務          | 高橋興業(株)             | R6. 4. 1 ~<br>R9. 3.31  | 火災報知設備、消火設備の保守点検業務             |
| 8  | 合併浄化槽維持管理業務         | (株)アビック             | R6. 4. 1 ~<br>R9. 3.31  | 合併浄化槽の運転管理および処理水の水质検査業務        |
| 9  | 水系展示施設水処理設備保守点検業務   | 新生ビルテクノ(株)北関東支店     | R6. 4. 1 ~<br>R9. 3.31  | 水系展示用循環浄化装置などの保守点検業務           |
| 10 | 水系展示水槽管理業務          | (公財) いばらき文化振興財団     | R6. 4. 1 ~<br>R7. 3.31  | 水系展示用魚類の飼育および水槽設備管理業務          |
| 11 | 空調設備および自動制御機器保守点検業務 | (株)サイオー             | R6. 4. 1 ~<br>R9. 3.31  | 空調設備の保守点検業務                    |
| 12 | 自動券売機保守点検           | (株)エルコム             | R4. 4. 1 ~<br>R7. 3.31  | 自動券売機保守点検業務                    |
| 13 | 野外施設管理設計積算および施工管理業務 | (一財) 茨城県建設技術公社      | R6. 4. 1 ~<br>R7. 3.31  | 野外施設管理業務(設計積算)および施工管理業務        |
| 14 | 野外施設管理業務(第1工区)      | (株)貝沢造園土木           | R6. 4. 1 ~<br>R7. 3.31  | 野外施設の管理業務(第1工区)                |
| 15 | 野外施設管理業務(第2工区)      | (株)古谷植物園            | R6. 4. 1 ~<br>R7. 3.31  | 野外施設の管理業務(第2工区)                |
| 16 | 野外施設管理業務(第3工区)      | (有)中山造園土木           | R6. 4. 1 ~<br>R7. 3.31  | 野外施設の管理業務(第3工区)                |
| 17 | 野外施設管理業務(第4工区)      | 常緑工業(株)             | R6. 4. 1 ~<br>R7. 3.31  | 野外施設の管理業務(第4工区)                |
| 18 | 野外施設管理業務(第5工区)      | (株)岩井造園土木           | R6. 4. 1 ~<br>R7. 3.31  | 野外施設の管理業務(第5工区)                |
| 19 | 収蔵庫・展示室の環境調査業務      | 関東港業(株)             | R6. 5.15 ~<br>R6.12.15  | 収蔵庫・展示室の環境調査業務                 |
| 20 | 収蔵庫の燻蒸業務            | (株)フミテック            | R6. 6. 1 ~<br>R6. 9.29  | 動物・植物収蔵庫ほかの燻蒸業務                |
| 21 | 燻蒸釜保守点検業務           | IPM サポート(株)         | R6. 5.31 ~<br>R7. 3.31  | 燻蒸釜の燻蒸釜保守点検業務                  |

## 4 博物館協議会

Trust Committee

### (1) 博物館協議会開催状況

- ・令和6年度第1回博物館協議会  
期 日：令和6年12月4日（水）  
場 所：自然博物館セミナーハウス A  
出席者：委員11人、事務局  
議 題：①令和6年度前期事業の報告について  
②令和6年度後期事業計画について  
③予算・決算などについて
  
- ・令和6年度第2回博物館協議会  
期 日：令和7年3月7日（金）  
場 所：自然博物館講座室  
出席者：委員10人、事務局  
議 題：①令和6年度後期事業の報告について  
②令和7年度事業計画について  
③中期計画2025について

### (2) 博物館協議会委員名簿

令和7年3月31日現在（敬称略・五十音順）

| 委員氏名     | 役 職 等                                         | 住 所      |
|----------|-----------------------------------------------|----------|
| 浅 野 直 俊  | 茨城県教育研究会理科教育研究部 部長<br>水戸市立上中妻小学校 校長           | 水戸市      |
| 荒 木 郁 子  | 公募委員                                          | 常総市      |
| 川 股 圭 之  | 首都圏新都市鉄道株式会社 常務取締役                            | 筑西市      |
| 坂 本 和 弘  | 元東京都葛西臨海水族園 園長                                | 埼玉県さいたま市 |
| 杉 山 重 雄  | 一般社団法人茨城県子ども会育成連合会 副理事長                       | 筑西市      |
| 高 尾 戸 美  | 合同会社マープルワークショップ 代表<br>日本ミュージアム・マネジメント学会 関東支部長 | 岡山県倉敷市   |
| ○生田目 美 紀 | 京都女子大学 教授<br>筑波技術大学 名誉教授                      | 京都府京都市   |
| ◎樋 口 正 信 | 国立科学博物館 名誉研究員<br>元国立科学博物館植物研究部長、元筑波実験植物園長     | つくば市     |
| 藤 咲 富士子  | 一般社団法人ガールスカウト茨城県連盟 副連盟長                       | 那珂市      |
| 矢 崎 和 子  | 茨城県国公立幼稚園・子ども園長会副会長<br>美浦村立美浦幼稚園 園長           | 美浦村      |
| 吉 富 友 恭  | 東京学芸大学 教授                                     | 東京都小平市   |
| 鷲 田 美 加  | 株式会社 RION 代表取締役                               | 取手市      |
| 渡 辺 祐 子  | 日本放送協会水戸放送局 局長                                | 水戸市      |

◎委員長 ○副委員長

## 5 資料評価委員会

Material Appraisal Committee

### (1) 資料評価委員会名簿

令和7年3月31日現在（敬称略・分野別五十音順）

| 分 野 | 氏 名     | 所 属 ・ 職 名                                                                |
|-----|---------|--------------------------------------------------------------------------|
| 動 物 | 山 田 文 雄 | 沖縄大学 客員教授<br>沖縄大学地域研究所 特別研究員                                             |
|     | 山 根 爽 一 | 茨城県生物多様性センター長<br>茨城大学 名誉教授                                               |
| 植 物 | 遠 藤 泰 彦 | 茨城大学理学部 名誉教授                                                             |
|     | 中 村 俊 彦 | 放送大学 客員教授<br>(元 千葉県立中央博物館副館長併任 千葉県生物多様性センター 副技監)                         |
| 地 学 | 安 藤 寿 男 | 茨城大学 名誉教授<br>茨城大学理学部 / 理工学研究科（理学野）地球環境科学領域 特命研究員                         |
|     | 真 鍋 真   | 国立科学博物館 副館長 兼標本資料センターコレクションディレクター 兼<br>分子生物多様性研究資料センター長 兼群馬県立自然史博物館 特別館長 |

## 6 助言者会議

Advisory Committee

### (1) 助言者会議実施状況

- ・令和6年度資料評価委員会・助言者会議（調査研究の部）合同会議

日 時：令和6年6月4日（火）

場 所：自然博物館講座室

出席者：助言者11人（オンラインでの参加2人）、事務局

議 題：

- ①令和5年度の事業報告
- ②令和6年度の事業計画
- ③その他

- ・令和6年度助言者会議（教育普及の部）

日 時：令和6年7月24日（水）

場 所：講座室

出席者：助言者11人（オンラインでの参加3人）、事務局

議 題：

- ①令和5年度重点事業の実施報告
- ②令和6年度の重点事業
- ③その他

### (2) 助言者委員名簿

【教育普及（EDUCATION ADVISOR）】

令和7年3月31日現在（敬称略・五十音順）

| No. | 氏 名     | 所 属 ・ 職 名                     | 分 野        |
|-----|---------|-------------------------------|------------|
| 1   | 浅 野 直 俊 | 水戸市立上中妻小学校<br>茨城県教育研究会理科教育研究部 | 理科教育（小中）   |
| 2   | 大 辻 永   | 東洋大学理工学部                      | 科学教育       |
| 3   | 大 山 真 理 | 茨城県教育庁総務企画部生涯学習課              | 生涯学習       |
| 4   | 片 平 克 弘 | 筑波大学                          | 理科教育       |
| 5   | 郡 司 晴 元 | 茨城大学学術研究院教育学野                 | 博物館運営      |
| 6   | 斎 須 久 依 | 茨城大学教育学部附属幼稚園                 | 幼児教育       |
| 7   | 佐 藤 留 美 | 特定非営利活動法人 NPO birth（バース）      | 環境教育・市民活動  |
| 8   | 中 川 卓 浩 | 茨城県教育庁学校教育部義務教育課              | 理科教育       |
| 9   | 中 村 千 秋 | 茨城県立つくば特別支援学校                 | 特別支援       |
| 10  | 浜 田 健 志 | 茨城県立勝田工業高等学校<br>茨城県高等学校教育研究会  | 理科教育（高等学校） |
| 11  | 福 田 洋 子 | 公益社団法人全国幼児教育研究協会茨城支部          | 幼児教育       |
| 12  | 山 本 容 子 | 筑波大学人間系                       | 環境教育       |

【調査研究（RESEARCH ADVISOR）】

令和7年3月31日現在（敬称略・分野別五十音順）

| 分野 | 氏 名     | 所 属 ・ 職 名                                                            | 備 考                    |
|----|---------|----------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 動物 | 加 納 光 樹 | 茨城大学地球・地域環境共創機構 水圏環境フィールドステーション 教授                                   | 保全生物学（魚類）              |
|    | 森 野 浩   | 茨城大学 名誉教授                                                            | 動物系統分類学（水生無脊椎動物、特に甲殻類） |
|    | 山 田 文 雄 | 沖縄大学 客員教授<br>沖縄大学地域研究所 特別研究員                                         | 動物生態学、保全生物学（哺乳類）       |
|    | 山 根 爽 一 | 茨城県生物多様性センター長<br>茨城大学 名誉教授                                           | 動物生態学・行動学（特に昆虫）        |
| 植物 | 伊 村 智   | 国立極地研究所 副所長                                                          | 植物生態学（コケ植物）            |
|    | 遠 藤 泰 彦 | 茨城大学 名誉教授                                                            | 植物分類学、植物系統学（維管束植物）     |
|    | 岡 部 宏 秋 | 元森林総合研究所 森林微生物研究領域微生物生態研究室 室長                                        | 森林生態学（特に菌類）            |
|    | 中 村 俊 彦 | 放送大学 客員教授（元 千葉県立中央博物館 副館長併任<br>千葉県生物多様性センター 副技監）                     | 植物生態学（維管束植物）           |
| 地学 | 安 藤 寿 男 | 茨城大学 名誉教授<br>茨城大学理学部 / 理工学研究科（理学野）地球環境科学領域 特命研究員                     | 層序・古生物学、地質学            |
|    | 門 馬 綱 一 | 国立科学博物館地学研究部鉱物科学研究グループ 研究主幹                                          | 鉱物学、結晶学                |
|    | 鈴 木 毅 彦 | 東京都立大学都市環境学部 教授                                                      | 第四紀学、地形学               |
|    | 真 鍋 真   | 国立科学博物館 副館長 兼標本資料センターコレクションディレクター 兼分子生物多様性研究資料センター長 兼群馬県立自然史博物館 特別館長 | 古生物（脊椎動物）              |

## 施設概要

### (1) 工事関係

- ① 設計 仙田 満＋(株)環境デザイン研究所
- ② 管理  
建築・展示 仙田 満＋(株)環境デザイン研究所  
野外 (財)茨城県建設技術公社・仙田 満  
＋(株)環境デザイン研究所

### ③ 施工

#### 第1工区

- ア 建築 大成・武藤・正栄 J V
- イ 電気 和光・三光 J V
- ウ 空調衛生 須賀・小島 J V

#### 第2工区

- ア 建築 大林・日産・小薬 J V
- イ 電気 六興・共和 J V
- ウ 空調衛生 菱和・関彰 J V

昇降機 日立東ビルシステム販売(株)

浄化槽 大日本インキ化学工業(株)

展示工事 (株)丹青社

#### 外構工事

第1工区 正栄工業(株)

第2工区 (株)三和建設

野外施設 (株)中村組他34社

#### 自然観察遊歩道橋架橋工事

上部工 (株)フジタ

下部工 川田建設(株)

- ④ 建設事業費 18,883百万円
- 用地購入費 1,271百万円
- 本館建設工事費 7,864百万円
- 展示工事費 2,997百万円
- 資料整備費 1,252百万円
- 野外施設工事費 2,789百万円
- 遊歩道橋架橋工事費 923百万円
- 自然発見工房工事費 150百万円
- 進入道路工事費 165百万円
- 備品購入費 417百万円
- その他 1,055百万円

### (2) 本館施設

#### ① 建築の概要

敷地面積 15.8ha

建築面積 7,079.23㎡

延床面積 11,995m<sup>2</sup>  
構造規模 RC 造、一部 S 造  
地上2階（一部地下1階、地上3階）  
軒高 20.25m（最高高さ21.85m）  
天井高さ 4.5m （展示室）

② 外部仕上げの概要

屋根 亜鉛合金板一文字葺  
アスファルト断熱防水  
外壁 珪器質タイル貼  
外構 乱石貼  
建具 アルミサッシ

③ 内部仕上げの概要

- ・ エントランスルーム  
床 サビ御影石、ショットブラスト、一部本磨  
壁 珪器質タイル貼  
天井 アルミシステム天井
- ・ 展示室  
床 ゴムタイル貼  
壁 PB12クロス貼  
天井 メッシュ天井
- ・ レストラン  
床 モルタル下地カリンフローリング、一部大理石貼  
壁 鏡貼  
天井 アルミシステム天井
- ・ 恐竜ホール  
床 カリンフローリング、サビ御影石、ゴムタイル  
壁 珪器質タイル貼、偏光タイル  
天井 メッシュ天井
- ・ 収蔵庫  
床 鉄骨根太二重床コンパネ下地ブナフローリング  
壁・天井  
LGS、特殊ケミカル板25の上スプル15

④ 設備の概要

- ・ 電気設備  
受電方式 普通高圧6.6KV1回線受電  
変圧器容量 3,000KVA  
予備電源 ガスタービン発電6.6KV375KVA
- ・ 空調設備  
空調方式  
展示室 単一ダクト＋ VAV 式  
収蔵庫 空冷パッケージ式  
管理部門 ファンコイル＋全熱交換器式  
研究部門 空冷ヒートポンプ式  
熱源 空冷ヒートポンプチラー  
120HP × 7台

- ・衛生設備
  - 給水 加圧給水式、受水槽30m<sup>3</sup>（FRP2層式）
  - 給湯 便所・洗面器電気式個別給湯  
研究室系統ガス瞬間式個別給湯
  - 排水 汚水・雑排水別系統方式  
合併浄化槽：300m<sup>3</sup>/日 1,650人漕
- ・防火設備
  - 消火 一般室系統 スプリンクラー消火設備  
収蔵庫・電気室炭酸ガス消火設備
  - 排煙 自然排煙・機械排煙1系統
- ・昇降機 乗用3基、荷物用1基
- ・リフト 身障者用1基、荷物用1基

### (3) 野外施設

#### ① 主な施設の面積

|          |        |
|----------|--------|
| 駐車場      | 1.62ha |
| レストラン前広場 | 0.31ha |
| 花木の広場    | 0.45ha |
| つたの森     | 0.41ha |
| くまざさの森   | 0.35ha |
| 古代の広場    | 0.36ha |
| 芝生広場     | 1.13ha |
| 昆虫の森     | 0.36ha |
| とんぼの池    | 0.70ha |
| どんぐりの森   | 1.25ha |
| 太陽の広場    | 0.34ha |
| 夢の広場     | 0.64ha |
| 水の広場     | 0.45ha |
| ばったの原    | 1.06ha |
| 花の谷      | 0.61ha |

#### ② 管理施設

|                |                            |
|----------------|----------------------------|
| 駐車場            |                            |
| 一般駐車場          | 1.12ha 乗用車 343台<br>身障者用 5台 |
| バス駐車場          | 0.19ha 24台                 |
| 業務用駐車場展示物搬入路など | 0.31ha 60台                 |
| 駐輪場            | 160m <sup>2</sup> 90台      |
| 臨時駐車場          | 1.39ha 約 600台              |
| 掲揚ポール          | 4本                         |
| 焼却炉            | 1基                         |
| 正面ゲート          | W=7,780+4,000 H=2,000 1基   |
| 出口専用回転扉        | 2基                         |
| 管理用出入口扉        | H=2,000 W=2.0 ～ 7.0m 14基   |
| 外周柵（フェンス）      | H=2,000 2,155m             |

揚水ポンプ 2基  
汚水中継ポンプ 1基  
キュービクル 1.80m×2.50m 1基  
駐車場告知サイン 9基

③ 建築物

自然発見工房 364.7㎡ 1棟  
野外発券所（あすなろゲート） 26.39㎡ 1棟  
炭焼き窯、炭焼き窯管理小屋 43.10㎡ 2棟  
屋外倉庫 20.10㎡ 1棟  
野外便所 4棟  
芝生広場 39.78㎡  
男子 大1 小3、女子 大4  
身障者用1  
古代の広場 41.64㎡  
男子 大1 小3、女子 大4  
身障者用1  
駐車場 54.43㎡  
男子 大2 小5、女子 大6  
身障者用1  
自然発見工房  
男子 大2 小5、女子 大5  
身障者用1

④ 園内広場

プロムナードなど  
中央プロムナード（正面～エントランス）  
L=125m W=3.0m  
外周プロムナード  
L=285m W=2.5～7.0m  
遊歩道（観察路）  
アスファルト自然色舗装  
L=2,600m W=3.0～6.0m  
アスファルト浸透舗装  
L=695m W=1.5m  
木製舗装 L=730m W=0.6～6.0m  
広場  
御影石舗装 1,514㎡  
ダスト舗装 1,405㎡  
インターロッキングブロック舗装 385㎡  
ゴムチップ舗装 263㎡  
平板ブロック舗装 128㎡  
橋梁・デッキ  
菅生沼ふれあい橋  
L=285.0m W=3.0～9.0m  
あすなろ橋 L=52.8m W=3.0m  
閘門橋 L=23.0m W=3.0m

ボックス橋 L=3.0m 1,000×1,500

階段 9箇所

修景施設

植栽高木 2,907本

株物 8,378㎡

地被類 4,478㎡

芝生 38,090㎡

ワイルドフラワー 1,100㎡

生垣 536m

ホタルの流れ 140m

館名石 1基

便益施設

ベンチ類

一般ベンチ 1,800×506 29基

テーブルベンチ 1,800×1,710 27基

屑入れ類

屑入れ D=710 14個

吸殻入れ 2個

休憩施設

あずまや 2,750×2,750 2基

パーゴラ D=3,676 H=2,550 3基

照明器具類

照明灯（一般） 62基

照明灯（足元型） 21基

視覚障害者対策施設

点字ブロック 2,260m

パトロールライト 30W 照明灯内臓 6基

その他

水飲み5基

時計（太陽電池型） H=5,200 D=700 4基

サイン・遊具類

サイン

館内案内サイン 8基

掲示板 5基

方向指示サイン10基

車輛誘導サイン 7基

ネイチャートレイル案内サイン 9基

ネイチャートレイル観察ノートサイン 27基

ネイチャートレイル観察メモ・注意サイン 96基

自然発見器類

動物の巣 D=14,500 1箇所

りすの目タワー 床高=12,600

H=15,500 D=5,000 1箇所

いろいろな目 D=1,500 1基

パラボラベンチ D=1,500 1基

風のおと 1基  
 100M伝言パイプ 1基  
 オープンプラネタリウム  
     D=1,200×4 1基  
 日時計 4基  
 森のおとしもの D=600 3基  
 霧ふんすい 2基  
 体重ふんすい  
     D=500 ノズル=10,12,14 3基  
 住居跡保存 7箇所  
 貝化石の砂 2箇所  
 双眼鏡 50倍・2、30倍・3 5基  
 ゆげのパラボラ D=1,000 1基  
 流れ循環装置（水の流れ） 1基  
 循環ポンプ 5.5KW  
 濾過ポンプ 3.7KW  
 井戸ポンプ 3.7KW

#### (4) セミナーハウス

##### ① 建築の概要

建築面積 653.6㎡  
 延床面積 504㎡  
 構造 SRC 造  
 収容人員 408名

##### ② 外部仕上げの概要

屋根 折板葺

##### ③ 設計・管理 仙田 満+(株)環境デザイン研究所

##### ④ 施 工

|      |         |
|------|---------|
| ア 建築 | 正栄工業(株) |
| イ 電気 | 結城電設(株) |
| ウ 機械 | (有)鈴木工業 |

##### ⑤ 建設費

|      |             |
|------|-------------|
| ア 建築 | 93,678,500円 |
| イ 電気 | 39,655,000円 |
| ウ 機械 | 24,205,000円 |

ANNUAL REPORT  
OF  
IBARAKI NATURE MUSEUM  
－年報第31号 令和6年度－

---

令和7年7月31日発行

発 行 ミュージアムパーク茨城県自然博物館  
茨城県坂東市大崎700番地

TEL 0297-38-2000

編 集 ミュージアムパーク茨城県自然博物館

印 刷 前田印刷株式会社筑波支店

---